はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

- 本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
- 使いはじめるときは、クイックスタートガイドに記載の「セットアップ」、「パソコンとの接続」を行ってください。GENIO eでインターネットやメールを利用するには、本書に記載の「インターネットの接続設定」、「電子メールの接続設定」を行ってください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
- オプション(別売品)や携帯電話、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 本書に記載している説明用画面は、実際の画面と多少異なる場合があります。

■商標

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows NT、Windows Media、MSN、Windowsロゴ、MSNロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテルは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- マイクロドライブ、Microdriveは、Hitachi Global Storage Technologiesの登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、 FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の米国および全世界における商標または登録商標です。
- 「FOMA/フォーマ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

■用語

- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- 本書では、コンパクトフラッシュカード、コンパクトフラッシュメモリカードの呼びかたをCFカード、CFメモリカードで統一して、表記しています。

安全上のご注意

・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた商品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
・次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること”を示します。

＊ 1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
＊ 2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図 記 号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指　示	“❗”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害、および通常当社が想定することができない使用方法（含む使用環境）により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置（内部メモリ、メモリカードなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。記録内容は定期的にバックアップをお取りください。

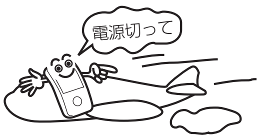
本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて

⚠警告

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では電源を切り、使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認のうえ、指示に従ってください。誤って使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

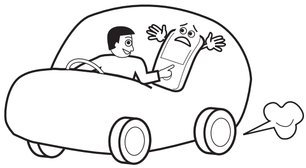
禁止



自動車などの運転中、および歩行中は使用しない

交通事故や、けがの原因となります。

禁止

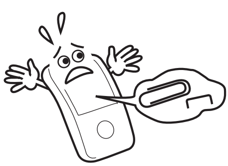


ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない

端子（金属部分）を金属で接続しない

発熱や発火、故障の原因となります。

禁止



心臓ペースメーカやその他の医療用電気機器をお使いの方は、無線LANカードやBluetooth™ SDカード（別売品）などのご使用にあたって、医師とよく相談する

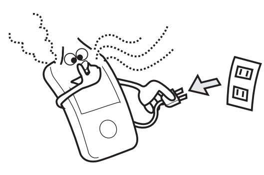
電波により、心臓ペースメーカや医療用電気機器の動作に、影響を与えることがあります。

指示

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店へご依頼ください。

指示



本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて　つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。



禁　止

火の中へ投げ入れたり、加熱したりしない

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

次の場所では使用、充電、保管しない

- **浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所**
- **雨、霧などが直接入り込むような場所**
- **火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所**
- **直射日光が当たる場所**
- **炎天下の閉めきった車内**

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

内蔵電池から液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに眼科専門の医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止

内蔵電池から液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざける

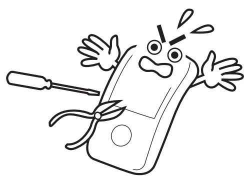
もれた液に引火し、破裂する原因となります。

指　示

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

分解禁止



本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて　つづき

⚠注意

イヤホンまたはヘッドホンを接続してご使用になるときは、音量を上げすぎたり、長時間使用しない

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



禁　止

幼児の手の届く場所には置かない

スタイラスなど、先が尖ったもので、思わぬけがなどの原因となります。



禁　止

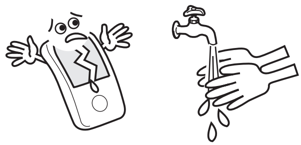
フラッシュの発光部を人の目に近づけて発光させない

視力障害の原因となります。

禁　止

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。



禁　止

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

この商品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

指　示

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

⚠警告

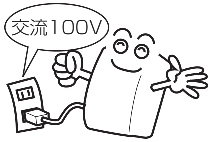
付属のACアダプタや電源コードを使用する

付属以外のものを使用すると、発煙や発火、故障の原因となります。

指 示

電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する

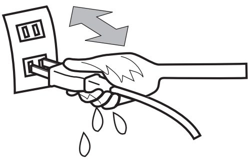
それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因となります。



指 示

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

指 示

浴室など、水がかかる場所で使用しない

濡れると発火、感電の原因となります。



水ぬれ禁止

ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、発火や感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止

充電時のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

禁 止

電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりをふき取る

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因となります。

指 示

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

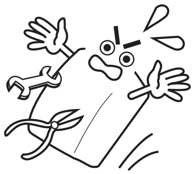
破損し、発火、感電の原因となります。

禁　止

分解・改造・修理をしない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

分解禁止



⚠注意

長期間ご使用にならないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

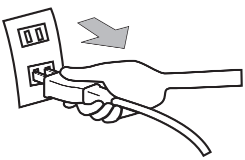
発火、感電の原因となります。

電源プラグを
コンセントから抜け

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因となります。

指　示

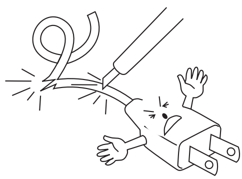


電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

- **傷つけない**
- **加工しない**
- **ねじらない**
- **無理に曲げない**
- **引っ張らない**
- **物を載せない**
- **加熱しない**
- **熱器具に近づけない**

守らないと、火災、感電の原因となります。
もし、電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

指　示



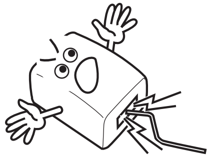
ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠注意

端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない

発熱し、やけどの原因となります。

禁止



幼児の手の届く場所には置かない

けがなどの原因となります。

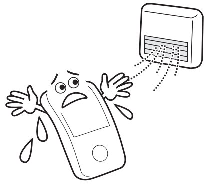
禁止

ご使用上のお願い

■使用環境や使用方法について

● **次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**
温度０～40℃、湿度30～80%RH

● **次の場所では使用、保管しないでください。**



・極端な高温、低温の場所
・ホコリの多い場所
・振動の強い場所
・電気的ノイズが発生しやすい場所
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

● 本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。
乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。

● **雷が鳴っているときは、使用したり、充電したりしないでください。**
故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

● **急激な温度変化を与えないでください。**
結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

● 使用中や使用直後は、本体やACアダプタの表面が温かくなっていることがあります。異常ではありませんが、ご注意ください。

● 目の健康のため、長時間表示画面を見続けないでください。

ご使用上のお願い　つづき

■故障や破損を防ぐための取り扱いについて



- **GENIO eは精密機器です。タッチスクリーンやスタイラス、筐体の破損、故障を防ぐため、ていねいな取り扱いをお願いします。**

・スタイラスでタッチスクリーンをタップするとき、強く押し付けないでください。



・落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

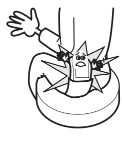
・指でタッチスクリーンを押さえ付けないでください。拡張ユニットの取り付け、取りはずしの際、誤ってタッチスクリーンを押さないでください。



・上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。

・荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、他の物の下にならないようにしてください。
固い本などに挟み込むのも、かえって破損につながる可能性があります。

・カバンの中で、他の物に押されたり、外部からの衝撃を受けたりしないようにしてください。



・ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。

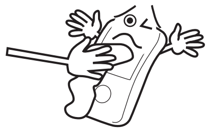
ご使用上のお願い つづき

■お手入れについて

- **お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**
  色や形が変わる原因となります。
  汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。



- **濡れた布でタッチスクリーンをふかないでください。**
  濡れた手で触れないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
  タッチスクリーンの汚れは、やわらかい乾いた布で、軽くふいてください。強く押し付けてふかないでください。



- **端子（金属部分）をときどき乾いた布などで清掃してください。**
  汚れていると接続不良、充電不良の原因となります。

■接続機器や、使用するソフトウェアについて

- 別売品のPCカード拡張ユニットで使用可能なPCカード(TYPE Ⅰ、Ⅱ)は、モデムカード、メモリカード/HDDカードなどになります。
  PCカードやCFカード、SDカードの動作確認状況については、製造元または販売元へご確認ください。
- 本体に、PCカード拡張ユニット／無線LAN拡張ユニットを装着した状態でUSB機器を接続した場合、本体の操作ができなくなることがあります。
  この場合は、いったんPCカード拡張ユニット／無線LAN拡張ユニットとUSB機器を取りはずし、どちらか1つだけをもう1度接続してご使用ください。
- ご使用するソフトウェアプログラム（アプリケーションプログラム）によっては、本体に搭載しているプロセッサの処理能力を十分に引き出せないものがあります。
- この本体のOSは、Pocket PC 2003（日本語版）です。GENIO eシリーズには、OSがPocket PC 2002やPocket PCのものもあります。OSの違いによって動作しないソフトウェアプログラム（アプリケーションプログラムやドライバなど）もあります。その場合はソフトウェアプログラムの開発元にお問い合わせください。

ご使用上のお願い つづき



- 本体に取り付けているカードに強い衝撃を与えないでください。カードや本体の破損、故障の原因となります。
- 本体にカードを取り付けたまま持ち運びしないでください。カードに物が当たり衝撃が加わるとカードや本体の破損、故障、またはカードが本体からはずれて紛失するおそれがあります。
- 他社製の接続機器につきましては、当社で動作を保証するものではありません。
  他社製の接続機器の動作確認状況につきましては、各社にお問い合わせください。

■通信データの保護について

- 無線LANや携帯電話などを利用して、データを送受信する場合、電波を使用するため、第三者に送受信データを傍受される可能性があります。留意してご利用ください。データを暗号化すれば、データの機密性・保護性が高まります。データを暗号化して送受信することをお勧めします。送受信データが傍受され、それにより生じた損害について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■記憶データについて

- メモリカードやマイクロドライブ™、Flash ROM Diskへ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、リセットしたり、メモリカードやマイクロドライブ™を取り出したりしないでください。メモリカードやマイクロドライブ™、本体、記憶データが、破壊されるおそれがあります。
- **重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカード（オプション・別売品）やパソコン（ActiveSyncでデータ転送する）に保存して、控えをとっておいてください（参照 52、100ページ）。**
  次のようなときに記憶データが消えるおそれがあります。
  ・内蔵電池の充電残量がなくなった（放電しきった）とき
  ・誤った使いかたをしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・故障したり、修理に出したとき
- 本体の故障や修理において、または内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ご使用上のお願い　つづき

■内蔵電池について

- 内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。定期的に内蔵電池の充電残量をチェックして、充電を行ってください（参照 10、75ページ）。
- 本体の内蔵電池は、アドバンストリチウムイオン充電池を使用しています。
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
- 使用済みのアドバンストリチウムイオン充電池は貴重な資源です。法律に基づいてリサイクルしますので廃棄しないでください。不要になった本体の回収に関しては、GENIO　eホームページでご覧いただくか、東芝PCダイヤルにご連絡ください。

Li-ion

GENIO eホームページ

URL http://genio-e.com/

東芝PCダイヤル

電話番号　0570-00-3100

受付時間　9:00～19:00（年中無休）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780 で受け付けております。

■カメラ機能について

- 大切な撮影（結婚式や旅行など）に使用するときは、事前に試し撮りをして、カメラ機能が正常に動作することを確認しておいてください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、撮影によって得るであろう利益の損失など）については、補償いたしかねます。
- カメラのレンズに太陽光が差し込む状態で放置しないでください。
  レンズの集光作用により故障の原因になります。

ご使用上のお願い　つづき

■用途制限について

本製品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。したがって生命、財産に著しく影響のある、高信頼性を要求される用途に使用しないでください。このような用途に使用しての万一の事故に対し、当社は一切責任を負いません。

- 高信頼性を必要とする用途例
  医療機器制御、緊急連絡制御、化学プラント制御など

■輸出規制

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、東芝PCダイヤルにお問い合わせください。
なお、この機器に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

■電波障害自主規制

この機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この機器は家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

■著作権

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。
肖像権には、だれにでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。
したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

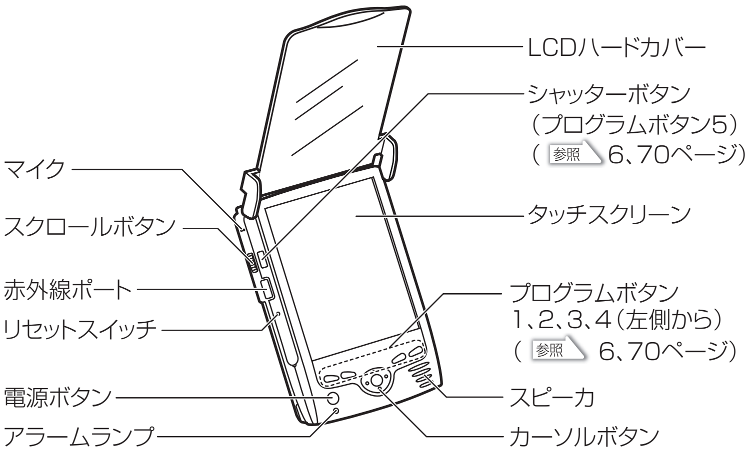
もくじ

第1章
ご利用いただく前に

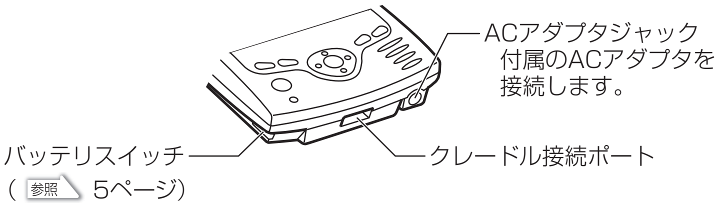
1. 各部のなまえと機能

本体

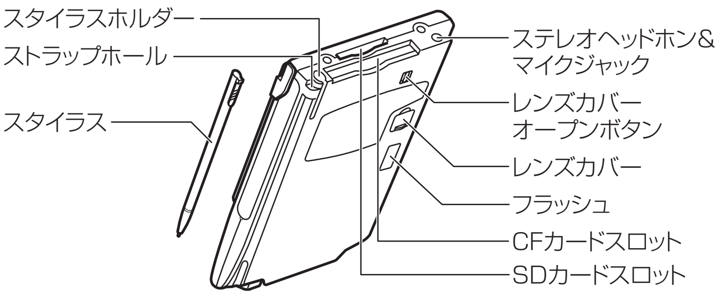
■前面・左側面



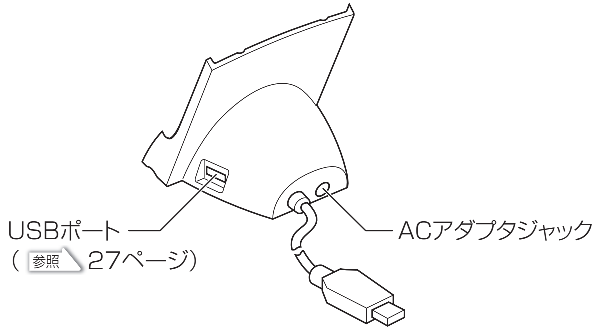
■底面



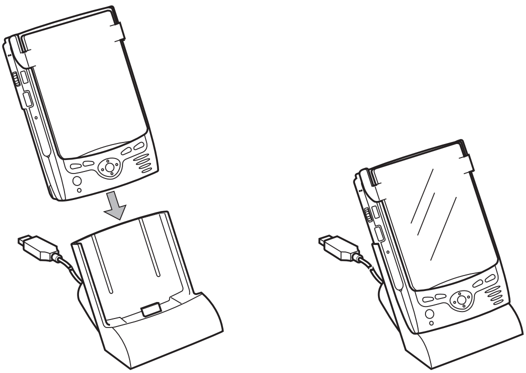
■背面



USB クレードル



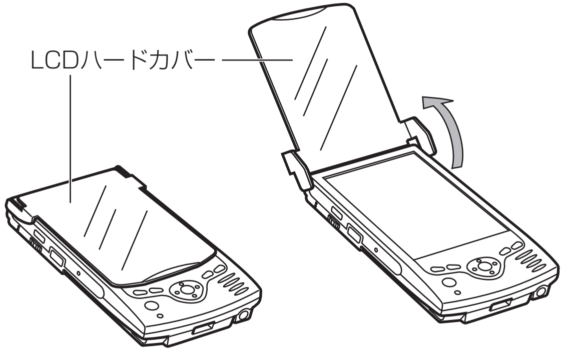
■本体とクレードルの接続



● 奥までしっかり差し込んでください。

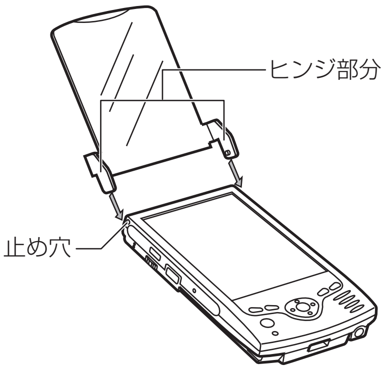
LCD ハードカバー

タッチスクリーンを保護するために、LCDハードカバーが取り付けられています。タッチスクリーンを使用するときは下図のようにLCD ハードカバーを開けてください。



LCD ハードカバーがはずれた場合は、下図のように取り付けてください。

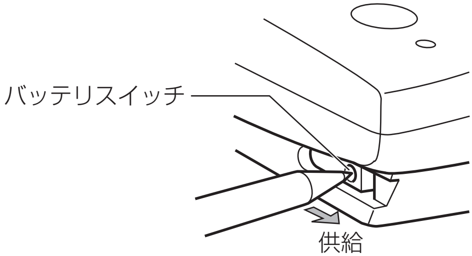
1 **ヒンジ部分を軽く開きながら、片方ずつ止め穴にはめる**



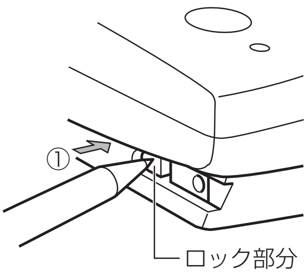
LCDハードカバーを取りはずすときは、ヒンジ部分を軽く開きながら、片方ずつゆっくりはずしてください。

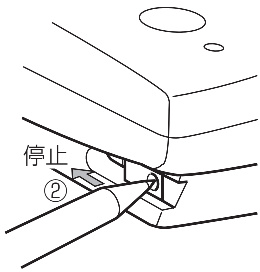
バッテリスイッチ

バッテリスイッチは、内蔵電池からの電源を供給／停止します。
工場出荷時は「停止」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、ペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。



バッテリスイッチを「供給」から「停止」側に移動するときは、まず、ロック部分をペン先などで押し込み、その後「停止」側に移動します。
「停止」にすると、本体が初期化され、お客様が登録したデータなどが消え、工場出荷時状態に戻ります（参照 247 ページ）。





電源ボタン

電源の ON/OFF とフロントライトの ON/OFF を行います。

電源ボタン	電源OFFのとき	電源ONのとき
長く押す	電源がONする	フロントライトがON/OFFする
短く押す	電源がONする	電源がOFFする

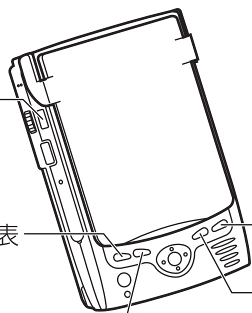
アラームランプ

本体の状態をお知らせします。

- オレンジ色の点滅‥‥「予定表」や「仕事」で設定したアラーム時刻になると点滅します。(「仕事」のアラーム時刻は、期日の午前８時です。)
- オレンジ色の点灯‥‥内蔵電池の充電中です。（この状態では、内蔵電池だけで本体を動作させることができます。）USB経由、または拡張ユニットを使って充電するときは、点滅状態になる場合があります。
- 黄色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電中です。（この状態では、内蔵電池だけで本体を動作させることはできません。）
- 黄色の点滅‥‥‥‥‥周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、内蔵電池の充電を一時停止しました。周囲温度が約５～35℃の環境で充電を行ってください。
- 緑色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電が完了しました。

プログラムボタン

電源がOFFのときでも、プログラムボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているプログラムが起動します。
初期状態では、次のプログラムに設定されています。

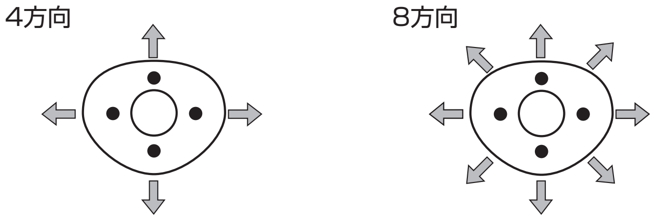


お知らせ

- プログラムボタンを押してもプログラムが起動しない（電源が入らない）ように、設定できます（参照 76ページ）。
- プログラムボタンの割り当て設定を変更できます（参照 70ページ）。

カーソルボタン

カーソルボタンの各方向部を押すことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
カーソルボタンの動作方向（4 方向または 8 方向）を変えることができます（参照 74 ページ）。



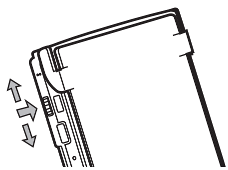
カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。方向によってはカーソルが移動しない場合があります。

スクロールボタン

スクロールボタンを2方向に動かすことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
また、スクロールボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。
ナビゲーションバーに⊗ボタンのあるプログラム画面で、スクロールボタンの中央を長押しすると、そのプログラム画面の表示を消すことができます。

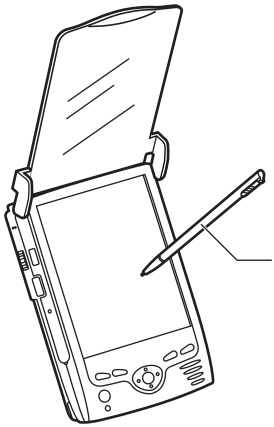


お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。
- 「GENIOショット」画面では、スクロールボタンの中央を長押ししても、画面の表示を消すことはできません。

スタイラスの使いかた

スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。



スタイラスは次のような使いかたをします。

- タップ ……………… タッチスクリーンを軽く 1 回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- タップアンドホールド … タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- ドラッグ …………… タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

お願い

- 本体のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合は、ご使用にならないでください。先が破損したスタイラスや、ボールペンの先でタッチスクリーンの操作をすると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスを、GENIO eをお買い上げの販売店でお買い求めください。
- タッチスクリーンの傷つきを防止するために、市販の画面保護シートを取り付けて、タッチスクリーンの操作をすることをおすすめします。

Flash ROM Disk

Flash ROM Disk は、本体メモリとは別に用意されている、本体内蔵の記憶装置です。CF メモリカードや SD メモリカードと同じように、データやアプリケーションプログラムを保存できます。また、バックアップファイルの保存先に指定することができます（参照 100 ページ）。

Flash ROM Diskのデータは、「ファイルエクスプローラ」で管理ができます。

1 「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、購入時の状態では、My Documents のファイルとフォルダの一覧が表示されます。

2 「My Documents▼」をタップし、「マイデバイス」をタップする

「マイデバイス」のファイルやフォルダの一覧が表示されます。

3 「Flash ROM Disk」をタップする

Flash ROM Disk のファイルやフォルダの一覧が表示されます。
「ファイルエクスプローラ」について詳しくは、（参照 58 ページ）をご覧ください。

Flash ROM Disk の使用容量や空き容量は、設定機能の「メモリ」で確認できます（参照 80 ページ）。

お願い

- Flash ROM Diskへ書き込み･読み出し中は、電源を切らないでください。本体や Flash ROM Disk、記憶データが、破壊されるおそれがあります。
- Flash ROM Disk に保存されたデータをバックアップすることはできません。「ファイルエクスプローラ」でメモリカードにデータをコピーして、バックアップをとってください。

2. 電池の充電

電池は、本体に内蔵されています。初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから（参照 5ページ）、AC アダプタを使って、必ず満充電になるまで充電を行ってください。

充電のしかた

充電には、ACアダプタを使う方法と、パソコンからUSB経由で行う方法があります。このほかにオプション（別売品）の「GENIO e モバイルバッテリチャージャ」を使って充電する方法もあります。

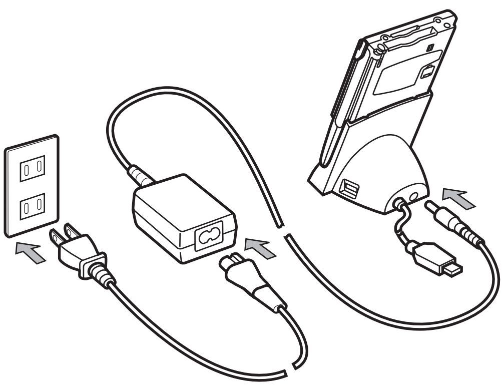
お知らせ

- 充電は、周囲温度が約５～35℃の環境で行ってください。周囲温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。アラームランプの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。
- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止すると、お客様が登録したデータやインストールしたアプリケーションなど、本体内の記憶データが消失するおそれがあります。
- 満充電になると、アラームランプが緑色に点灯します。
- 充電時間は周囲温度などによって変わります。

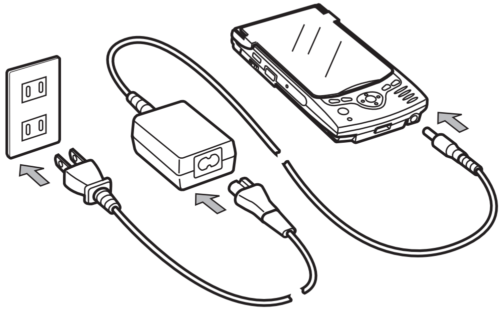
AC アダプタを使って充電する

接続のしかたに２つの方法があります。電池残量０から満充電になるまでに、約４時間かかります。

■付属の AC アダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込む



■付属の AC アダプタと本体を図のように接続する

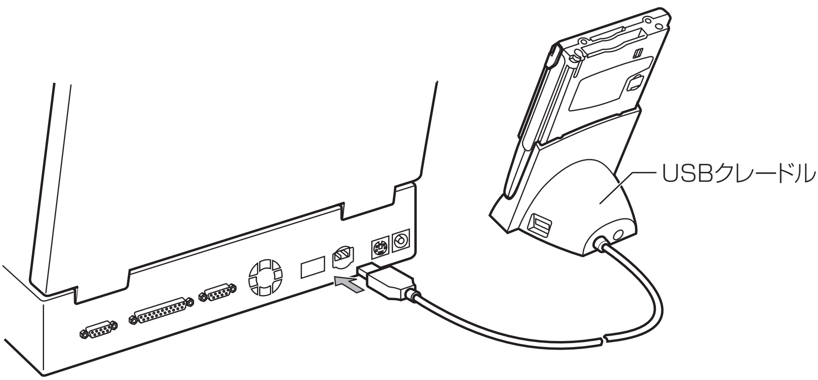


お願い

● 本体とACアダプタを接続するときは、本体の電源をOFFにしてから行ってください。

パソコンから USB 経由で充電する

パソコンと本体を、USB クレードルまたはUSB シンクケーブル（別売品）を使って接続（参照 21 ページ）しているとき、本体の電源が ON で、「パワーマネージメント」の「コントロール」タブで「PCからUSB経由で充電を行う」にチェックが付いていれば（参照 76ページ）、パソコン側から供給される電源で充電されます。

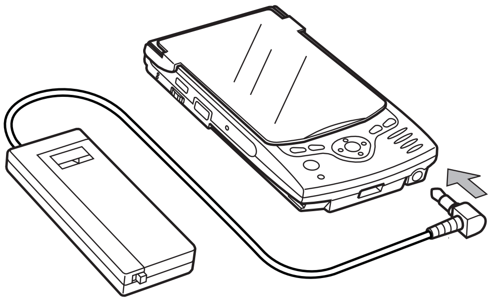


● 本体の動作状態によっては、満充電までの時間が長くなったり、充電されないで電池残量が減っていく場合があります。
● 内蔵電池の残量が減っていくときや、パソコンから電源が供給されていないときは、アラームランプが消灯します。
● AC アダプタが接続されていると、AC アダプタからの充電が優先されます。
● 拡張ユニット（別売品）を取り付けていても、拡張ユニットは充電できません。

モバイルバッテリチャージャを使って充電する

オプション（別売品）の「GENIO e モバイルバッテリチャージャ」を使って、内蔵電池を充電することができます。充電しながら本体を動作させることもできます。
はじめにモバイルバッテリチャージャ取扱説明書をお読みになり、取り扱い方法をご理解のうえご使用ください。

■モバイルバッテリチャージャと本体を図のように接続する



お願い

- 本体に拡張ユニット(別売品)を取り付けた状態で、モバイルバッテリチャージャを接続して本体を動作させないでください。
  電池が著しく消耗するため、動作状態によっては突然本体の電源がOFFする場合があります。その場合、本体やメモリカード、マイクロドライブ ™ 等の記憶データが消失・変化するおそれがあります。また本体、モバイルバッテリチャージャ、拡張ユニットが故障する場合もあります。これらのトラブルに対して、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池の使用時間を長持ちさせるには

- AC アダプタを接続して、本体を使用する。
  特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
  ・本体とパソコンを接続して動作するとき
  ・本体にメモリカードや、その他のオプション機器を接続して動作するとき
- 本体の操作を行わないと自動的に電源が OFF するまでの時間を短く設定する（初期値：バッテリ使用時「3分」 参照 76ページ）。
- フロントライトを OFF にする（参照 5ページ）。
- フロントライトの明るさレベルを「省電力」側にする。また未使用時間に応じて消灯するまでの時間を短くする（初期値：バッテリ使用時「30 秒」 参照 77ページ）。
- Windows Media Player、SD Audio Player 再生中は、画面表示を消す（参照 190ページ、SD Audio Player 取扱説明書）。
- 「パワーマネージメント」の「サスペンド時の設定」で「CFカード／SDカード／PCカードに電源を供給する」のチェックをはずす（参照 76ページ）。
- 「プロセッサ設定」で動作速度を遅くする（参照 78ページ）。
- 内蔵電池の性能が最も発揮できる、周囲温度15～25℃の環境で使用する。
  高温／低温の場所では、内蔵電池の充電容量が低下して、使用できる時間が短くなります。

電池の寿命

内蔵電池には寿命があります。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。なお電池の寿命は使用状態などによっても変わります。

- 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温・低温の場所に放置しないでください。電池の寿命が短くなります。

充電残量と記憶データの保護

内蔵電池の充電残量がなくなる（放電しきる）と本体の電源が入らなくなります。そしてそのまま放置すると本体内に記憶したデータが消えてしまいます。電源がONにできなくなってからデータを保持できる時間は、約75時間です。保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

内蔵電池の充電残量が少なくなったことを示す、警告メッセージやステータスアイコン（参照 33ページ）が表示されたら、ただちに充電を行ってください（本製品では、お客様自身がバッテリ（内蔵電池）の交換を行うことはできません）。

- 警告メッセージ（参照 245 ページ）

メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。

- ステータスアイコン

  ....内蔵電池の充電残量がわずかになっています。

お知らせ

- 内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきることがあります。
- 本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください（参照 52、100 ページ）。
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化･消失しても、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

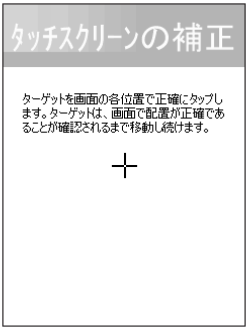
3. 初期セットアップ

初めて電源を入れたときや、本体を初期化したときは、「Pocket PC」の画面が表示されます。画面の説明に従って初期セットアップを行ってください。

1 「Pocket PC」の画面をタップする

2 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

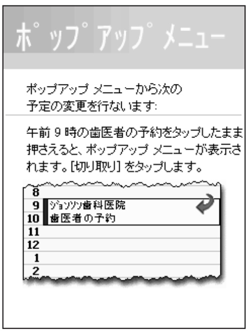


3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、「次へ」をタップしてください。

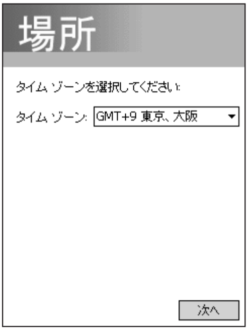
4 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明に従って、「ポップアップメニュー」を表示させる操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
- 「貼り付け」をしたら「次へ」をタップしてください。



5 場所を設定する

- 通常はそのまま「次へ」をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。必要に応じて本製品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。



6 初期セットアップ画面を閉じる

- 「完了」の画面をタップすると「Today」画面が表示され、本体を使用開始できます。
- ご使用になる前に、現在地の日時を設定してください（参照 82 ページ）。

…お知らせ

- 「Today」画面については（参照 32 ページ）をご覧ください。

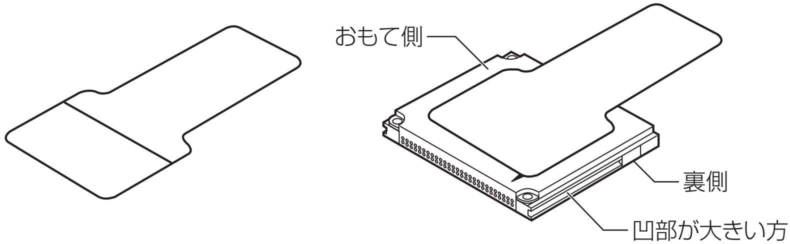
4. 外部機器の接続

CF カードスロットにカードをセットする

カードによっては、セットしたカードを取り出すとき、取り出しにくいものがあります。そのようなカードには、取り出しテープを貼ってください。取り出しテープを貼ると、CF カードスロットからカードを取り出すとき便利です。

■取り出しテープの貼り付け

取り出しテープは、CF カードのおもて側中央部分に貼ってください。



- テープを貼るときは､カードのおもて側をティッシュペーパーなどできれいにふいて、汚れを落としてください。
- カードのおもて側をふくときや､テープを貼り付けるとき､カードの外部カバーを強く押したり、たたいたりしないでください。
  カードの故障の原因になります。
- カードの裏側にはテープを貼らないでください。
  カードによっては故障の原因になります。
- 取り出しテープは、補修部品として取り扱っております。
  部品名…取り出しテープ、部品番号…28300510
  東芝 PC 集中修理センタへお問い合わせください。
  ・電話番号　フリーダイヤル 0120-86-9192
  ・受付時間　9:00 ～ 17:30
  （祝日、当社特別休日を除く）

お願い

- CFカードには、取り出しテープ以外のラベルなどを貼らないでください。カードや本体の故障の原因になります。
- ご利用になれる CF+ カードは 3.3V 対応品のみです。また、一部の CF+ カードにつきまして､CF+カードに添付されているドライバでは動作しないものがあります｡その場合､各販売元(製造元)から対応するドライバを入手してください。

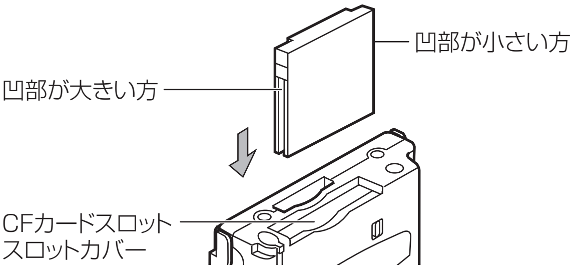
■カードのセット

1 本体の電源を OFF にする

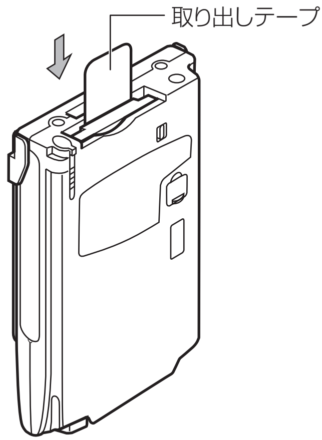
2 CFカードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して差し込む

カードは、ゆっくり奥まで確実に差し込んでください。スロットカバーは内側に折りたたまれます。

● カードが差し込まれると、電源が入ります。



（ 取り出しテープを貼った場合 ）



お知らせ

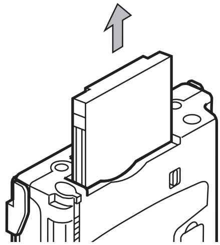
● カードをセットしてから、カードが安定して動作するまでに数秒かかります。

■カードの取り出し

1 本体の電源を OFF にする

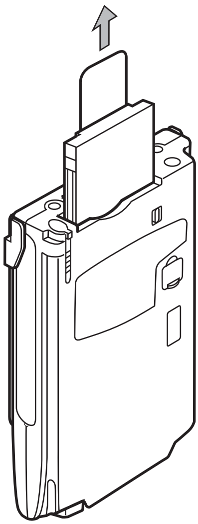
2 カードの突起部分または溝部分に指をかけてゆっくり引き抜く

● カードを抜くと、電源が入ります。



（ 取り出しテープを貼った場合 ）

● 取り出しテープを指でつまんで、ゆっくり引き抜いてください。



お願い

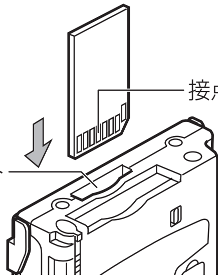
● カードを取り出すとき、指の爪をカードに引っ掛けて取り出さないでください。
爪の損傷やけがの原因になります。
取り出しにくいカードには、取り出しテープを貼ってください。

SD カードスロットにカードをセットする

■カードのセット

1 本体の電源を OFF にする

2 カードの接点面（金属の部分）を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む

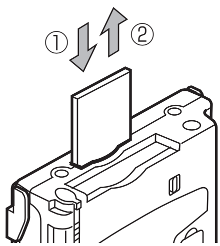


■カードの取り出し

1 本体の電源を OFF にする

2 カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す①

3 カードが少し飛び出してきたら、ゆっくり引き抜く②



お願い

- 内蔵電池の充電残量が 10%以下のときは、CFカードスロット、SDカードスロットにカードをセットしても使用できません。内蔵電池を充電するか、AC アダプタを接続したうえでカードを使用してください。

お知らせ

- カードをセットしてから、カードが安定して動作するまでに数秒かかります。

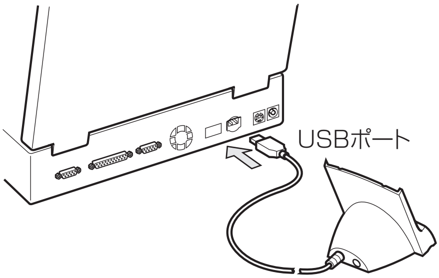
パソコンとの接続

付属の USB クレードル、または別売りのシリアルクレードルやケーブルを使って、本体とパソコンを接続できます。本体とパソコンを接続して、データの同期や受け渡しを行うには、「パソコンと接続して同期をとる」（参照 52 ページ）をご覧ください。

- 本体の電源が OFF の状態で接続してください。
- パソコン側の接続ポートの位置などが､パソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

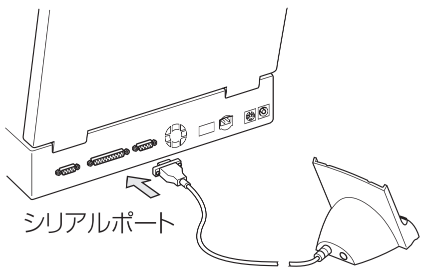
USB クレードルを使って接続する

USB クレードル（付属品）を、パソコンの USB ポートに接続します。



シリアルクレードルを使って接続する

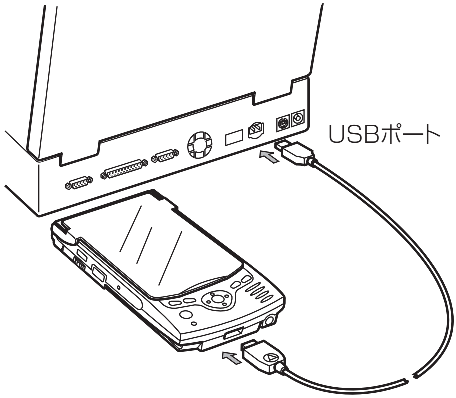
シリアルクレードル（別売品）を、パソコンのシリアルポートに接続します。



ケーブルを使って直接接続する

本体とパソコンを、USBシンクケーブル(別売品)、またはシリアルシンクケーブル（別売品）を使って、直接接続します。

（ USB シンクケーブルの接続例 ）



お願い

- 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
  ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

携帯電話との接続

接続したい携帯電話に対応した別売の接続ケーブルを使って、本体に携帯電話を接続できます。本体に携帯電話を接続すると、インターネットの接続や電子メールの送受信などができます。

お知らせ

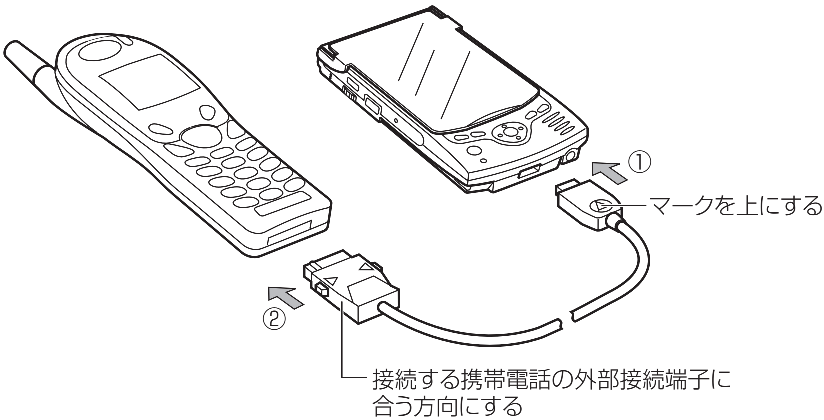
● インターネットや電子メールの方法については、第３章「インターネットの利用」をご覧ください。

携帯電話（cdmaOne、PDC)を接続する

ご使用する携帯電話に対応した接続ケーブル（別売品）をご購入ください。

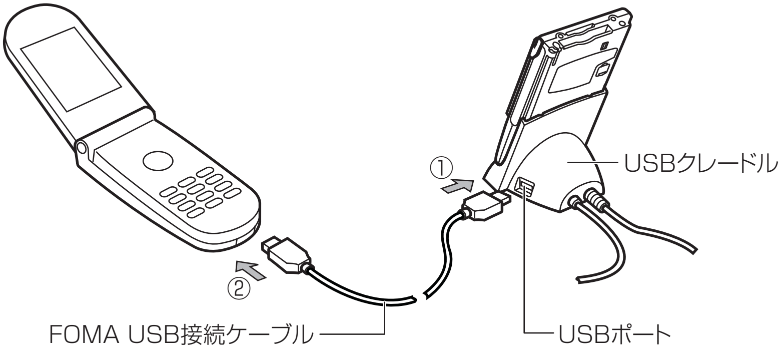
● 携帯電話（cdmaOne）接続ケーブル
● 携帯電話（PDC）接続ケーブル

接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。



携帯電話（FOMA)を接続する

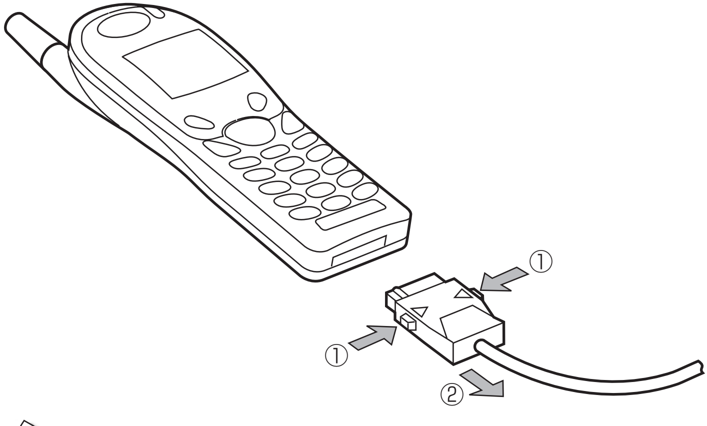
NTT ドコモ製の「FOMA USB 接続ケーブル」をご購入ください。
接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。



- 上図の接続で、USB クレードルの替わりに、USB ホストケーブル（別売品）を使用しても、本体と接続できます。

携帯電話の取りはずし

携帯電話と接続ケーブルを取りはずす際には、コネクタ部両側のロックボタンを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。



お願い

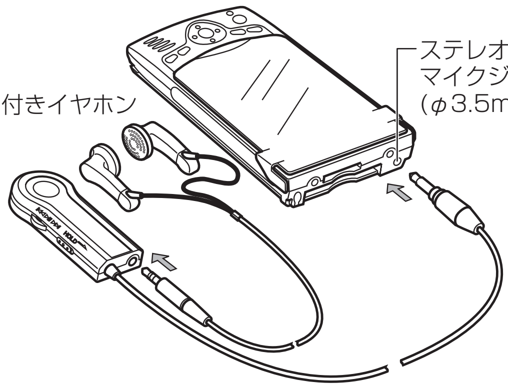
- 通信中に携帯電話の電源を切ったり、接続ケーブルを抜かないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、接続部が曲がらないようにていねいに行ってください。

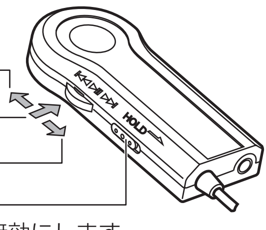
イヤホン、ヘッドホン、イヤホンマイクの接続

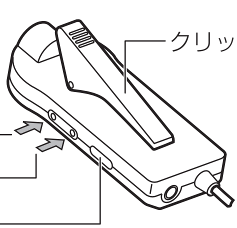
リモコン付きイヤホンやヘッドホン（市販品）を本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。このとき、スピーカからの音声出力は止まります。
また、付属のイヤホンマイクアダプタを使用して、イヤホンマイク（市販品）を本体に接続し、音声を録音することもできます。
それぞれ、図のようにステレオヘッドホン&マイクジャックに接続してください。

■リモコン付きイヤホン

リモコン付きイヤホンは、指定のオプション（別売品）を使用してください。指定以外のものを使用すると故障の原因になります。

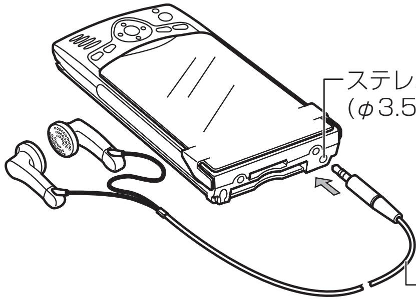






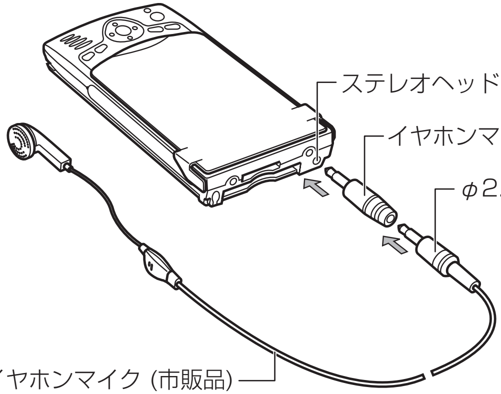
● Windows Media Playerでのリモートスイッチの設定については（参照 190ページ）をご覧ください。

■ヘッドホン



■イヤホンマイク

イヤホンマイク（市販品）を接続するときは、付属のイヤホンマイクアダプタを使用してください。

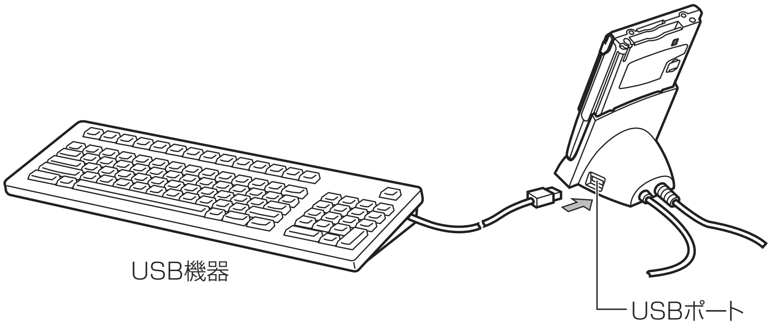


お願い

- 次のような場合にはヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクを着用しないでください。大きな雑音が発生する場合があります。
  - ・本体の電源を入れる / 切るとき
  - ・ヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクを本体に取り付け / 取りはずしするとき
- 音量を小さくしておいてからヘッドホンやイヤホン、イヤホンマイクを着用してください。着用後適切な音量に調整してください。

USB クレードルの USB ポートに接続する

付属の USB クレードルには USB ポートが装備されています。
ここにキーボードなどの USB 機器を接続することができます。



■USB 機器に供給できる電流

内蔵電池のみの時 .... 最大 200mA
AC アダプタ接続時 .... 最大 500mA

・供給できる電流量を超えると、供給を停止します。
その場合データが消失・変化するおそれがあります。データが消失・変化しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

● 内蔵電池の充電残量が40%以下のときは、USB機器を接続しても使用できません。内蔵電池を充電するか、ACアダプタを接続したうえでUSB機器を使用してください。

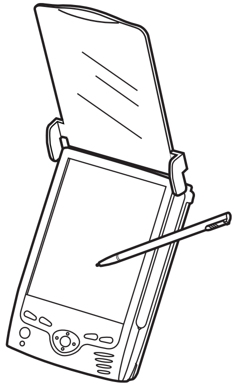
お知らせ

● USBホストケーブル（別売品）を使って、USB機器を本体に接続することもできます。
● USB ハブを介しての USB 機器の接続は、保証できません。
● USB機器を使用するためにUSB ドライバが必要な場合は、本体にインストールしてください。
● 本体にあらかじめインストールされているUSB ドライバは、USB日本語キーボード用、および FOMA 用のみです。

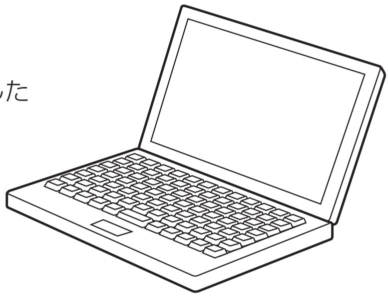
第2章
基本操作と環境設定

使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。

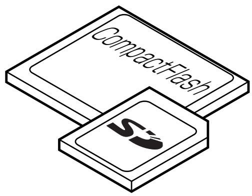
「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。



パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。



SDメモリカード、CFメモリカードなどを使って、データのバックアップができます。

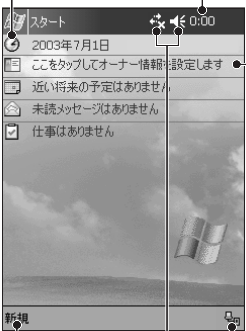


1. 基本的な使いかた

「Today」画面の見かた

「Today」画面について

本体の電源を入れると、「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の予定、未読メッセージ、仕事が表示されます。



時計アイコン
タップすると日付・時刻が設定できます（参照 82ページ）。

タップすると日付・時刻と今日の次の予定が表示されます。

ナビゲーションバー（参照 37ページ）

タップすると「オーナー情報」が設定できます（参照 67ページ）。

タップすると「予定表」、「受信トレイ」、「仕事」のプログラムが起動します（参照 152、140、160ページ）。

コマンドバー（参照 37ページ）

ステータスアイコン（参照 33ページ）

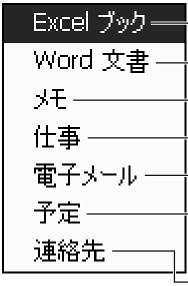
タップすると、「新規」メニューが表示されます（参照 33ページ）。

お知らせ

- 背景画像など、「Today」画面の表示内容を設定できます。設定については（参照 66 ページ）をご覧ください。
- 「ホーム」画面からでも、その日の予定、未読メッセージ、仕事を見たり、いろいろなプログラムを起動できます。「ホーム」画面については（参照 84 ページ）をご覧ください。

「新規」メニューについて

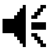
「Today」画面左下の「新規」をタップすると「新規」メニューが表示されます。メニューに表示するプログラムは変えられます（参照 66 ページ）。
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。

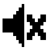


- Excel ブック — 参照 179ページ
- Word 文書 — 参照 170ページ
- メモ — 参照 163ページ
- 仕事 — 参照 160ページ
- 電子メール — 「送信メール」の作成画面が表示されます（参照 140ページ）。
- 予定 — 参照 152ページ
- 連絡先 — 参照 158ページ

ステータスアイコンについて

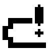
本体の動作状況によって、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。「Today」画面以外でも表示されます。

............ スピーカの出力(画面のタップ音やアラーム音など)が､オンになっています｡アイコンをタップすると音量調整とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

............ スピーカの出力がオフになっています。

............ バッテリがフルに充電されています(ナビゲーションバーの時刻をタップするとポップアップ画面に表示されます)

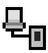
............ 電池残量が少なくなってきました。

............ 電池残量がわずかになっています。

............ 通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続されていません｡アイコンをタップすると､インターネットの接続設定ができます。

............ 通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続中です｡アイコンをタップすると、インターネットの接続設定ができます。

............ ActiveSync でパソコンと同期中です。

............ パソコンに接続中です。

............ 新着の MSN インスタントメッセージがあります。

.... 新着メールがあります。

.... ビーム受信データがあります。

お願い

- 通知アイコン が表示された場合は、このアイコンをタップして、通知内容を確認してください。
- 「メインバッテリ残量警告」のメッセージ（参照 245ページ）が表示されたら、すみやかに内蔵電池を充電してください。

プログラムの起動と切り替え

「スタート」メニューから起動する

1　画面左上の「スタート」をタップする

- 「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動します。すでにそのプログラムが起動しているときは、そのプログラムに切り替わります。



最近起動したプログラムのアイコンが表示されます。タップするとプログラムが起動します。

タップすると各プログラムが起動します。
- ここに表示するプログラムは設定で変えられます（参照 71ページ）。

タップするとそれぞれの画面が表示されます。

お知らせ

- 「ホーム」を使ってプログラムを起動させることもできます（参照 84ページ）。
- プログラムボタンを押しても、それに割り当てられているプログラムを起動させることができます（参照 6ページ）。

「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

1 「スタート」の「プログラム」をタップする

● 「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。



タップすると、この画面が消えます。

プログラムの追加と削除

本体に、Pocket PC用のプログラムを追加インストールして利用することができます。付属のアプリケーションCDに入っているプログラムのインストール方法は（参照 200ページ）をご覧ください。

プログラムのインストール

事前に接続するパソコンにMicrosoft® ActiveSync® をインストールし（参照 52ページ）、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。また、インストールに必要な空きディスク容量とメモリが確保されているか確認してください（参照 79ページ）。
インストールの方法は、プログラム（CD-ROMやインターネット等のダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■インストールの操作例

1 プログラムの入ったCD-ROMやFDをパソコンのドライブに挿入する（または、インストールしたいプログラムをインターネット等からダウンロードする）

2 本体をパソコンに接続する

3 パソコンでCD-ROMやFD内またはダウンロードしたファイル内の（＊.exe ）ファイルをダブルクリックする

4 画面の指示に従って操作をする

- プログラムがパソコンにインストールされ、インストーラによって自動的にプログラムが本体に転送されます。
- ファイルがインストーラを備えていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合はファイルを本体に移動する操作が必要です。パソコンのエクスプローラを使って、ファイルを本体の「Program Files」フォルダにコピーしてください。エクスプローラで本体のフォルダ一覧が表示できます。「本体とパソコンの間で、ファイルを移動する」（参照 56 ページ）をご覧ください。

プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■削除の操作例

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プログラムの削除」をタップする

2 プログラムリストから削除するプログラムを選択し、「削除」をタップする

「削除してもよろしいですか？」という画面が表示されます。

- プログラムリストに削除するプログラムが表示されないときは、ファイルエクスプローラ（参照 58 ページ）を使用して探してください。見つかったらプログラムをタップアンドホールドし、ポップアップメニューを表示させ、「削除」をタップしてください。

3 「はい」をタップする

プログラムが削除されます。

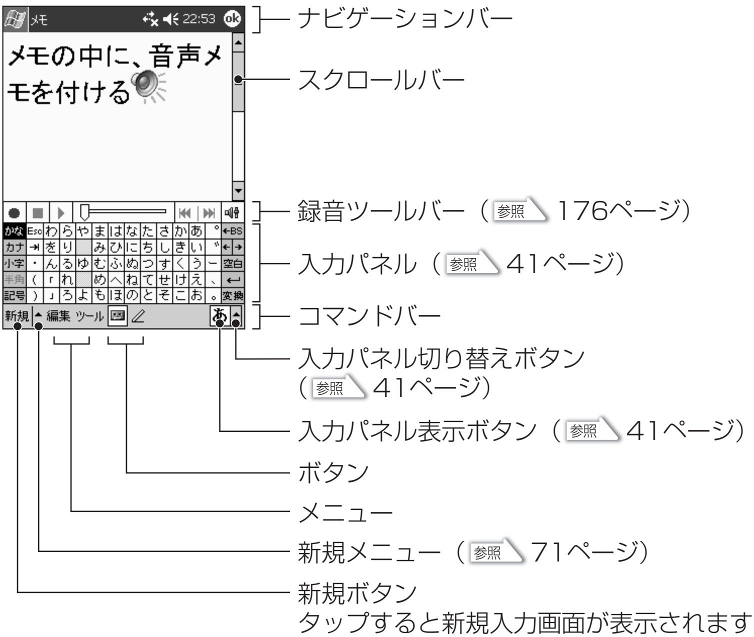
お知らせ

- 本体にあらかじめインストールされていたプログラムは、削除できません。

プログラムの基本操作

プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面を使って、主な画面構成の説明をします。



■ナビゲーションバーについて

画面の最上段にあり、プログラムの切り替え（ スタートメニュー)、現在使用中のプログラム名の表示、インターネットへの接続設定、スピーカの音量調整、時刻の表示、画面の終了（ok ボタン）ができます。

■コマンドバーについて

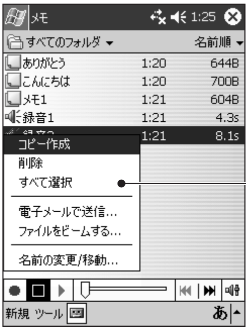
画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）などが表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションバーに⊗ボタンがある画面で次の操作をすると、そのプログラム画面が消えます。
  ･⊗ボタンをタップする
  ･スクロールボタンの中央を長押しする（「GENIO ショット」画面を除く）
  このとき、プログラムは終了していません。
- プログラムを終了するには、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップし、「実行中のプログラム」タブで、終了したいプログラム名を選び、「終了」をタップしてください（参照 80 ページ）。
  「ホーム」を使って、プログラムを終了させることもできます（参照 89 ページ）。
- 電源を OFF にしてもプログラムは終了しません。

ポップアップメニューについて

画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップメニュー
- ポップアップメニューの枠の外をタップすると、ポップアップメニューは消えます。

オンラインヘルプの使いかた

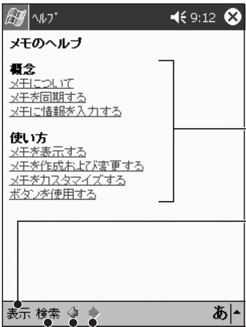
1 「スタート」の「ヘルプ」をタップする

そのとき表示していた画面に応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。

- 「Today」画面を表示していたときは、「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
- プログラムを開いていたときは、そのプログラムのヘルプが表示されます。

2 見たい項目をタップする

（例：「メモ」を開いていた場合）



アンダーライン付（リンク）の項目をタップするとその項目が開きます。

タップすると、「目次」（そのヘルプの先頭にある目次）と「すべてのトピック」（本体に搭載されているヘルプ全体の目次である「ヘルプの目次」）が選択できます。

タップすると、先に進んだヘルプ画面まで再び進んで表示します。

タップすると、もとのヘルプ画面まで戻って表示します。

タップすると「検索」の画面が表示され、検索したい語句を入力できます。

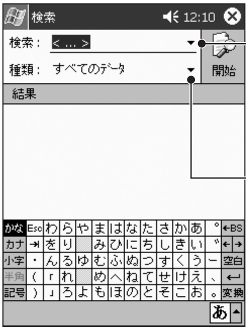
検索のしかた

1 「スタート」から「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

2 「検索」欄に検索したい語句を入力する

文字の入力のしかたは、「文字入力のしかた」（参照 41 ページ）をご覧ください。



以前に検索した項目を検索するときは、▼をタップして表示された一覧から選びます。一覧には最近検索した6項目まで表示されます。

データの種類を絞り込んで検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

3 「開始」をタップする

検索データの種類に応じて、My Documentsフォルダ（サブフォルダを含む）などが検索され、検索結果が「結果」欄に表示されます。

- もう１度検索する場合は、「検索」欄をタップして、検索語句を入力します。

2. 文字入力のしかた

文字入力の概要について

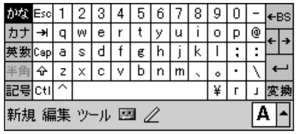
「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、次の４つのタイプがあります。

- キーボードタイプ入力パネル

「ひらがな／カタカナ」

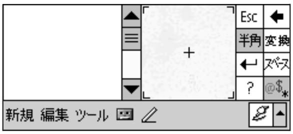


「ローマ字／かな」

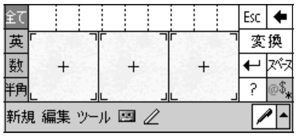


- 手書きタイプ入力パネル

「手書き検索」



「手書き入力」



入力パネルの切り替えについて

画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると、画面下部に入力パネルが表示されます。



使用したい入力パネルをタップして選びます。

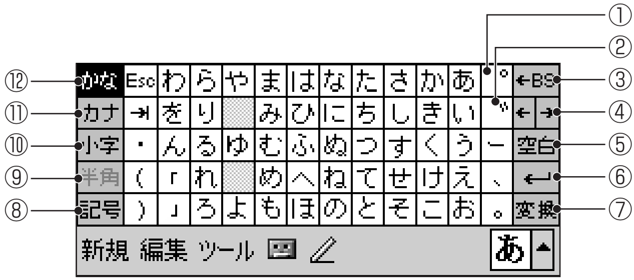
入力パネル切り替えボタン

入力パネル表示ボタン
タップすると入力パネルの表示/非表示の切り替えができます。

キーボードタイプの入力パネル

「ひらがな／カタカナ」キーボード

キーボードのキーは次のようなはたらきがあります。



① ゜ ....「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてから゜をタップします。

② ゛ ....「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてから ゛を タップします。

③ ←BS ....カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④ ←→ ....カーソルを前後に移動します。

⑤ 空白 ....空白を入力します。

⑥ ↵ ....「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦ 変換 ....ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑧ 記号 ....「記号」キーボードに切り替わります（参照 44 ページ）。

⑨ 半角 ....タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。

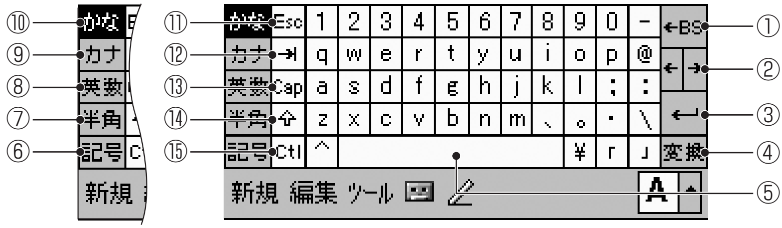
⑩ 小字 ....タップして「小字」を反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、１文字入力すると解除されます。

⑪ カナ ....「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫ かな ....「ひらがな」キーボードに切り替わります。

「ローマ字／かな」キーボード

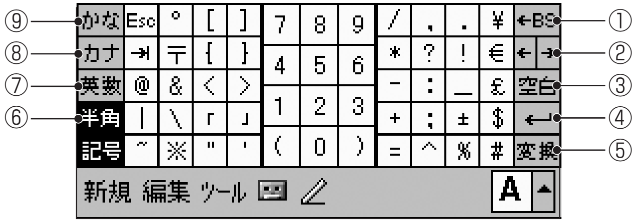
キーボードのキーは次のようなはたらきがあります。



① ←BS ……カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。
② ←→ ……カーソルを前後に移動します。
③ ↵ ……「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
④ 変換 ……ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。
⑤ （スペース）……「スペース」キーです。空白を入力します。
⑥ 記号 ……「記号」キーボードに切り替わります（参照 44 ページ）。
⑦ 半角 ……タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。
⑧ 英数 ……英数字入力します。
⑨ カナ ……ローマ字入力で、カタカナを入力します。
⑩ かな ……ローマ字入力で、ひらがなを入力します。
⑪ Esc ……「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
⑫ ⇥ ……「タブ」キーです。タブを入力します。
⑬ Cap ……「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして Cap を反転させると大文字入力ができます。もう１度タップすると解除します。
⑭ ⇧ ……「シフト」キーです。タップして ⇧ を反転させると、大文字および記号（！“＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。
⑮ Ctl ……「コントロール」キーです。英数字キーと組み合わせて機能を実行します。

■「記号」キーボード

「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」キーボード左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。



①〜⑤ .... 各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③④⑤⑥⑦キーと同じです。

⑥ 半角 .... タップして「半角」を反転させると、半角入力ができます。もう 1 度タップすると解除します。

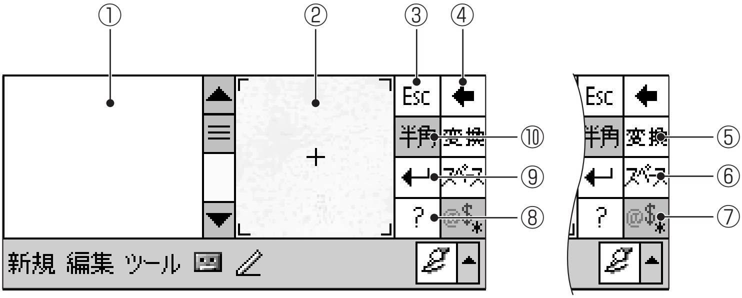
⑦ 英数 .... 「ローマ字／かな」キーボードに切り替わります。

⑧ カナ .... 「カタカナ」入力モードに戻ります。

⑨ かな .... 「ひらがな」入力モードに戻ります。

手書きタイプの入力パネル

「手書き検索」入力パネル



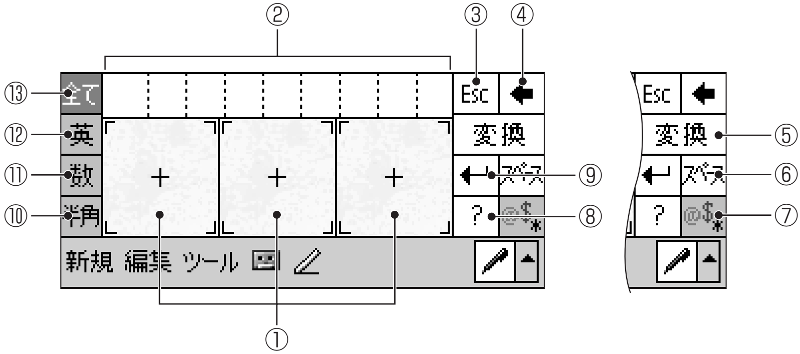
①（認識候補一覧）...... ②で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。
②（手書き入力欄）...... 手書き入力します。
③ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
④ ← .... ②で手書き中に ← をタップすると、最後の１画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を１文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。
⑤ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。
⑥ スペース .... 文字列にスペースを挿入します。
⑦ @$* .... 「記号」キーボードに切り替わります（参照 47ページ）。
⑧ ? .... タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。
⑨ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
⑩ 半角 .... タップして反転させると、カタカナ、英数字などの半角入力ができます。もう１度タップすると解除します。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 49ページ）をご覧ください。

第2章 2・文字入力のしかた

「手書き入力」入力パネル



①（手書き入力欄）............. ３つの欄に手書きした文字が、順に認識され、連続的に入力できます。

②（認識候補一覧）............. ①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。文字を選択しないで①に入力を続けていくと、②に一覧表示される一番左側の文字候補が自動的に選択されます。

③〜⑩ .... 各キーのはたらきは、「手書き検索」入力パネルと同じです。

⑪ 数 .... 認識候補を、数字および記号とします。

⑫ 英 .... 認識候補を、英字および記号とします。

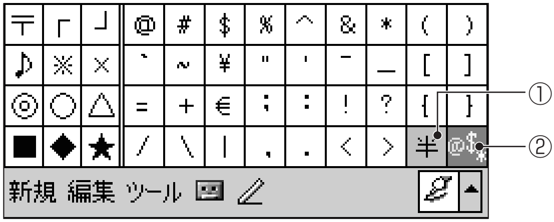
⑬ 全て .... 認識候補を、すべての文字とします。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 50 ページ）をご覧ください。

■「記号」キーボード

「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」パネル右下の @$* をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。どれか記号をタップして選択すると、元の入力パネルに戻ります。



① 半 ………………………… タップして反転させると、半角入力ができます。ただし、記号によっては全角でしか入力できないものもあります。もう 1 度タップすると解除します。

② @$* ………………………… 「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」パネルに切り替わります。

文字入力する

ここでは、Pocket Word を使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Word の新規文書を開くには、「Today」画面のコマンドバーの「新規」から、「Word 文書」をタップします。
● 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「かんじ」と入力する

画面に「かんじ」と入力されます。



3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。
● 変換が違うときはもう１度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する**

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

2 **キーボードから「kanji」と入力する**

画面に「かんじ」と表示されます。

3 **「変換」をタップする**

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう1度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 **[↵] をタップする**

反転が解除されて、確定します。

「手書き検索」入力パネルを使って入力する

（例）「書」と手書きして変換してみます。

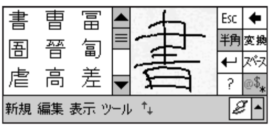
1 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する**

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

2 **手書き入力欄に「書」と手書き入力する**

左側に認識候補一覧が表示されます。

- 一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。



3 **[↵] をタップする**

「書」が確定されます。

「手書き入力」入力パネルを使って入力する

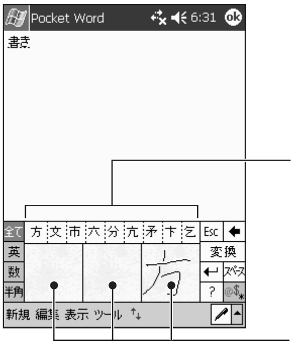
（例）「書き方」と手書きして変換してみます。

1　入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

2　３つの手書き入力欄に「書」、「き」、「方」と手書き入力する

自動的にテキスト変換して、「書き方」と表示されます。



文字を入力した直後に、ここに表示された候補の中から入力したい文字を選択できます。

入力順序はどこからでもかまいません。先に入力した文字から変換します。

3　[↵] をタップする

「書き方」が確定されます。

文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

文字を追加するには

1　文字を追加したい位置をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2　追加したい文字を入力する

カーソル位置に入力文字が追加されます。

お知らせ

- 「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」入力パネルの [←→] キーをタップしてもカーソルの位置を移動できます。
- カーソルボタンでもカーソルの位置を移動できます。
- 改行するには、改行したい位置にカーソルを合わせ、[↵] キーをタップします。

文字を削除するには

1 **削除したい文字の直後をタップする**

カーソルが点滅表示されます。

2 **カーソルの位置を確認して [←BS] をタップする**

「手書き検索」または「手書き入力」パネルのときは [←] をタップします。
カーソルの位置から前へ順に削除されます。

- 削除したい範囲をドラッグして、[←BS]（[←]）または「編集」→「クリア」をタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

文字を変更するには

1 **変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する**

文字をコピーするには

1 **コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」→「コピー」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」→「貼り付け」をタップする**

文字を移動するには

1 **移動したい範囲をドラッグして、「編集」→「切り取り」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」→「貼り付け」をタップする**

文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1 **「編集」→「元に戻す」をタップする**

お知らせ

- 「元に戻す」の操作をした直後、「編集」→「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

3. パソコンと接続して同期をとる

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行えます。
本体をパソコンに接続するためには、パソコンにActiveSync® 3.7をインストールする必要があります。また、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期には、Outlook®（Outlook® 2002を推奨）をインストールする必要があります。

パソコンの必要条件について

ActiveSync® 3.7は、Outlook® 98、Outlook® 2000、Outlook® 2002に対応しています（Outlook® 2002を推奨）。

- 本体のOSのPocket PC 2003では、ActiveSync® 3.1、3.5日本語版は、サポート対象外になります。

ActiveSync® 3.7の動作環境は、次のとおりです。

■オペレーティングシステム、接続ポート

オペレーティングシステム（下記の日本語版）	接続ポート		
	USB接続	9または25ピンのシリアル接続ポート	赤外線通信ポート
Microsoft® Windows® 2000/98/Me/XP	使用可	使用可	使用可
Windows NT® Workstation4.0 (Service Pack6 以降)	使用不可	使用可	使用不可

- Windows® 95は、ActiveSync® 3.7の対象OSではありません。
- シリアル通信ポートで接続する場合は、シリアルシンクケーブル（別売品）またはシリアルクレードル（別売品）が必要です。また25ピン通信ポートの場合は、市販の変換アダプタが必要です。

■各オプション、その他

インストールソフト	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以降のバージョン
必要な空きハードディスク容量とメモリ	Internet Explorer 5.0 の場合 56 ～ 98MB ActiveSync® 3.7 の場合 12 ～ 65MB
	Outlook® 2002 標準インストールの場合　230MB 以上 （メモリは 64MB 以上を推奨）
各オプション	オーディオカード／スピーカ
	Microsoft® Office97（Outlook除く）、またはMicrosoft® Office2000、または Microsoft® OfficeXP
	リモート同期用モデム
	リモート同期用イーサネット LAN 接続
その他	CD-ROM ドライブ
	256 色以上の VGA グラフィックスカード、または 互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
	キーボード
	Microsoft マウス、または互換性のあるポインティングデバイス

ActiveSync3.7 について

本体（Pocket PC）とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。本体には、Pocket PC 用の ActiveSync がすでにインストールされています。
ActiveSync3.7を使用して本体とパソコンの間で、次のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定表」、「仕事」の同期
- 「受信トレイ」内のメールの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- 選択したファイルの同期
- 本体へのアプリケーションの追加と削除
- 本体のデータのバックアップと復元

お知らせ

- ActiveSync3.7 は付属のコンパニオン CD に収録されています。
- ActiveSync3.7の詳細については、ActiveSync3.7をパソコンにインストールしてから、ActiveSync3.7 のヘルプをご覧ください。
- クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧になり、その順番で ActiveSync3.7 をインストールしてください。

初めてパソコンと接続して同期をとる

初めてパソコンと接続して同期をとるときは、次の手順で接続します。
詳しくは、クイックスタートガイドをご覧になり、接続してください。

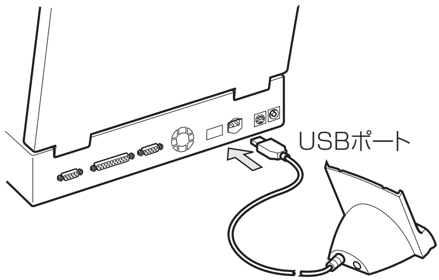
1 コンパニオン CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

コンパニオン CD については（参照 201 ページ）をご覧ください。

2 パソコンに Microsoft Outlook 2002 をインストールする

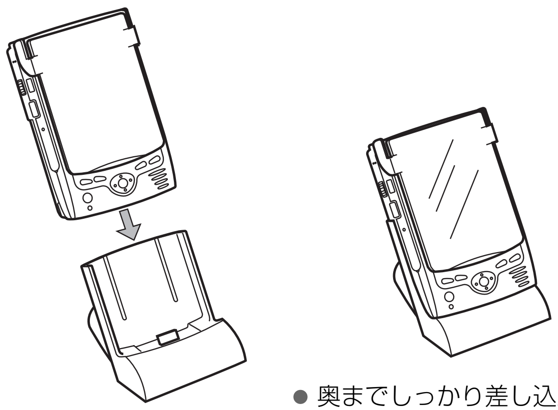
3 パソコンに ActiveSync3.7 をインストールする

4 USB クレードルを直接パソコンの USB ポートに接続する



● このときは USB クレードルに本体を差し込まないでください。

5 本体を電源 OFF の状態で、USB クレードルに接続する



● 奥までしっかり差し込んでください。

本体の電源が ON になり、本体とパソコンの接続が確立されます。
● 本体はパソコンから「モバイルデバイス」として認識されます。

6 パートナーシップの設定をする

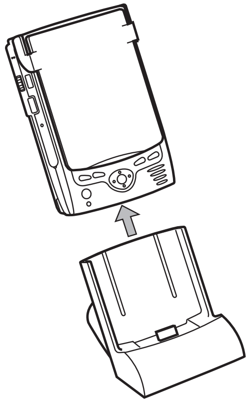
本体とパソコンの同期の設定をします。

7 「セットアップ完了」の画面で「完了」をクリックする

本体とパソコンの同期を開始します。

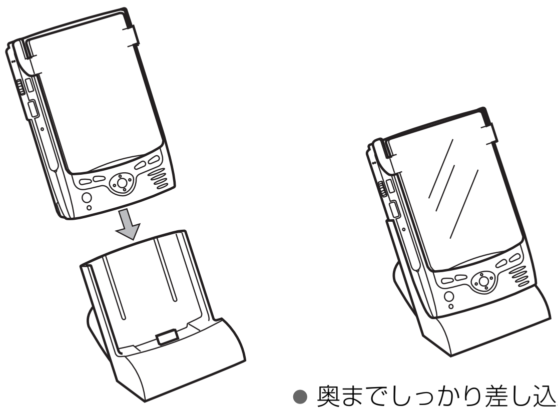
■本体をパソコンから取りはずす

本体の電源を OFF にして、本体をクレードルから取りはずします。



再びパソコンと接続して同期をとる

本体を電源 OFF の状態で、USB クレードルに接続します。本体とパソコンが接続し、同期を開始します。



● 奥までしっかり差し込んでください。

● 本体が動作しているとき、クレードルから本体を着脱しないでください。故障、誤動作、データ消失の原因となります。

同期の設定を変更する

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで同期したい情報の種類にチェックを付けます。



お知らせ

- 「設定」をクリックすると、その情報の同期の条件などについて詳しく設定できます。
- 「ファイル」にチェックを付けると選択したファイルを同期できます。
- 詳しくはパソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

本体とパソコンの間で、ファイルを移動する

パソコンのエクスプローラで「モバイル デバイス」の「My Pocket PC」をクリックします。
本体のフォルダ一覧が表示されるので、ファイルの移動などができます。

本体のデータをパソコンへバックアップする

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」→「バックアップ／復元」をクリックし、「バックアップ」をクリックします。

- 詳しくは、パソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

赤外線を使ってパソコンと接続して同期をとる

クレードルやケーブルを使わずに、赤外線を使ってパソコンに接続できます。

1 パソコンの赤外線接続を設定する

- お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

2 本体を接続しない状態で、パソコンの ActiveSync を起動する

3 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする

4 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける

5 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート（IR）」を選択する

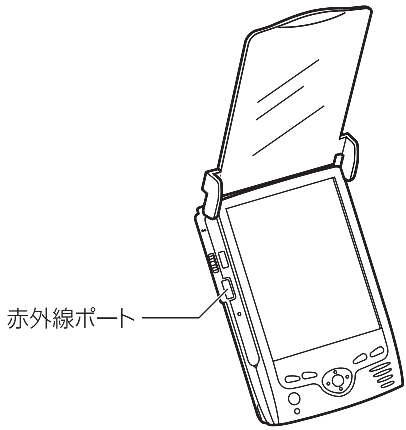
- 「赤外線ポート（IR）」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。もう1度パソコンの赤外線設定をご確認ください。

6 「OK」ボタンをクリックする

7 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

- ポート間に障害物がないように、また２つのポートの間が20cm以内になるようにします。

8 本体の「スタート」から「ActiveSync」をタップし、「ツール」→「赤外線から接続」をタップする



- 本体からパソコンに赤外線接続を開始します。

お知らせ

- 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

4. ファイルの管理

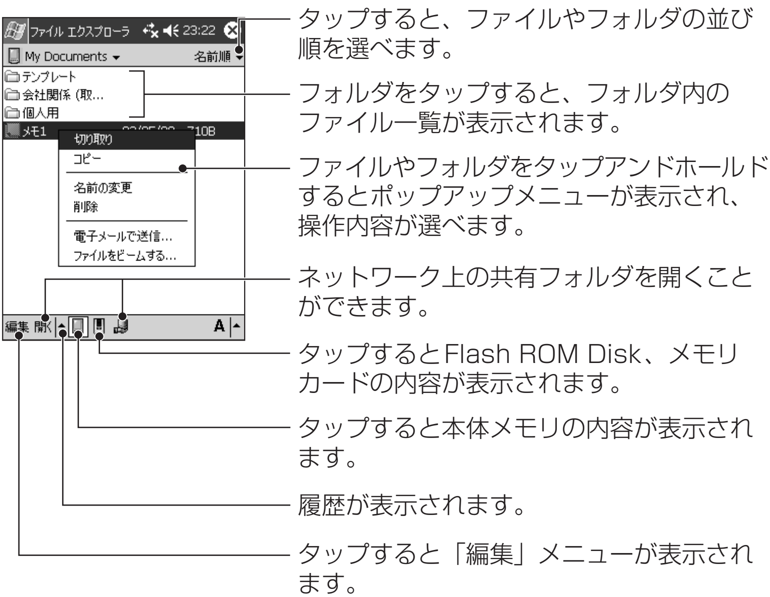
ファイルエクスプローラを使うと、本体メモリや挿入したメモリカードのファイルやフォルダの一覧が表示でき、新規フォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動するなど、ファイルの操作ができます。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

- 「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層を選べます。



- ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

新規フォルダを作成する

1 フォルダを作成したい階層を表示する

● 別の階層にフォルダを作成するには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

2 「編集」→「新しいフォルダ」をタップする

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

3 フォルダ名を入力して ↵ をタップする

ファイルやフォルダをコピーする

1 コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「コピー」をタップする

3 コピー先にしたい階層を表示する

● 別の階層にコピーするには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

4 「編集」→「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層にコピーされます。

● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー〜」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

ファイルやフォルダを移動する

1 **移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**

3 **移動先にしたい階層を表示する**

4 **「編集」→「貼り付け」をタップする**

現在表示中の階層に移動されます。

- ポップアップメニューを表示させて､｢貼り付け｣を選んでもできます。

お知らせ

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。
- ｢切り取り｣したファイルやフォルダを貼り付けず､他のファイルやフォルダを「切り取り」すると、前の「切り取り」は、解除されます。

ファイルやフォルダを削除する

1 **削除したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「削除」をタップする**

削除を確認する画面が表示されます。

3 **「はい」をタップする**

お願い

- フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
- ファイルやフォルダの削除を実行すると､削除の取り消しはできませんので、ご注意ください。

ファイル名やフォルダ名を変更する

1 **名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする**

名前の入力状態になります。

3 **新しい名前を入力して[↵]をタップする**

ファイルを電子メールで送信する

1 **電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動し、選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。

- 受信トレイを使って送信するには、第３章の「メールを送受信する」（参照 140 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは（参照 128 ページ）をご覧ください。

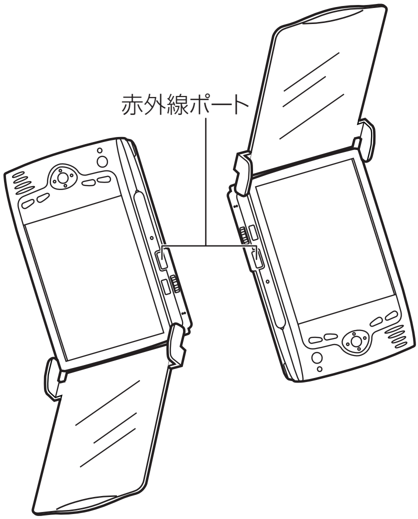
ファイルをビームする

本体と赤外線ポートを備えたPocket PCとの間で、赤外線通信によるデータ転送が行えます。

データを送受信する

1 **本体と他の Pocket PC の赤外線ポートの位置を合わせる**

- ポート間に障害物がないように、また２つのポートの間が 20cm 以内になるようにします。



2 **送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

3 **ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする**

受信側の Pocket PC に、「データを受信中」 が表示されます。

4 受信側の Pocket PC で、「はい」をタップする

データの送信 / 受信が行われます。



「いいえ」をタップするとデータの受信を中止します。

- 上記画面が表示されないときは、受信側のPocket PCで、「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ビーム」をタップし、「赤外線を受信します」をタップします。

お知らせ

- ファイルエクスプローラからだけでなく、各プログラムの一覧画面で、ポップアップメニューから「ファイルをビームする」の操作が行えます。

5. 使用環境設定

設定項目について

「スタート」から「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

タブ	項目	説明	参照ページ
個人用	Today	「Today」画面に表示したい情報を設定します。	66
	オーナー情報	自分の連絡先などの個人情報を入力します。	67
	パスワード	電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。	68
	ボタン	プログラムボタンを押したとき、何のプログラムが起動するか設定します。	70
	メニュー	「スタート」メニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の「新規」メニューを設定します。	71
	入力	手書き入力または録音時のオプション設定をします。	－
	音と通知	音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。	－
システム	GENIOオーディオ	音声の音質とマイクゲインを設定します。	72
	システムプロパティ	リモートスイッチ、カーソルボタンの設定をします。	73、74
	バージョン情報	システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。	－
	パワーマネージメント	充電残量を表示します。 電源OFFまでの時間、サスペンド時にカードに電源を供給するかしないか、パソコンからUSB経由で充電を行うか、などの設定をします。	75
	フロントライト	画面の明るさ、およびフロントライトを消灯するまでの時間を設定します。	77
	プログラムの削除	追加したプログラムを削除します。	36
	プロセッサ設定	プロセッサの設定速度を変更します。	78
	メモリ	データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。	79

タブ	項目	説明	参照ページ
システム	地域	数値、通過、時刻および日付の表示方法を設定します。	−
	時計	時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。	82
	画面	画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。	−
	証明書	公開キー証明書を管理できます。	83
接続	ビーム	ビームの設定をします。	−
	接続	インターネットの接続を設定します。	112

お知らせ

- 参照ページがない項目の設定方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの使いかたは、（参照 39ページ）をご覧ください。
- 「設定」はパソコンの「コントロールパネル」に相当します。

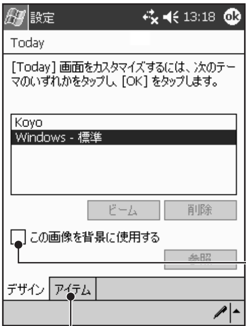
「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

1 **「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする**

「Today」の設定画面が表示されます。

2 **「Today」を設定する**

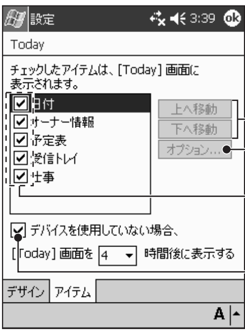


背景に使用するテーマを選択できます。

テーマ以外の背景を使用するには、ここにチェックを付け、「参照」をタップし、背景に使用する画像ファイルを指定します。

タップすると「アイテム」の設定に移ります。

「アイテム」タブでは、「Today」画面に表示される項目を設定できます。



順番を変更したい項目をタップして「上へ移動」または「下へ移動」をタップします。

「予定表」と「仕事」はオプションで更に詳しく設定できます。

「Today」画面に表示したい項目にチェックを付けます。

電源がOFFしてからどれくらいの時間が経過すると、電源をONしたときに「Today」画面を表示するかを設定します。設定するときはここにチェックを付けて、時間を選びます。

3 **設定を終えたら ok をタップする**

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「日付」は移動できません。
- 「Today」画面の説明は（参照 32ページ）をご覧ください。

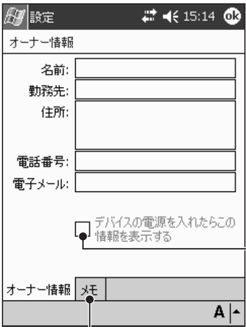
「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

2 「オーナー情報」を入力する



各項目をタップして文字を入力します。

ここにチェックを付けると、電源をONにしたときに「オーナー情報」が「マイインフォ」画面として表示されます。本体を紛失したときのために、チェックを付けておくと便利です。

タップするとメモの入力画面が表示されます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

「パスワード」を設定する

電源をONにしたときにパスワードを要求して、第三者からデータや設定を守ることができます。

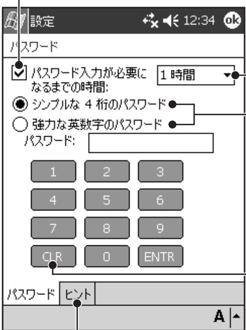
1 **「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする**

「パスワード」の設定画面が表示されます。

2 **「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を設定する**

3 **「シンプルな４桁のパスワード」または「強力な英数字のパスワード」をタップして「パスワード」を設定する**

下の画面は「シンプルな４桁のパスワード」を選択しています。



チェックを付けると、パスワードを使用できます。

電源がOFFしてからどれくらいの時間が経過すると、電源をONしたときにパスワードを要求させるか設定します。

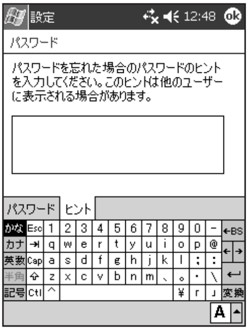
どちらかを選択します。

パスワードを入力し直すときは、ここをタップします。

タップすると、「ヒント」の設定に移ります。

「強力な英数字のパスワード」を選んだときは、パスワードは７文字以上で、半角英数字（大文字と小文字）と区切り記号の組み合わせが必要です。パスワード欄と確認入力欄に同じパスワードを入力してください。

「ヒント」タブでは、パスワードを忘れたときにパスワードのヒントになる語句を設定できます。
パスワードのヒントは、パスワードの入力を連続して4回間違えた場合に表示されます。



4 設定を終えたらⓚをタップする

「パスワードの設定の変更を保存しますか？」が表示されます。

5 「はい」をタップする

パスワードが保存され、「個人用」タブの画面に戻ります。

お願い

- パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードは忘れないように控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は（参照 247ページ）をご覧ください。
  定期的にデータのバックアップ（参照 100ページ）をしておけば、初期化した後、バックアップしたデータを本体にリストア（復元）できます。このときパスワードは解除されています。

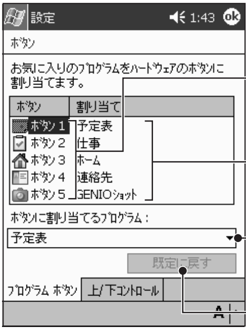
「ボタン」を設定する

本体のプログラムボタン１、2、3、4、５によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

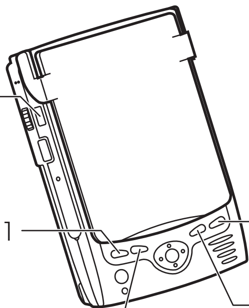
1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする

「ボタン」の設定画面が表示されます。

2 設定したいボタンを指定してプログラムを選択する



（プログラムボタンの初期設定）



3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

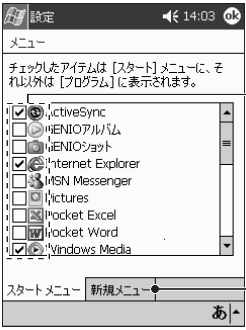
「メニュー」を設定する

「スタート」メニューと「新規」メニューを設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

「メニュー」の設定画面が表示されます。

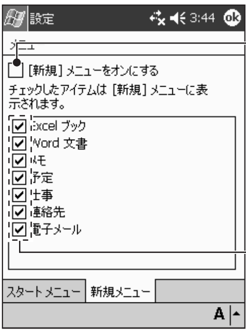
2 「メニュー」を設定する



アイテム横のボックスにチェックを付けると、チェックを付けたアイテムを「スタート」のメニューに9個まで追加できます。

タップすると「新規メニュー」の設定に移ります。

「新規メニュー」タブでは、「Today」画面左下の「新規」をタップしたときに表示される項目を設定できます。



ここにチェックを付けると、「新規」メニューを「予定表」、「仕事」、「連絡先」、「メモ」、「Pocket Word」、「Pocket Excel」の各プログラムのコマンドバーの「新規」の横の「▲」からでも使用できます。

アイテム横のボックスにチェックを付けると、チェックを付けたアイテムを「新規」メニューに表示できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューからはずせません。

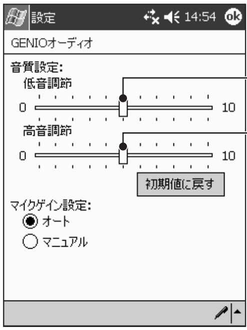
「GENIO オーディオ」を設定する

本体から出力される音質を設定できます。また、本体で音声を録音するときのマイクゲインを設定できます。

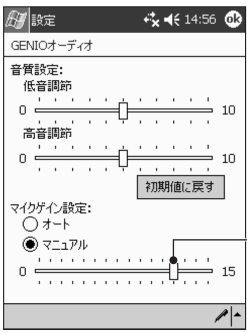
1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「GENIO オーディオ」をタップする

「GENIO オーディオ」の設定画面が表示されます。

2 「GENIO オーディオ」を設定する



「マイクゲイン設定」で「マニュアル」を選ぶと、マイクゲインのレベルを調節できます。



3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「リモートスイッチの設定」をする

リモコン付きイヤホンのボタンを押したときに起動するオーディオプレーヤーを選択できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「システムプロパティ」をタップする

「システムプロパティ」の画面が表示されます。

2 リモートスイッチで起動するオーディオプレーヤーを選択する



タップしてオーディオプレーヤーを選択します。
インストールされているオーディオプレーヤーが表示されます。

3 設定を終えたら(ok)をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「カーソルボタンの設定」をする

カーソルボタンの動作方向(4 方向または 8 方向)を変えることができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「システムプロパティ」をタップする

2 カーソルの方向を変更する



方向を選びます。

3 設定を終えたらokをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「パワーマネージメント」を設定する

内蔵電池（本体バッテリ）の充電残量が確認できます。また、本体の未使用時間に応じて電源をOFF（サスペンド）にする時間設定、サスペンド時にカードに電源供給するかしないかの設定などができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする

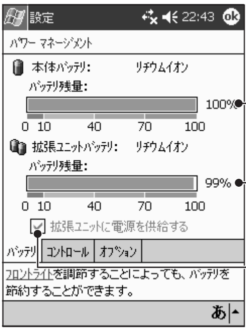
「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

2 「パワーマネージメント」を設定する

● 設定項目は、バッテリ／コントロール／オプションのタブに分類されています。

■バッテリタブ

（内蔵電池使用、拡張ユニット（別売品）接続時）



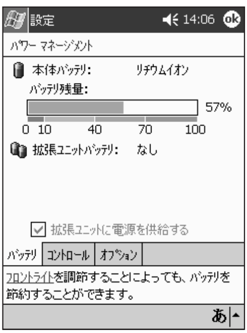
内蔵電池の充電残量を表示します。

接続している拡張ユニットの電池残量を表示します。

チェックを付けると、拡張ユニットの電池残量が少ない場合、本体の内蔵電池から拡張ユニットに電源を供給します。
お互いの電池残量をバランスよく使用します。
（拡張ユニットの種類によっては設定できないものがあります）

■バッテリタブ

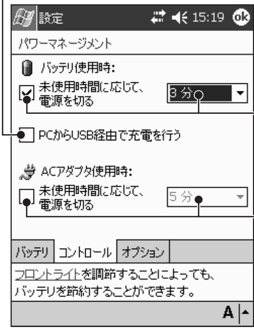
（AC アダプタ使用時）



第2章

5・使用環境設定

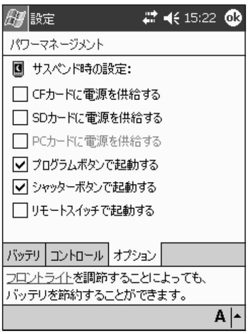
■コントロールタブ



チェックを付けると、本体電源がONのとき、パソコンからUSB経由で内蔵電池を充電します。

チェックを付けて、時間を設定すると、本体の未使用時間が設定値になれば、電源をOFF（サスペンド）します。
初期値　バッテリ電源使用時：3分
　　　　ACアダプタ使用時　：なし
ただし、パソコンとActiveSync接続しているときや、Windows Media Player、SD Audio Playerで再生しているときなどは、この機能は働きません。

■オプションタブ



チェックを付けると、サスペンド時にもカードに電源を供給します。

チェックが付いていると、本体の電源がOFFしていても、プログラムボタン/シャッターボタン/リモコン付きイヤホンのボタンを押せば電源がONし、割り当てられているプログラムが起動します。
チェックをはずせば、電源はONしません。

お知らせ

- 「XXカードに電源を供給する」にチェックが付いていると、内蔵電池の消耗が速くなります。電池の消耗を防ぐため、サスペンド時に電源の供給が必要なカードを接続したときのみ、チェックを付けるようにしてください。サスペンド時に電源の供給が必要なカードとは、サスペンド中に機能することができる通信カードなどで、対応するソフトウェアが本体にインストールされていることが必要です。
- PCカードは、PCカード拡張ユニット（別売品）を使って、本体に接続します。

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

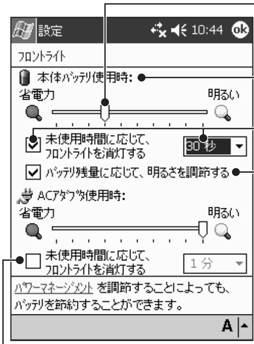
「フロントライト」を設定する

フロントライトの明るさのレベルは、「9段階+省電力(消灯)」の中から選べます。見やすい明るさに設定してください。また、本体の未使用時間に応じて消灯する時間を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「フロントライト」をタップする

「フロントライト」の設定画面が表示されます。

2 「フロントライト」を設定する



つまみをドラッグして明るさレベルを設定します。省電力側（左端）は消灯になります。

内蔵電池（バッテリ電源）使用時です。

時間を設定し、チェックを付けると、本体の未使用時間が設定値になれば、消灯します。初期値：30秒

チェックを付けると、内蔵電池の充電残量が70%以下のときは、電池の消耗を防ぐため、電池残量に応じてフロントライトが自動的に暗くなります。

ACアダプタを接続して使用しているときは、こちらで設定します。

初期値ではここにチェックが付いていません。

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵電池の充電残量が5%になると、電池の消耗を防ぐため、フロントライトが自動的に消灯します。

第2章

5・使用環境設定

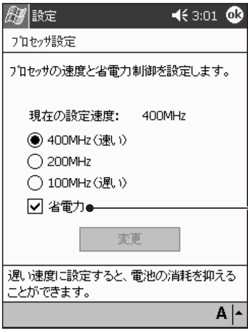
「プロセッサ設定」をする

プロセッサの動作速度を選べます。本体の動作状況に応じて設定してください。
プロセッサの動作速度を速くすれば、内蔵電池の消耗は速くなります。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プロセッサ設定」をタップする**

「プロセッサ設定」の画面が表示されます。

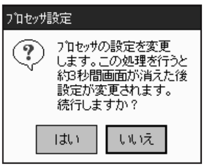
2 **プロセッサの動作速度を選択し、「変更」をタップする**



動作速度を選びます。

チェックを付けると省電力制御が有効になります。

3 **動作速度変更の確認画面で、「はい」をタップする**



- 約３秒間画面が消えます。

4 **ok をタップする**

「システム」タブの画面に戻ります。

「メモリ」を設定する

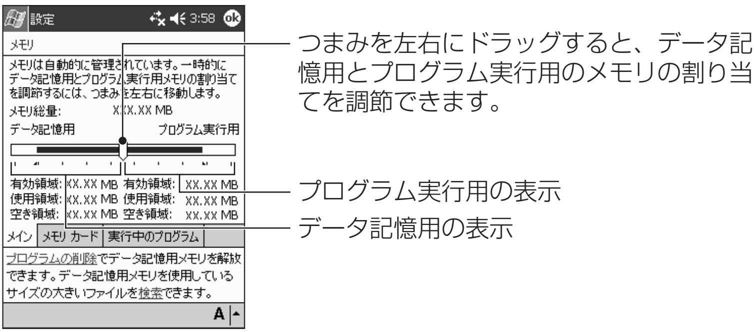
データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。また、実行中のプログラムを終了できます。

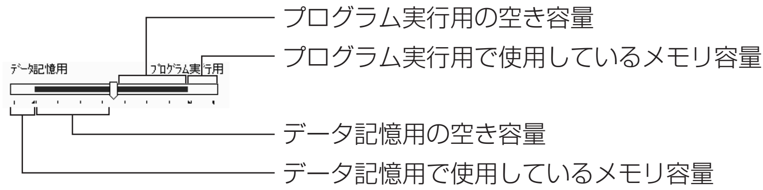
メモリの割り当てを変更する

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする

「メモリ」の設定画面が表示されます。

2 メモリの割り当てを変更する





3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- メモリは自動的に管理されていますので、データ記憶用とプログラム実行用の割り当ては、自動的に調節されることがあります。

第2章 5・使用環境設定

Flash ROM Diskまたはメモリカードの使用状況を確認する

1 「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする

「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。



挿入しているメモリカードの総容量

使用している容量

空き容量

Flash ROM Disk、または挿入しているメモリカードを選択します。

2 確認を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

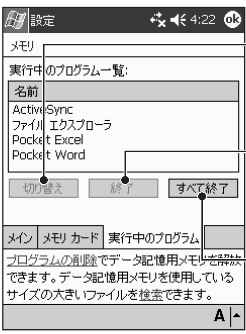
- Flash ROM Diskは本体内蔵の記憶装置です。
  CFメモリカード、SDメモリカードと同じように、データやバックアップの保存先として指定することができます。

実行中のプログラムを終了する

1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

2 実行中のプログラムを終了する



表示されているプログラムを選んで「切り替え」をタップすると、選ばれたプログラムに切り替わります。

表示されているプログラムを選んで「終了」をタップすると、選ばれたプログラムだけが終了します。

「すべて終了」をタップすると画面に表示されているプログラムがすべて終了します。

3 ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、プログラムから応答がないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面に従って操作してください。

メモリを解放する

メモリが不足してエラーメッセージが表示された場合や、メモリの空き容量を増やしたい場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、次の方法があげられます。

- メモリカードなどにデータを移して、本体からデータを削除する
- 不要なファイルを削除する
- 実行中のプログラムを終了する
- 使用しないプログラムを削除する
- 本体をリセットする（参照 246 ページ）

お知らせ

- メモリを解放する方法は、「メモリ」のオンラインヘルプもご覧ください。

「時計」を設定する

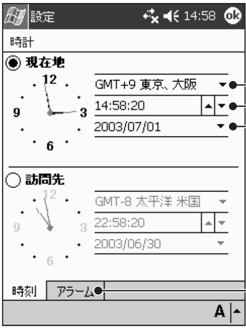
現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計」をタップする**

「時計」の設定画面が表示されます。

- 「Today」画面で時計アイコンをタップしても「時計」の設定画面が表示されます。

2 **「時計」を設定する**



タップして一覧から地域を選びます。

時と分と秒をそれぞれ反転させて時間を設定します。時間は▲または▼をタップして入力します。
▲で進め、▼で戻せます。

タップするとカレンダーが表示されます。設定したい日付を選びます。

タップすると毎週決まった曜日の時刻にアラームを最大4つまで設定できます。

3 **設定を終えたらokをタップする**

「時刻」タブの設定を変更した場合、「設定は変更されています。更新しますか？」という画面が表示されます。「はい」をタップしてください。
「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。
- パソコンと同期させたとき、時刻をパソコン側と同じに設定することができます（参照 56 ページ）。

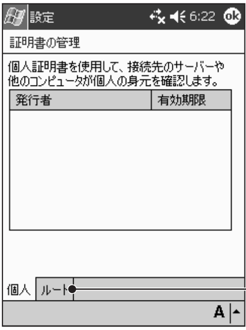
証明書を管理する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続元のサーバーを識別するルート証明書の確認ができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「証明書」をタップする

「証明書の管理」画面が表示されます。

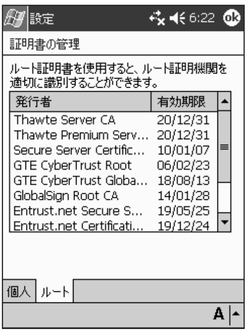
2 証明書を管理する



個人証明書の一覧が表示されます。証明書をタップすると、詳細情報を表示できます。証明書をタップアンドホールドして、ポップアップメニューから「削除」をタップすると、証明書を削除できます。

タップすると、ルート証明書の管理に移ります。

「ルート」タブでは、ルート証明書の管理ができます。



3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

6. ホームを使う

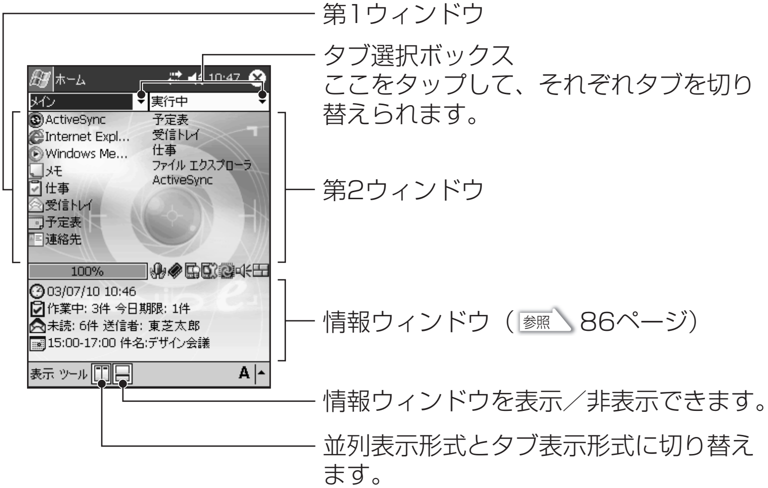
「ホーム」を使うと、「ホーム」画面に配置されたアイコンをタップして、内蔵またはインストールされているアプリケーション（プログラム）を簡単に起動できます。また、実行中のプログラムを一覧表示し、そのプログラムへの切り替えと終了を簡単に行えます。「ホーム」画面には、電池残量、Today情報、よく使う設定アイコンも表示されます。「ホーム」画面は、アイコンやタブの追加、背景の変更など、いろいろアレンジできます。

「ホーム」画面からアプリケーションを起動する

1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」画面が表示されます。

- 本体のホームボタンを押しても起動します。
- 初期状態は、並列表示形式で情報ウィンドウ表示ありの画面です。



2 **タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする**

タップしたアプリケーションが起動します。

お知らせ

- アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します（参照 88ページ）。

「ホーム」画面の表示形式の切り替え

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

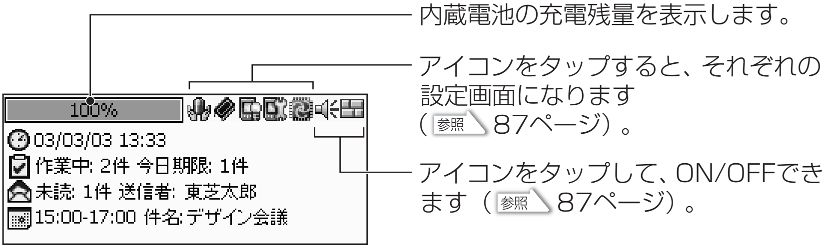


タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

「ホーム」画面の情報ウィンドウについて

情報ウィンドウは、今日の仕事や今日の予定などのToday情報、電池残量やハードウェアなどの情報を表示します。



：日付と時刻を表示します。アイコンをタップすると、「時計」の設定画面になります。

：今日の時点で作業中の仕事の件数と、今日の時点で期限切れになる、またはすでに期限切れになっている仕事の件数を表示します。アイコンをタップすると、仕事が起動します。

：未読メールの件数と最新未読メールの送信者を表示します。アイコンをタップすると、受信トレイが起動します。

：今日の予定が表示されます。アイコンをタップすると、予定表が起動します。

お知らせ

- GENIO-SPEECHがONのとき、、、のアイコンをタップすると、それぞれ仕事、未読メール、予定が読み上げられます。

表示項目	項目名	説　明
	パワーマネージメント	アイコンをタップすると、「パワーマネージメント」の設定画面になります。
	メモリ設定	アイコンをタップすると、「メモリ」の設定画面になります。
	フロントライト設定	アイコンをタップすると、「フロントライト」の設定画面になります。
	システムプロパティ	アイコンをタップすると、「システムプロパティ」の画面になります。
	Bluetooth設定	別売のBluetooth SDカードVer.2.0以降を使用時、表示されます。アイコンをタップするとBluetooth設定の画面が表示されます。
	CPUクロック情報	CPUクロックの設定状態です。 アイコンをタップすると、「プロセッサ設定」の設定画面になります。
ON　OFF	スピーカ出力ON/OFF	アイコンをタップすると、スピーカ出力のON/OFFが切り替わります。 ナビゲーションバーのアイコンを使って切り替えたものと連動しています。ただし当ボタンでON→OFFに切り替えても、ナビゲーションバーの表示は変更されません。
ON　OFF	キーON/OFF	アイコンをタップすると、キーのON/OFFが切り替わります。 キーOFFにすると、電源OFF時にプログラムボタンを押しても電源がONにならないようになります。 「パワーマネージメント」での設定と連動しています。
ON　OFF	GENIO-SPEECH ON/OFF	付属のGENIO-SPEECHがインストールされている時だけ表示されます。アイコンをタップすると、GENIO-SPEECHのON/OFFが切り替わります。 アイコンをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、GENIO-SPEECHの設定の画面が表示されます。

ホームボタンを使って選択先(カーソル)を切り替える

ホームボタンを押すたびに、①、②、. . . のように選択先(カーソル)が移動します。

並列表示の場合



⑤のあと、①に戻ります。

タブ表示の場合



③のあと、①に戻ります。

カーソルボタンを使って選択する

カーソルボタンで下記の操作ができます。

■タブ名にカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、１つ後ろのタブに切り替わります。
- 最終のタブを表示していた場合は、切り替わりません。

カーソルボタンを上または左に押すと、１つ前のタブに切り替わります。
- 先頭のタブを表示していた場合は、切り替わりません。

■第１/第２ウィンドウのアイコンにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ下に移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

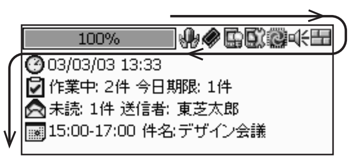
カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ上に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

お知らせ
- 大きいアイコン表示の場合、カーソルボタンを左に押すとカーソルが左に移動し、右に押すと右に移動します。

■情報ウィンドウにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが１つ後ろに移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが１つ前に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。



アイコンの順番は、図のようになります。

「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。下記画面は、タブ表示形式の場合の画面ですが、並列表示形式の場合でも、内容は同じです。



実行中のアプリケーション

表示メニューからは「文字色」と「背景色」が、ツールメニューからは「タブの設定」と「バージョン情報」がそれぞれ選べます。文字色と背景色の設定は（参照 98ページ）、タブの設定については（参照 95ページ）をご覧ください。

アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。

● 切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。



タップすると選んだアプリケーションに切り替わります。

タップするとアプリケーションは終了し、画面上からアプリケーション名が消えます。

タップすると画面上に表示されているすべてのアプリケーションが終了します。

お知らせ

● 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

アイコンの移動

タブ内やタブ間でアイコンを移動できます。新しいタブを作成するには、（参照 95 ページ）をご覧ください。

タブ内のアイコンを移動する

タブ内のアイコンの順番を変更できます。

1 移動したいアイコンをタップしたまま、移動したい位置までドラッグし、ドロップする

移動していくと、タップ先付近にあるアイコンが強調表示されます。ドロップすると、強調表示されたアイコンの位置にアイコンが移動します。

- ドロップするとき、どのアイコンも強調表示されていなかった場合、アイコンは最後尾に移動します。

お知らせ

- 「タブの設定」の画面で、「起動された順にアイコンをソートする」にチェックを付けると、タブ内のアイコンを最近起動した順にソートできます（参照 95ページ）。この設定の場合は、タブ内のアイコンの移動はできません。

ポップアップメニューを使って他のタブへ移動する

1 移動したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする

3 移動先にしたいタブに切り替え、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする

お知らせ

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に 18 個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

ドラッグアンドドロップを使って他のタブへ移動する

1 移動したいアイコンをタップしたまま、移動したいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする

移動先のタブ名が強調表示され、アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

お知らせ

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの削除

アイコンを削除できます。アイコンを削除しても、アプリケーションそのものが本体から削除されるわけではありません。

1 削除したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

アイコンが削除され、削除されたアイコンより後のものが一つずつ前に移動します。

アイコンの追加

新しくインストールしたアプリケーションのアイコンを追加できます。
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

1 追加したいタブの画面上をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから、「追加」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。

● タブ表示形式の場合は、コマンドバーの「編集」→「追加」も選べます。

2 アプリケーションを指定する

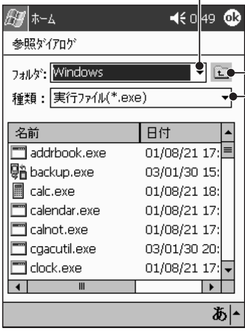
「アプリケーション」の▼をタップすると、アプリケーションの一覧が表示されます。一覧にない場合は、「参照」で探してください。
後からインストールされたアプリケーションの多くは、「Program Files」フォルダの下の階層にインストールされ、「Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダにショートカット（＊.lnk）が登録されています。



「参照」ボタンをタップすると、参照画面が表示され、すべてのフォルダやファイルが選べます。

アプリケーションを選ぶと、アプリケーション名に選んだ名前が表示されます。

参照画面について



タップすると参照するフォルダの指定ができます。
- メモリカードが差し込まれているとき、一番上の階層から、メモリカード内のファイルやフォルダを表示できます。

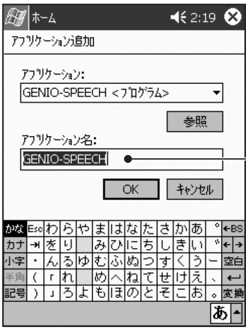
タップすると現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

タップすると参照するアプリケーションやファイルなどの種類を選べます。

一覧から指定したいアプリケーションやファイルをタップすると、「アプリケーション追加」の画面に戻ります。

3 アイコン名を入力する

「ホーム」画面に表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。



タップして名前を入力します。
- アプリケーション名は、32文字まで入力できます。

4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

お知らせ

- 「アプリケーション」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

アイコン名の変更

アイコン名（アプリケーション名）を変更できます。

1 名前を変更したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

アイコン名が変更できる状態になります。

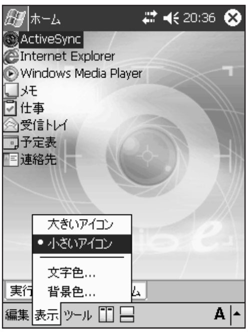
3 入力パネルを使って名前を変更し、 をタップする

変更した名前が確定します。

- ナビゲーションバー、コマンドバー以外の画面をタップしても名前が確定します。
- 上記以外でも、画面の内容が変わったときなどの場合には、名前が確定します。
- 名前が確定する前に をタップすると名前の変更が取り消されます。

アイコンの表示切り替え

タブ表示形式の場合、コマンドバーの「表示」から「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。



（例）小さいアイコン



（例）大きいアイコン

タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像や背景色を設定したり、アイコン名の文字色を設定することもできます。

タブの切り替え

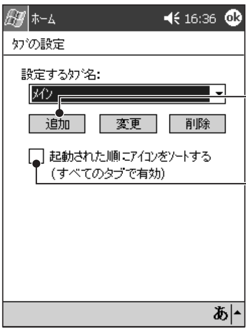
タブを切り替えるには、並列表示形式では、タブ選択ボックスをタップし、表示された一覧からタブ名をタップします。タブ表示形式では、タブをタップします。初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」の３つのタブが登録されています。

タブの追加

タブを追加することにより、お好みに合わせてアイコンを分類できます。同じアイコンもタブが違えば両方に追加できます。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

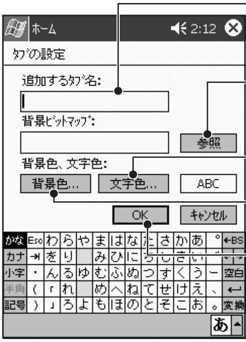
2 「タブの設定」の画面から「追加」をタップする



タップすると、新しいタブ名の入力画面が表示されます。

チェックを付けると、タブ内のアイコンの順番は、最近起動した順になります。タブ内でアイコンを移動するときはチェックをはずしてください。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする



新しいタブ名を入力します。
●入力できる文字数は10文字までです。

背景の画像を設定できます（参照 97ページ）。

文字色を選択できます（参照 98ページ）。

背景色を選択できます（参照 98ページ）。

タップすると「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

● 新しいタブは、既存のタブの右側に追加されます。

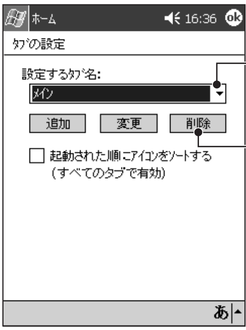
お知らせ

● タブは最大 10 個まで増やすことができます。
● タブの並び順は、変更できません。

タブの削除

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする



タップして削除したいタブを選びます。
●「実行中」タブは削除できません。

タップすると、削除確認の画面が表示されます。
● タブを削除するときはタブに含まれるアイコンもすべて削除されますので、ご注意ください。

3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

タブ名の変更

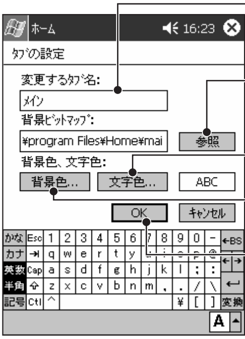
1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする

●「実行中」タブのタブ名は変更できません。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする



新しいタブ名を入力します。
●入力できる文字数は10文字までです。

背景の画像を設定できます（参照 97ページ）。

文字色を選択できます（参照 98ページ）。

背景色を選択できます（参照 98ページ）。

タップすると「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

背景の画像の設定

タブごとに背景の画像を設定できます。付属のアプリケーションCDに収められている東芝オリジナル壁紙を背景に使用できます。アプリケーションCDからそのファイルを本体にコピーして、背景に選んでください。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3 「参照」をタップする

参照画面が表示されます。



タップすると、参照するフォルダの指定ができます。
●このとき、メモリカードが差し込まれた状態であっても、メモリカード内のファイルは表示されません。

タップすると、現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

4　一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする

元の画面に戻ります。

5　「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

6　「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 背景に設定できるのは、ビットマップファイルのみです。
- 背景に設定したビットマップ画像が、「ホーム」画面上に表示される範囲は、横240×縦268ドットです。

背景色、文字色の設定

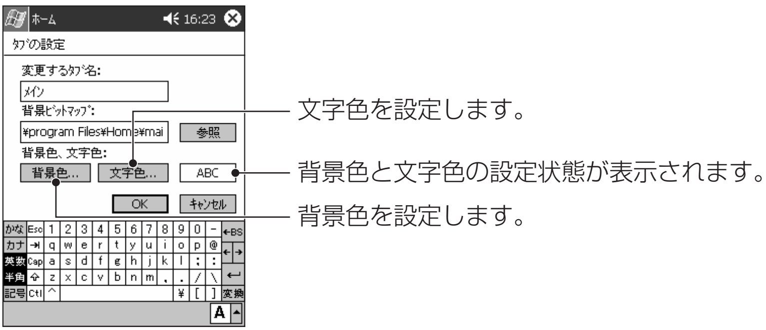
タブごとに背景色やアプリケーション名の文字色を設定できます。

1　「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

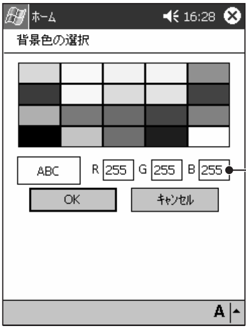
2　設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3　「背景色」または「文字色」をタップする



4 色を選択し、「OK」をタップする

元の画面に戻ります。



色を選びます。

RGB値
選んだ色のRGB値が表示されます。
直接数値（0〜255）を入力することもできます。

- RGB........... 光の三原色
  R：赤 Red
  G：緑 Green
  B：青 Blue

5 「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

6 「タブの設定」の画面で ok をタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 「表示」メニューからも、背景色、文字色の設定ができます。
- すでに背景の画像を設定している場合は、背景色を設定しても背景は画像のままで、変わりません。ただし背景の画像が小さい場合は、余白が背景色になります。設定した背景色で表示するには、操作3の「タブの設定」画面で、背景ビットマップ欄のビットマップファイルを削除してください。

7. データのバックアップ

メモリカードやFlash ROM Disk、マイクロドライブ™ などに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア（復元）できます。また、メモリカードやFlash ROM Diskからバックアップしたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておいてください。
バックアップするデータは「全体」「PIM データ」のどちらかを選びます。

「全体」では次の３種類を一括バックアップします。

- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS（Pocket PC）や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlook のデータベース情報

「PIM データ」では、「連絡先」、「予定表」、「仕事」のデータをバックアップします。

お願い

- Flash ROM Diskに保存したデータは、バックアップの対象になりません。
- バックアップ／リストア中、定期バックアップ中にメモリカードの空き容量がなくなると、バックアップ／リストアが途中で終了します。事前にメモリカード、Flash ROM Diskの空き容量をご確認ください（参照 80ページ）。
- AC アダプタが接続されておらず、内蔵電池の充電残量が 50% 未満の場合、定期バックアップは行われません。
- 「全体」も「PIM データ」も同じファイル名で上書き保存されますので、同じメモリカードには保存しないでください。
- 「設定」の日付、時刻、パスワードなど、復元されないデータがあります。
- バックアップやリストアをするときは、他のアプリケーションを終了させ、本体に AC アダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中、またはリストアやバックアップファイルを削除しているときに絶対に本体の電源を切ったり、リセットしたりしないでください。データやメモリカード、Flash ROM Disk、本体が破損する場合があります。
- システムを更新（ROMのアップデート）した場合は、更新する前にバックアップしたデータを正常にリストアできない可能性があります。

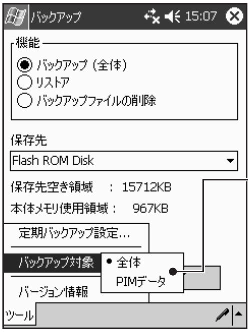
バックアップをとる

CFメモリカード、SDメモリカードにバックアップをとる場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

1 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

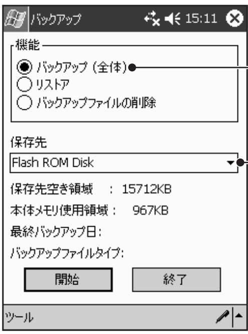
「バックアップ」の画面が表示されます。

2 「ツール」→「バックアップ対象」をタップし、「全体」か「PIMデータ」を選択する



バックアップ対象を選びます。
- 全　体.......... ファイル、レジストリ、データベースが対象となります。
- PIMデータ... Pocket Outlookの連絡先、予定表、仕事が対象となります。

3 「機能」の「バックアップ」をタップし、保存先を選ぶ



「バックアップ」を選びます。
- ( )内にバックアップ対象が表示されています。

保存先を選びます。
- SD Card................ SDカードスロットにセットしたカード
- CF Card................. CFカードスロットにセットしたカード
- PC Card................ PCカード拡張ユニットにセットしたカード
- Flash ROM Disk... 本体内蔵の記憶装置

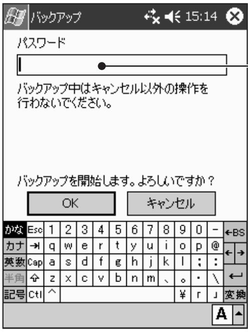
4 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

5 「OK」をタップする

「バックアップ」のパスワード入力画面が表示されます。

6 パスワードを入力する



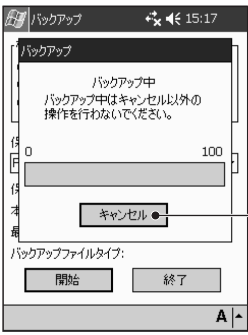
パスワードを入力します。
- パスワードは半角英数字、最大16文字で入力します。
- 半角英数字以外で入力すると、エラーメッセージが表示されます。正しく入力し直してください。
- パスワードを入力しなくてもバックアップできます。この場合、リストアのときにパスワードの入力が不要になります。

お願い

- **パスワードを忘れると、リストアできなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**

7 「OK」をタップする

バックアップ中のメッセージが表示され、バックアップを開始します。



バックアップをキャンセルするときはここをタップします。

- バックアップが終了すると、バックアップ終了のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるバックアップ時刻は、バックアップを開始した時刻です。

8 ⓞⓚをタップする

元の画面に戻ります。

9 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- 指定されたメモリカードが書き込み禁止になっていると、バックアップができません。書き込み禁止を解除してください。
- 定期的にバックアップをとることもできます（参照 106ページ）。
- バックアップファイルは、常に上書きされます。

リストアをする

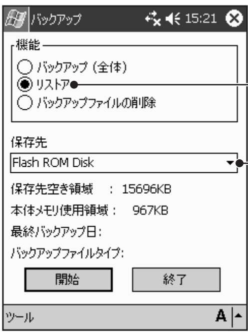
リストアをすると、メモリカードやFlash ROM Diskにバックアップしたデータを、本体メモリに復元（上書きコピー）します。メモリカードにバックアップしたデータがある場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

1 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

2 「機能」の「リストア」をタップし、保存先を選ぶ



「リストア」を選びます。

保存先を選びます。

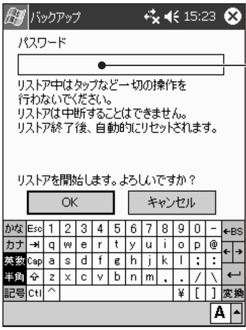
3 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

4 「OK」をタップする

「リストア」のパスワード入力画面が表示されます。

5 バックアップしたときのパスワードを入力する



バックアップしたときのパスワードを入力します。
- パスワード入力しないでバックアップしたときは、パスワードの入力は必要ありません。

6 「OK」をタップする

リストア中のメッセージが表示され、リストアが開始されます。
- リストアが終了すると、リストア終了のメッセージが表示されます。

7 ok をタップする

自動的に本体がリセットされ、再起動します。

お知らせ

- 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下、他のPocket PCと呼びます）でバックアップしたデータは、この本体にリストアできません。他のPocket PCのデータをこの本体に取り込みたい場合は、ActiveSyncを使って他のPocket PCとパソコンの同期をとってください。次にこの本体とパソコンで同期をとり、データをこの本体に取り込んでください。

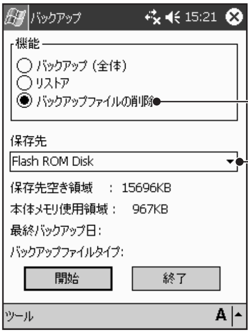
バックアップファイルを削除する

メモリカード用のバックアップデータを削除する場合は、あらかじめ本体にカードをセットしておいてください。

1 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

2 「機能」の「バックアップファイルの削除」をタップし、保存先を選ぶ



「バックアップファイルの削除」を選びます。

保存先を選びます。

3 「開始」をタップする

バックアップファイルの削除確認画面が表示されます。

4 「OK」をタップする

バックアップファイルが削除されます。

5 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

定期的にバックアップをとる

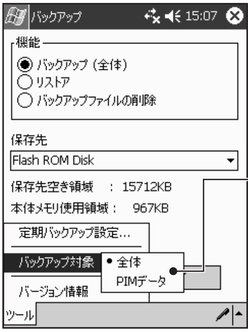
定期バックアップを設定すると、指定した曜日や時間ごとに自動的にデータをバックアップします。電源がOFFになっていても、定期バックアップは行われます。

1 **メモリカードにバックアップをとる場合は、メモリカードを本体に入れる**

2 **「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする**

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 **「ツール」→「バックアップ対象」をタップし、「全体」か「PIMデータ」を選択する**



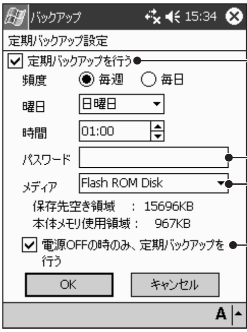
バックアップ対象を選びます。
- 全　体..........ファイル、レジストリ、データベースが対象となります。
- PIMデータ...Pocket Outlookの連絡先、予定表、仕事が対象となります。

- 定期バックアップは、定期バックアップの開始時刻のとき選択されている「バックアップ対象」でバックアップされます。設定後に、通常のバックアップ操作で「バックアップ対象」を変更すると、定期バックアップも変更後の「バックアップ対象」で行われます。

4 **「ツール」→「定期バックアップ設定」をタップする**

「定期バックアップ設定」の画面が表示されます。

5 項目を設定する



- チェックすると設定した内容で定期バックアップを行います。
- パスワードを入力すると、リストアする際に、設定したパスワードが必要になります。
  - ●パスワードの入力について、詳しくは（参照 102ページ）をご覧ください。
- 保存先のメディアを選びます。
- チェックすると、電源が入っている状態では定期バックアップは行われません。

6 「OK」をタップする

内容が保存され、設定した時刻に定期バックアップが行われます。

7 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

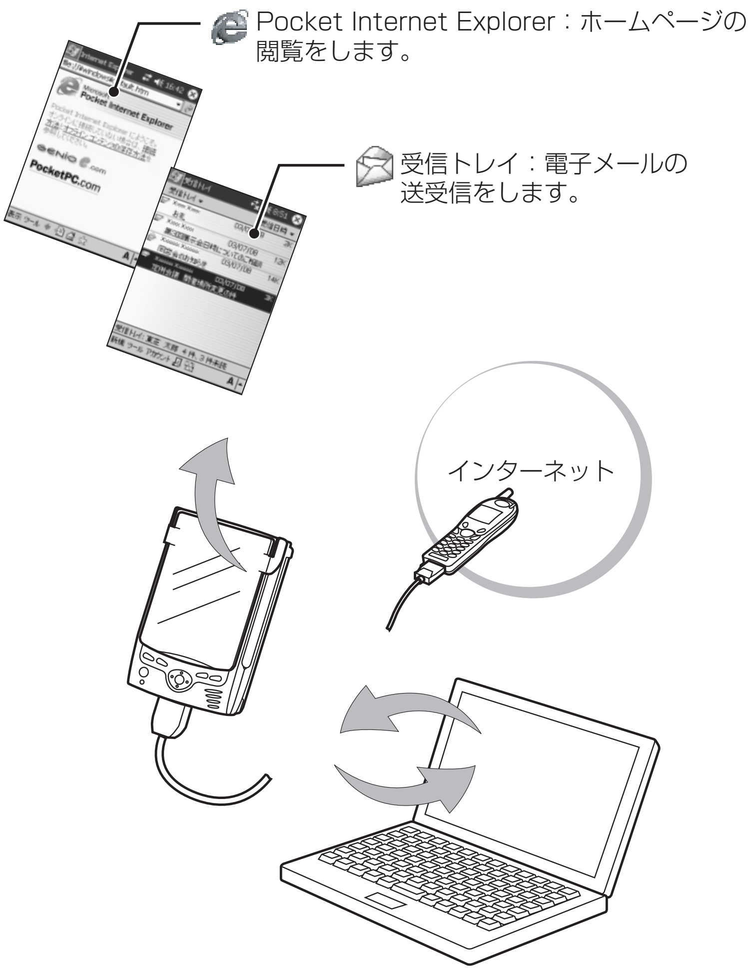
- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックを付けていない場合、定期バックアップの時刻に電源がONになっていると、定期バックアップの確認画面が表示されます。「OK」をタップする、または確認画面が表示されてから約30秒以上経過すると、自動的にバックアップが開始します。「キャンセル」をタップするとバックアップを中止します。
- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックが付いている場合、定期バックアップの時刻に電源がOFFになっていると、バックアップを開始します。
- ACアダプタが接続されておらず、内蔵電池の充電残量が50%未満の場合は、定期バックアップが行われません。
- 定期バックアップの時刻に、設定したメモリカードが挿入されていない場合は、定期バックアップは行われません。
- 定期バックアップが行われたかどうかは、バックアップの最終バックアップ日で、確認してください。

お願い

- 定期バックアップ中に電源をOFFにしないでください。データやメモリカード、本体が破損する場合があります。

第3章 インターネットの利用

携帯電話などを接続して、移動先からでもホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。



パソコンと接続して、パソコンのMicrosoft Outlook の間でメールなどの「同期」が行えます。

1. インターネットの接続設定

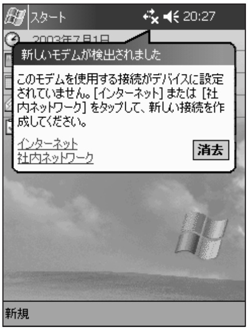
インターネットやメールを始めるには、ご加入のプロバイダの情報を本体に設定する必要があります。
インターネットの接続設定と電子メールの接続設定（受信トレイの設定）を、それぞれ行います。

インターネットの接続設定

プロバイダにダイヤルアップして、インターネットに接続する設定をします。

1 本体の電源を切り、使用する通信機器（PHS カードなど）を接続する

本体の電源が入り、「新しいモデムが検出されました」のポップアップメニューが表示されます。



- 携帯電話ケーブルによる接続など通信機器によっては電源が入りませんので、接続後、電源ボタンを押して電源を入れてください。
- ポップアップメニューが表示されないときは、 をタップして「設定」から「インターネット設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップしてください。

2 「インターネット」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



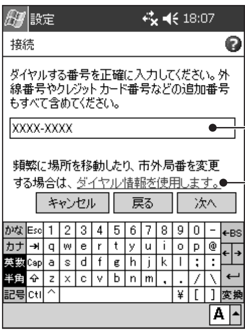
タップするとヘルプが表示されます。

この接続設定の内容がわかるような名前をつけます（プロバイダ名など）。

使用するPHSカード、携帯電話に合わせて設定します。

使用する通信機器	「モデムの選択」
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上の cdmaOne 接続：
携帯電話（PDC）	COM6 上の PDC 接続：
携帯電話（FOMA）	COM7 上の FOMA モデム：
PHS カード	使用する PHS カード

3 「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する



接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

使用する電話回線が「パルス」の場合は、ここをタップして設定してください。

4 「次へ」をタップし、「ユーザー名」、「パスワード」を入力する



プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力します。

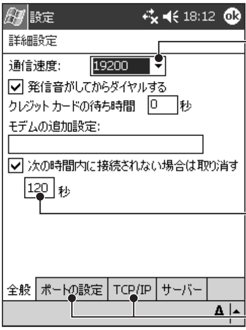
入力するとパスワードが自動的に保存されるので、接続時に「ユーザー名」と「パスワード」を入力する必要がなくなります。
接続するたびに「ユーザー名」や「パスワード」を入力したいときには、ここで「ユーザー名」、「パスワード」は入力せず、空欄にしておきます。

通常は入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザーID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

5 「詳細設定」をタップし、各項目を設定する



使用する通信機器に合わせて設定します。下の表を参照してください。

通常は変更の必要はありません。

通信機器によっては、指定する必要があります。

通常は変更の必要はありません。

使用する通信機器	「通信速度」
携帯電話（cdmaOne）	115200
携帯電話（PDC）	19200
携帯電話（FOMA）	115200
PHS カード	115200

6 「サーバー」タブをタップし、どちらかを選択する



プロバイダの指示により、どちらかを選択してください。

プロバイダの指示に従って、入力してください。

※「プライマリDNS」「セカンダリDNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server(1) ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server(2) ネームサーバー(2)　など

7 ok をタップする

「ユーザー名」、「パスワード」の画面に戻ります。
画面は表示例です。



8 「完了」をタップする

設定画面が閉じます。
「接続」の画面が表示された場合は、ok をタップして画面を閉じてください。

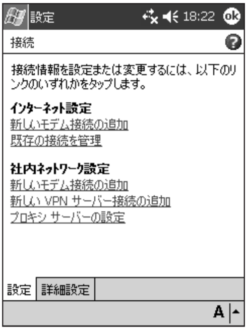
作成した接続設定を変更する

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

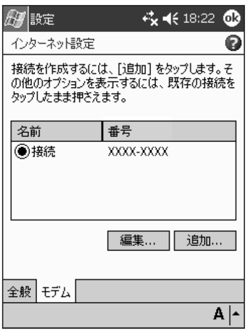
2 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。



3 「既存の接続を管理」をタップする

「インターネット設定」の画面が表示されます。



4 変更する接続名を選択し、「編集」をタップする

5 設定内容を変更する

作成したときと同様に設定します。
「パスワード」には、実際に設定したパスワードとは異なる文字数が表示されています。

お知らせ

- 作成した接続設定を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

社内ネットワークへの接続設定

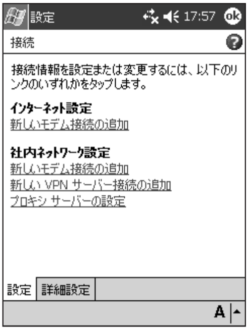
ダイヤルアップで社内ネットワークに接続する場合、設定します。ネットワーク管理者から、ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワード、および TCP/IP 設定に関する情報を入手してください。
VPN を利用するとインターネット経由で社内ネットワークに接続できます。VPN を利用するときは、（参照 119 ページ）をご覧ください。

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

2 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

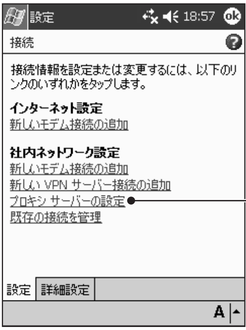


3 「社内ネットワーク設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。
「インターネットの接続設定」の操作２～７と同じ操作をして、ダイヤルアップでの社内ネットワークへの接続方法を設定してください。

4 「完了」をタップする

「接続」の画面に戻ります。



タップすると、プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にパソコンからプロキシの設定が行われます。
パソコンと同期した設定から変更する場合は、ここから変更してください。

5 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

VPN を利用した社内ネットワークへの接続設定

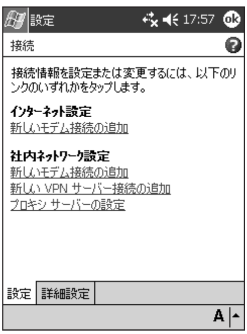
プロバイダのアクセスポイントへダイヤルアップし、VPN を利用して社内ネットワークに接続できます。

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。

2 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

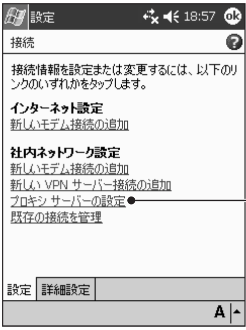


3 「社内ネットワーク設定」の「新しいモデム接続の追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。
「インターネットの接続設定」の操作２～７と同じ操作をして、プロバイダへの接続方法を設定します。

4 「完了」をタップする

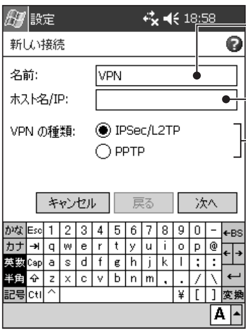
「接続」の画面に戻ります。



タップすると、プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にパソコンからプロキシの設定が行われます。
パソコンと同期した設定から変更する場合は、ここから変更してください。

5 「社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



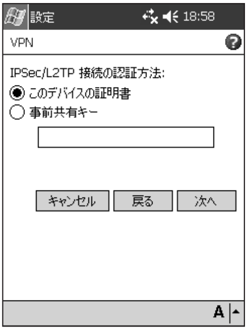
この接続設定の内容がわかるような名前をつけます。

接続先のホスト名またはIPアドレスを入力します。

どちらかを選択してください。

「VPN の種類」で「IPSec/L2TP」を選択した場合は、操作６に進んでください。
「PPTP」を選択した場合は、操作７に進んでください。

6 「次へ」をタップし、認証方法を選択する



7 「次へ」をタップし、「ユーザー名」、「パスワード」を入力する



特定のIPアドレスを入力するときタップします。

- 接続先や詳細設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 「完了」をタップする

「接続」の画面に戻ります。

9 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

インターネットに接続する

1　本体の電源を切り、PHS カードまたは携帯電話を接続する

2　ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。



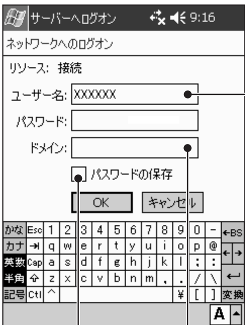
タップすると「インターネット設定」で設定した接続を開始します。

タップすると「社内ネットワーク設定」で設定した接続を開始します。

タップすると「接続」の設定画面が表示されます。

3　接続先の電話番号をタップする

接続設定時に「パスワード」を入力した場合は、接続を開始します。
接続設定時に「パスワード」を入力していない場合は、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。操作４へ進んでください。



「インターネットの接続設定」の操作4で入力した「ユーザー名」が入力されています。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザーID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

通常、入力の必要はありません。

チェックを付けると、パスワードを保存します。

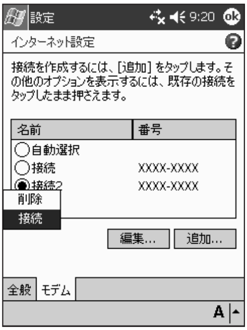
4 「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップする

接続を開始します。

接続を開始すると、「接続中」のポップアップメニューが表示されます。接続できると、ポップアップメニューが消えます。
また、ナビゲーションバーの通信接続アイコンが から に変わります。

■接続名を選んで接続するには

操作２で表示された「接続」のポップアップメニューから、「設定」をタップします。
「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」の、「既存の接続を管理」をタップします。
表示された接続名の中から接続する接続名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「接続」をタップします。



■接続を切るには



通信接続アイコンをタップし、表示されたポップアップメニューの「切断」をタップします。

LAN カードを使って接続する

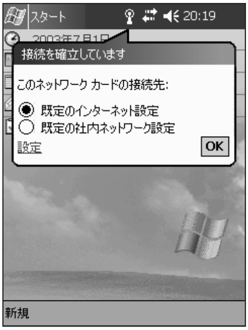
本体に対応したLAN カードを使ってネットワークに接続できます。カードによっては、ドライバが必要です。
接続方法について詳しくは、LANカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

■LAN カードにネットワークケーブルを接続している場合

あらかじめLAN カードにネットワークケーブルを接続している場合は、次の手順で設定してください。

1 本体の電源を切り、ネットワークケーブルを接続したLANカードを挿入する

本体の電源が入り、しばらくすると、「接続を確立しています」のポップアップメニューが表示されます。



2 「このネットワークカードの接続先」で「既定の社内ネットワーク設定」を選択し、「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 「社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップし、設定する

設定について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

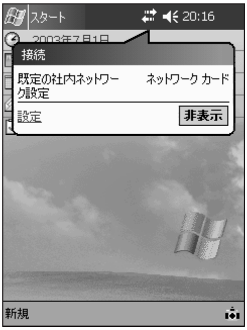
■LAN カードにネットワークケーブルを接続していない場合

設定の後でLAN カードにネットワークケーブルを接続する場合は、次の手順で設定してください。

1 本体の電源を切り、LAN カードを挿入する

2 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップする

「接続」のポップアップメニューが表示されます。



3 「設定」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

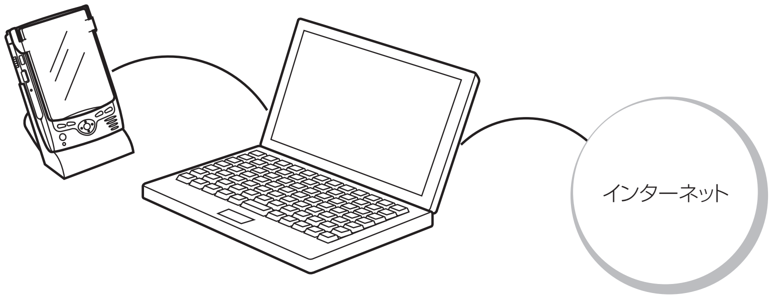
4 「社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップし、設定する

設定について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 LANカードにネットワークケーブルを接続し、ネットワークに接続する

パススルーで接続する

パソコン側のインターネット接続を利用して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信をすることができます。



パソコン側での操作は、次のとおりです。

1 **パソコン側で ActiveSync を起動する**

2 **「ツール」→「オプション」から「規則」タブをクリックする**

3 **「パススルー」の「接続」で接続方法を選択する**

- インターネット .... 自宅などからインターネットに接続するとき
- 社内ネットワーク .... 社内からインターネットに接続するとき

■ホームページを閲覧する場合

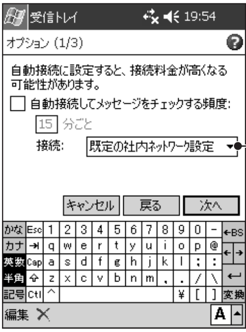
1 **本体をクレードルに接続した状態でPocket Internet Explorerを起動する**

- 「ホームページを見る」（参照 133ページ）の操作を行ってください。

■電子メールの送受信をする場合

1 受信トレイの接続設定を行う

- 「受信トレイの接続設定」（参照 128ページ）をご覧ください。
- パソコン側のActiveSyncで、パススルーの接続を「社内ナットワーク」に設定した場合は、受信トレイの接続設定の操作6で、「オプション」をタップし、「接続：」を「既定の社内ネットワーク設定」に設定してください。



「既定の社内ネットワーク設定」に設定します。

2 本体をクレードルに接続し、「受信トレイ」のコマンドバーの「メール送受信」アイコンをタップする

- メールを送信する場合は、「送信トレイ」フォルダにメールを保存しておきます。
- メールの作成方法などは「メールを送受信する」（参照 140ページ）をご覧ください。

2. 電子メールの接続設定

電子メールの接続設定（受信トレイの接続設定）を行います。

受信トレイの接続設定

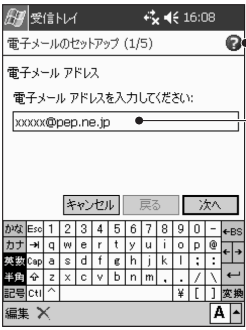
初めて設定するときは、本体からPHSカードや携帯電話接続ケーブルをはずしてください。

1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

受信トレイが起動します。

2 「アカウント」→「新しいアカウント」をタップする

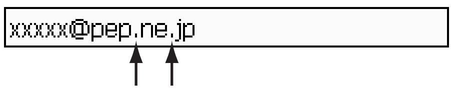
「電子メールのセットアップ（1/5)」の画面が表示されます。



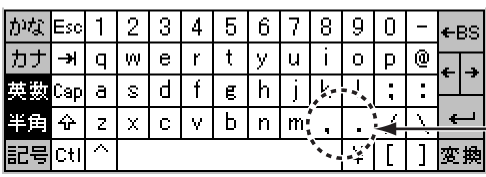
タップするとヘルプが表示されます。

メールアドレスを入力します。

メールアドレスの入力について、カンマ（,）とドット（.）の違いにご留意ください。
一般に、メールアドレスにはドット（.）が使われています。



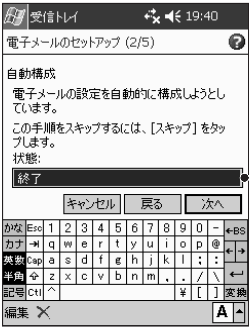
入力パネルのキー配列では、カンマ（,）とドット（.）は隣同士にあります。



右側のドット（.）を入力してください。

3 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（2/5）」の画面が表示されます。
「状態：」のフィールド表示が「終了」になるのを確認してください。



●ネットワークへのログオンの画面が表示されたときは、「キャンセル」をタップします。
●モデムをつないでいるときは、接続のポップアップメニューが表示されますので「キャンセル」をタップしてください。



本体をUSBクレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「終了」になるまでお待ちください。

4 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面が表示されます。
「ユーザー情報」を入力してください。



差出人として相手方に表示される名前を入力します。初期値は「オーナー情報」で設定した名前が表示されます。

プロバイダから指定されたメールサーバーへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
(ユーザー名には、操作2で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください。)

チェックを付けると、パスワードを保存します。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザーID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

5 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（4/5)」の画面が表示されます。
「アカウント情報」を入力してください。



「POP3」または「IMAP4」のいずれかを選択します。プロバイダから指示のないときは「POP3」を選択してください。

プロバイダ名などを入力します。

6 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（5/5)」の画面が表示されます。
「サーバー情報」を入力してください。



プロバイダから指定された、受信メールサーバー（POP3、IMAP4）の名前を入力します。

プロバイダから指定された、送信メールサーバー（SMTP）の名前を入力します。

通常は入力の必要はありません。

必要によりオプションを設定します（参照 132ページ）。

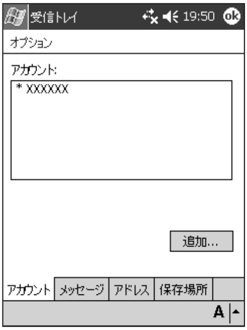
7 「完了」をタップする

「受信トレイ」の画面に戻ります。

受信トレイの接続設定を変更する

1 **「受信トレイ」の一覧画面で「アカウント」→「アカウント」をタップする**

アカウントの一覧が表示されます。



2 **変更したいアカウントをタップする**

「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。

● 作成したアカウントを削除する場合は、アカウント名をタップアンドホールドして削除します。

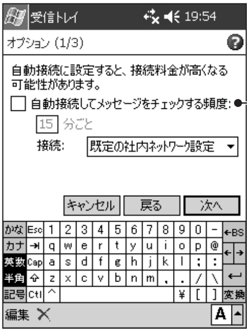
3 **設定したときと同じように設定する**

「受信トレイの接続設定」の操作２以降（参照 128ページ）をご覧ください。

■接続設定のオプションを変更する

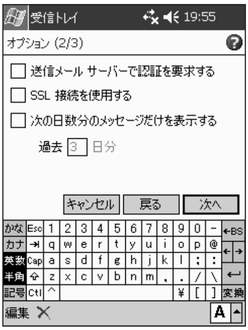
「電子メールのセットアップ(4/4)」の画面で、「オプション」をタップして変更します。「オプション」は、３画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示できます。必要に応じて設定してください。

● オプション１



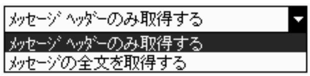
自動接続に設定すると、設定した時間の間隔でプロバイダのアクセスポイントに接続します。その場合接続料金(通信料金)が高くなる可能性がありますので、ご注意ください。

● オプション２



● オプション３





- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバーにアクセスするとサーバー上のメールも削除されます。
  受信メールを削除しなければ、サーバー上のメールは削除されません。

「オプション」の設定後、「完了」をタップしてください。

3. ホームページを見る

Pocket Internet Explorer を使ってホームページを閲覧できます。
ホームページを見るためにはインターネットの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 112 ページ）をご覧になり、設定してください。

インターネットに接続し、ホームページを見る

1 本体に PHS カード、携帯電話などを接続する

- 接続のしかたは（参照 17、23 ページ）をご覧ください。
- 携帯電話の電源を入れてください。

2 「スタート」の「Internet Explorer」をタップする



アドレスバーにURLを入力します。

「移動」ボタンをタップすると入力したURLのページに移動します。

タップすると「表示」メニューが開きます。

3 アドレスバーに URL を入力し、「移動」ボタンを押す

接続を開始し、指定した URL のページに移動します。
接続設定時に「パスワード」を入力した場合は、接続を開始します。接続設定時に「パスワード」を入力していない場合は、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。ユーザー名を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップしてください。接続を開始します。入力後、「OK」をタップしないで、時間が経つと、前の画面に戻り入力した内容は保存されません。

■接続を切断するには

ダイヤルアップまたはVPNを使用して接続しているときは、ナビゲーションバーの をタップし、ポップアップメニューから「切断」をタップします。

ダイヤルアップまたはVPN以外の方法で接続しているときは、次のようにして切断してください。

- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取りはずすか、「Today」画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体をPCから離します。
- ネットワーク（Ethernet）カードで接続しているときは、カードを本体から取りはずします。

…お知らせ

- 「お気に入り」からリンク先をタップして、そのページを見ることができます（参照 135ページ）。
- パソコンからお気に入りのリンクを本体の「お気に入り」に取り込めます。「「お気に入り」をパソコンと同期する」（参照 138ページ）をご覧ください。
- 接続先（プロバイダ）を選んで、接続したい場合は、「インターネットに接続する」（参照 122ページ）をご覧ください。

Pocket Internet Explorer について



アドレスバー

「移動」ボタン

タップするとそれぞれのページに移動します。

「表示」メニューを開きます。

「ツール」メニューを開きます。

 直前に表示していたページに戻ります。

 ページを最新の状態に更新します。

 ページ読み込み中の場合に表示されます。
タップすると読み込みを中止します。

 「ホームページ」（「ツール」メニューの「オプション」で設定したホームページ）に移動します。

 「お気に入り」に登録したリンク先一覧が、表示されます。移動したいリンク先をタップすると、そのページに移動します。「お気に入り」にリンク先を追加するには（参照 136ページ）をご覧ください。

「表示」メニュー

各項目をタップすると次のようになります。

「次へ」.......................... 前に表示していたページに戻ります。
「画面に合わせる」....... 本体の画面の幅に合わせてページを表示します。
「イメージの表示」....... ページの画像を表示／非表示に切り替えます。
「アドレスバー」........... タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
「文字のサイズ」........... 表示する文字の大きさを設定します。
「履歴」.......................... 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
「プロパティ」.............. 表示しているページの情報を表示します。

「ツール」メニュー

各項目をタップすると次のようになります。

「電子メールからリンクを送る」.. 受信トレイが起動し、表示しているページの URL を載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 140 ページ)をご覧ください。

「すべてのテキストを選択」.......... すべてのテキスト文字を選択します。

「オプション」................................ オプション設定画面を表示します。(参照 137ページ)をご覧ください。

「お気に入り」に追加するには

1 「お気に入り」に追加したいページを表示中に、☆をタップする

2 「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。



タップすると、名前を変更できます。

3 「追加」をタップする

「お気に入り」に追加され、「お気に入り」の「追加／削除」タブの画面に戻ります。

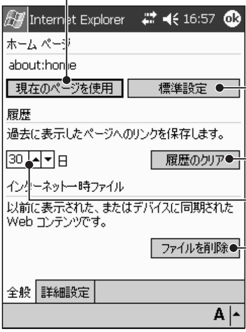
お知らせ

- 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

「オプション」設定について

「ツール」→「オプション」を選択すると、次の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

●「全般」タブ



現在表示中のページが ボタンをタップしたときに表示されるホームページとして設定されます。

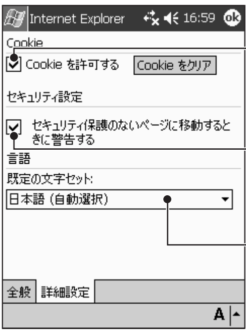
ホームページを初期設定に戻します。

履歴を消去します。

履歴を何日間保存するかを設定します。

インターネット一時ファイルを削除すると、メモリ残量を増やせます。

●「詳細設定」タブ



Cookieを許可しない場合はチェックをはずします。

セキュリティ保護のため、チェックをはずさないことをお勧めします。

表示言語を選択できます。通常は「日本語（自動選択）」にしておいてください。

お知らせ

- Cookieには、ユーザーの識別情報やページにアクセスしたときの設定などの情報が含まれ、ページから本体に送られ保存されます。このファイルによって、ページの情報がユーザーの要求に合わせて調整されます。

閲覧できるホームページ

● Pocket Internet Explorer は、次の機能に対応しています。
・HTML（Hyper Text Markup Language）レベル 3.2 に準拠
・SSL 2.0/3.0

● Pocket Internet Explorer は、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
・パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られた一部のホームページは、表示できない場合があります。
・プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
・ホームトレードページは、利用できない場合があります。

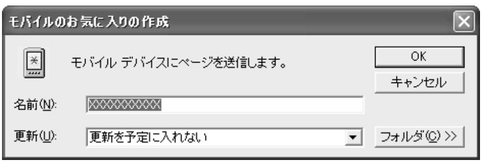
「お気に入り」をパソコンと同期する

ActiveSync で「お気に入り」を同期設定していると（参照 56 ページ）、パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」の中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されています。本体とパソコンを接続して同期したときに「モバイルのお気に入り」フォルダに入れたリンク内容と本体の「お気に入り」のリンク内容が同期されます。

パソコンで取り込んだホームページを本体で見る

パソコンのInternet Explorer5.0 以上を使用している場合は、本体にお気に入りのページをダウンロードして、本体でオフライン時にそのページを見ることができます。

1 **パソコンで Internet Explorer を起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」をクリックする**



2 **「OK」をクリックする**

そのページがパソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダにダウンロードされます。

3 **本体とパソコンを同期する**

パソコンで取り込んだページが本体に転送されます。

4 本体の Pocket Internet Explorer を起動し、☆ をタップする

パソコンで取り込んだページタイトルが追加されています。

5 そのページタイトルをタップする

取り込んだページが表示されます。

お知らせ

- そのページにリンクしているページもダウンロードしたい場合は、パソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダ内のページタイトルを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ダウンロード」タブで、ダウンロードしたいリンクの深さを変更できます。リンクを深く設定した場合、メモリをたくさん使います。

4. メールを送受信する

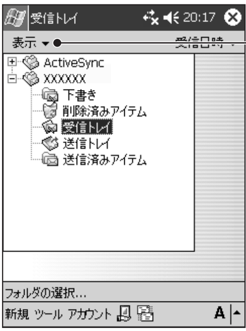
メールメッセージを送受信するには、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」を使います。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 128ページ）をご覧になり、設定してください。

新規にメッセージを作成し、送信する

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

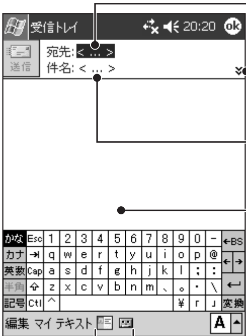
2 メールの送信に利用するアカウントを選ぶ



3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する



 ……. このボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。もう１度このボタンをタップするとアドレス一覧が消えます。「宛先」をタップしても同じようになります。
ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

 ……. このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

5 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

- 「送信」をタップしないでⓞⓚをタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、1度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。

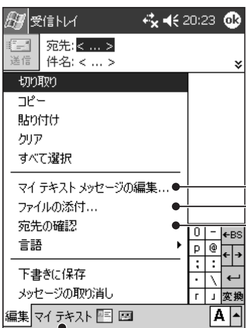
6 メールサーバーに接続する

メールサーバーへの接続のしかたは次ページをご覧ください。
「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。

お知らせ

- 「CC」や「BCC」には、参考に送信したい人のアドレスを入力します。「BCC」に入れたアドレスは、BCCで受け取った人以外から見えないように配信されます。
- 電子メールアドレスを複数入力するときは、セミコロン（;）で区切って入力します。

■メッセージ作成画面について



タップすると、マイテキストを編集できます。

タップすると、添付するファイルを選べます。

「宛先」、「CC」または「BCC」に名前を入力してこのボタンをタップすると、連絡先やオンラインアドレス帳から登録されている名前と一致する名前のアドレスを入力できます。

タップすると、「マイテキスト」の一覧が表示されます。一覧からメッセージをタップすると、よく使うメッセージを簡単に挿入できます。

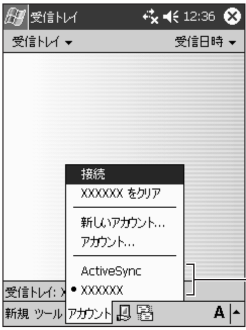
メールサーバーに接続する

メールサーバーに接続すると､｢送信トレイ｣フォルダに入っているメッセージを送信し、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

1 本体に PHS カード、携帯電話などを接続する

接続のしかたは（参照 17、23 ページ）をご覧ください。

2 ｢アカウント｣メニューから接続に使うアカウント名をタップする



ここに登録したアカウント名が表示されます（参照 128ページ）。
お使いになるアカウントをタップして選びます。

3 ｢接続」をタップする

インターネット／受信トレイの接続設定時に、それぞれ｢パスワード｣を入力／保存した場合は、接続を開始します。｢パスワード」を入力／保存していない場合は､｢アカウントのパスワード」／｢ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。｢ユーザー名」を確認し､｢パスワード｣を入力して､｢OK」をタップしてください。
接続が開始されます。
メールサーバーへの接続が完了すると､｢送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

4 メールの送受信が完了したら､｢アカウント」→｢切断」をタップする

メールサーバーへの接続が切断されます。

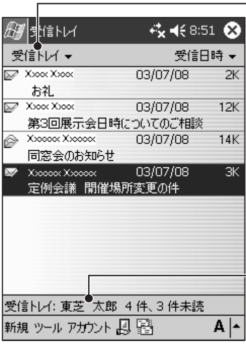
メッセージを見る／返信する／転送する

メールサーバーに接続すると、メッセージを受信できます。受信したメッセージを見たり、返信したり、転送できます。

メッセージを見る

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

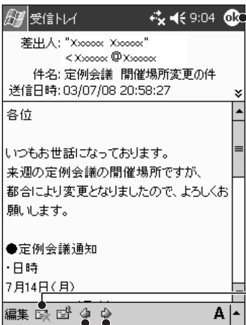


別のアカウントの受信メールを見る場合は、ここをタップして、見たいアカウントの「受信トレイ」フォルダを選びます。

現在選択している「受信トレイ」フォルダが属するアカウント名が表示されます。

2 見たいメッセージをタップする

メッセージの内容が表示されます。



受信トレイの一覧画面に戻るには、ok をタップします。

タップするとこのメッセージを削除します。

タップすると次のメッセージを表示します。

タップすると前のメッセージを表示します。

お知らせ

- 受信メッセージの初期設定は、メッセージヘッダーのみ取得する設定になっています（参照 132 ページ）。

■メッセージの全文を取得する

受信メッセージが途中で切れているときや添付ファイルを見たい場合は、指定したメッセージだけメッセージの全文を取得できます。

1 **メッセージの一覧で、メッセージの全文を取得したいメッセージをタップアンドホールドする**

2 **「後でダウンロードする」をタップする**

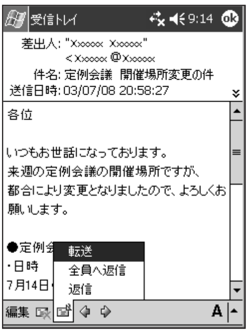
3 **メールサーバーに接続する**

指定したメッセージの全文を取得できます。

メッセージを返信／転送する

1 **「メッセージを見る」の操作１、２に従って、メッセージの内容を表示する**

2 **をタップし、「返信」、「全員へ返信」または「転送」をタップする**



- 「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。
- 「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます（CCで受信した人はCCに指定されます）。
- 「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。

3 **返信または転送のメッセージを入力する**

4 **「送信」をタップする**

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

- 送信するには、メールサーバーへ接続してください。

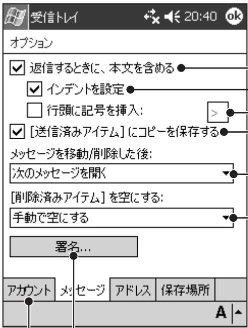
お知らせ

- 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員へ返信」または「転送」が選べます。

メッセージのオプションの変更をする

1 メッセージの一覧画面で、「ツール」→「オプション」をタップする

2 「メッセージ」タブをタップする



チェックを付けると、返信文に受信メッセージを含めます。

チェックを付けると、返信文の受信メッセージ部分にインデントを設定します。

チェックを付けると、返信文の受信メッセージ部分の行頭に「>」を付けます。

チェックを付けると、送信したとき、「送信済みアイテム」フォルダに送信メールのコピーを保存します。

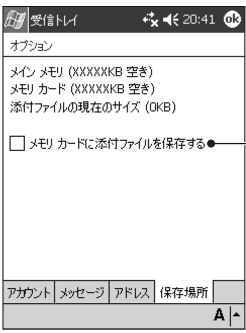
メッセージを移動／削除した後の動作を設定します。

「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを空にする方法を設定します。

タップすると、署名を作成できます。

タップすると、アカウントの一覧が表示されます。アカウント名をタップすると接続設定を変更できます（参照 131ページ）。

3 「保存場所」タブをタップする



チェックを付けると本体内蔵のFlash ROM Diskに添付ファイルを保存します。
CFカード、SDカードを本体にセットしている場合でも、添付ファイルをCFカード、SDカードに保存することはできません。

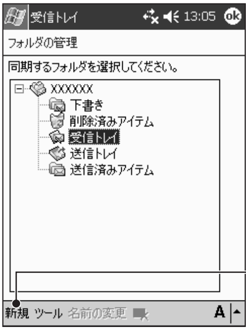
4 設定が終わったらokをタップする

メッセージを整理する

新規フォルダを作成する

メッセージを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。送信者や内容別に振り分けると便利です。

1 「ツール」→「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする



- ActiveSyncフォルダの下に、新規フォルダを作成することはできません。

ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

2 「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力し、ok をタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 作成したフォルダはフォルダの管理の画面で「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。をタップすると、削除ができます。

メールを削除する

1 **受信トレイの一覧画面で、削除したいメッセージをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「削除」をタップする**

選んだメッセージは、「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

お知らせ

- 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「[削除済みアイテム] を空にする」をタップします。または、「削除済みアイテム」フォルダ内のメールをタップアンドホールドして、「削除」をタップします。

メールを移動する

1 **受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「移動」をタップする**

移動先のフォルダを指定する画面になります。

3 **移動先のフォルダをタップし、ok をタップする**

指定したフォルダにメールが移動されます。

お知らせ

- 別のアカウントのフォルダには移動できません。

パソコンと同期する

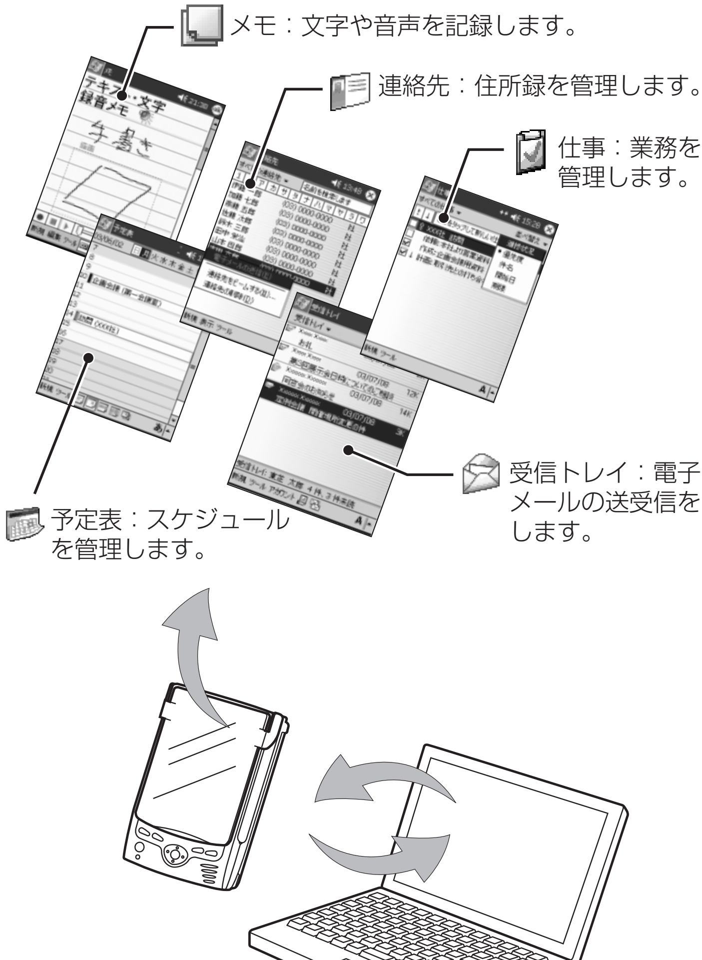
本体が直接メールサーバーと接続してメールを送受信する方法とは別に、本体をパソコンと接続して同期すると、パソコンで受信したメッセージを本体で見たり、本体で作成したメッセージをパソコンから送ることができます。
具体的には、パソコン上のOutlookの「受信メール」のメールと本体「ActiveSync」フォルダのメールが次のように同期します。

- パソコン側に新着メッセージがある場合は、本体の「ActiveSync」フォルダの「受信トレイ」フォルダにその新着メッセージがコピーされます。初期設定では、最近５日間までのメッセージで、取得行数は最初の100行までです。
- 本体の「ActiveSync」フォルダの「送信トレイ」フォルダに入れたメッセージは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダに転送されます。パソコン側でメールサーバーに接続すると、そのメッセージは、送信されます。
- 本体側で削除したメールは、次回同期時パソコン側でも削除されます。
- パソコン側で「受信トレイ」にサブフォルダを作成し、ActiveSyncの設定でそのサブフォルダを同期することもできます。

第4章
個人情報の管理
Microsoft Pocket Outlook

Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。

Pocket Outlookは本体だけでも使えますが、ActiveSyncを使ってパソコンと同期すると、より便利に使用できます。



パソコンと接続して、パソコンのMicrosoft Outlook などとの間でデータの「同期」が行えます。

第4章

1. 「予定表」の作成と使いかた

予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位で表示したり、スケジュールに合わせてアラーム機能を設定したりできます。

新規に予定を入力する

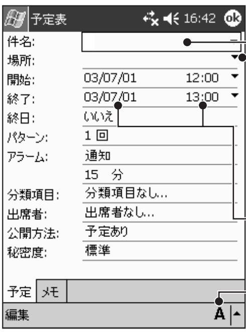
1 「スタート」から「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。



2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。



タップして件名を入力します。▼をタップして、登録してある件名の一覧からも選べます。

▼をタップすると、今までに入力した場所の一覧が表示されます。

タップすると、日付と時刻をそれぞれ設定できます。

タップするたびに、入力パネルの表示と非表示が切り替わります。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 41、163ページ）をご覧ください。
- 入力項目については、「予定表の項目について」（参照 154ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

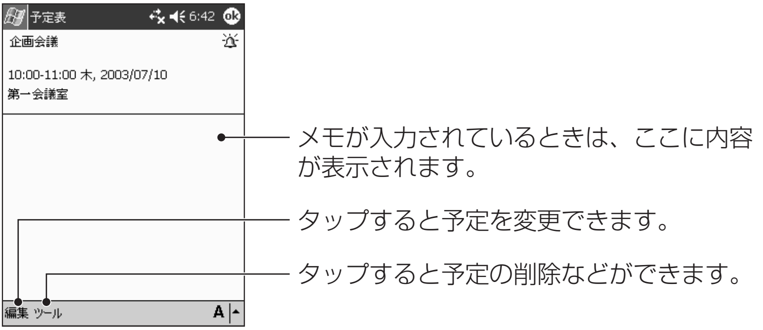
お知らせ

- 「予定」でアラームを設定してもアラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。

入力済みの予定を変更する

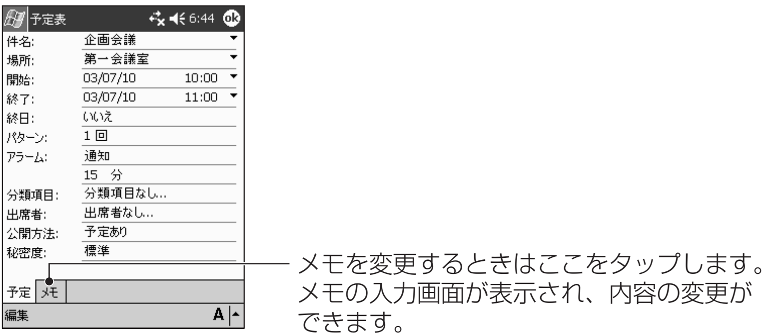
1 **「予定表」の一覧画面で、変更したい予定をタップする**

予定の概要画面が表示されます。



2 **「編集」をタップする**

項目を変更します。



3 ⓞⓚをタップする

予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

予定表の項目について

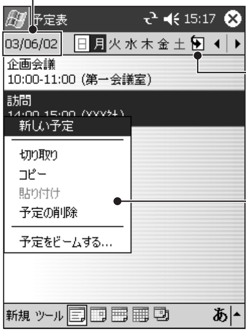
件名	仕事名や、予定の名称を設定します。自分で入力する以外に「▼」をタップして、件名の一覧からも選べます。
場所	予定の場所を入力します。「▼」をタップして、以前に入力した場所の一覧からも選べます。
開始／終了	予定の日付や時刻を設定できます。日付をタップするとカレンダーが表示されます。カレンダーから設定したい日付を選んでください。
終日	「いいえ」を選ぶと予定を時間単位で設定できます。「はい」を選ぶと選んだ日付が一日中対象となり、時間は設定できません。
パターン	設定中の予定を一回だけにするか、定期的な予定にするかどうかを選べます。
アラーム	通知を選んだ場合、予定のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを選べます。
分類項目	仕事や個人用など、分類を設定できます。また、分類項目は追加や削除も行えます。
出席者	連絡先でメールアドレスを登録してある人のリストが一覧表示されます。出席者にチェックを付けるとActiveSyncやプロバイダを使って、選んだ相手に予定を通知できます。ActiveSyncとプロバイダのどちらを使用して通知するかは、「ツール」メニューの「オプション」の「会議出席依頼の送信方法」で選べます。ActiveSyncを選んだ場合、パソコンと同期したときに通知メールが送信されます。プロバイダを選んだ場合、本体でインターネットに接続したときに通知メールが送信されます。
公開方法	予定をインターネットなどで公開するときの表示方法を選べます。
秘密度	予定の内容に合わせて、標準またはプライベートのどちらかを設定します。

予定表の表示画面（一覧画面）を切り替える

画面下のコマンドバーのボタンをタップして、またはプログラムボタン１（予定表）を押して、予定表の表示方法を切り替えられます。


画面下のコマンドバーのボタン

計画表表示



タップするとカレンダーが表示され、日付をタップするとその日の予定が表示されます。

をタップすると今日の予定が表示されます。

- 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

予定項目をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などが選べます。

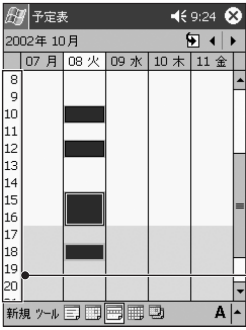
日単位表示



- 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

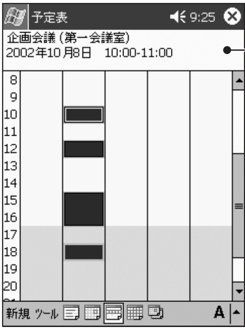
時間

週単位表示



●予定項目をタップすると、画面上部に予定の概要が表示されます。

時間



予定の概要

●予定の概要をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

月間カレンダー



午前と午後に予定があることを示します。

午前に予定があることを示します。

午後に予定があることを示します。

年間カレンダー



- 「ツール」→「オプション」をタップすると、表示内容などを変更できます。

予定表の便利な使いかた

予定表に祝日を設定する

パソコン側の Outlook と同期することによって、Pocket Outlook の予定表に祝日を設定できます。

1 **パソコンの Outlook で予定表に祝日を追加する**

祝日の追加については、パソコンの Outlook のヘルプをご覧ください。

2 **ActiveSync で予定表を同期する**

予定表に祝日が追加されます。

パソコンと同期したときの予定について

ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、同期する前に同期する項目や期間の設定をご確認ください（参照 56 ページ）。設定によっては、同期をした際に古いデータが削除されてしまうことがあります。

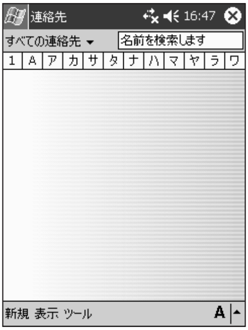
2.「連絡先」の入力と編集

名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

新規に連絡先を入力する

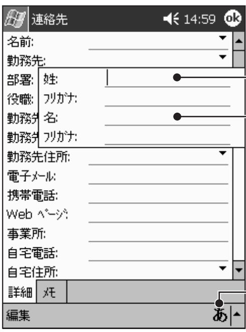
1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「連絡先」の入力画面が表示されます。



「姓」、「名」の欄にひらがなを入力して変換すると、「フリガナ」の欄に自動的にフリガナが入力されます。
「姓」、「名」の欄で文字を削除しても一度入力されたフリガナは削除されません。ただし全部削除するとフリガナも削除されます。

タップするたびに、入力パネルの表示と非表示が切り替わります。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 41 ページ）をご覧ください。

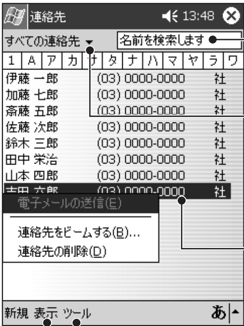
4 ok をタップする

入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

連絡先の一覧を表示する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。



ここに入力した文字が含まれる姓・名を探して表示します。

「すべての連絡先」の▼をタップすると、分類（会社別、個人別など）を選べます。

●人名をタップすると、「連絡先」の概要画面が表示されます。

人名をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、削除などの操作ができます。

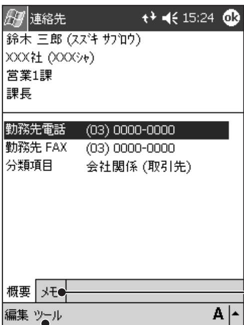
タップすると、「オプション」などが選べます。

タップすると、一覧画面の並び順（名前順、会社順）を変えられます。

連絡先を変更する

1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。



入力されている内容が表示されます。

タップすると、メモや音声の入力ができます。

タップすると、「連絡先の削除」や、「連絡先をビームする」が選べます。

2 「編集」をタップする

項目の内容が変更できます。

3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

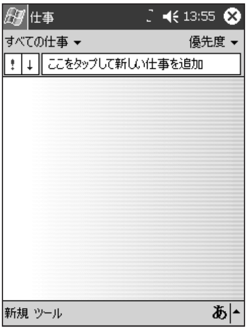
3. 「仕事」の管理

仕事の進行状況や期限などを管理できます。また、アラームも設定できます。

新規に仕事を入力する

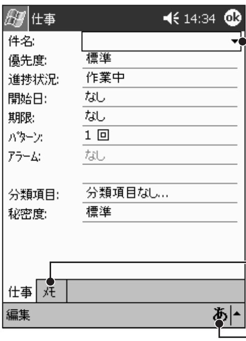
1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。



3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 41、163 ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

お知らせ

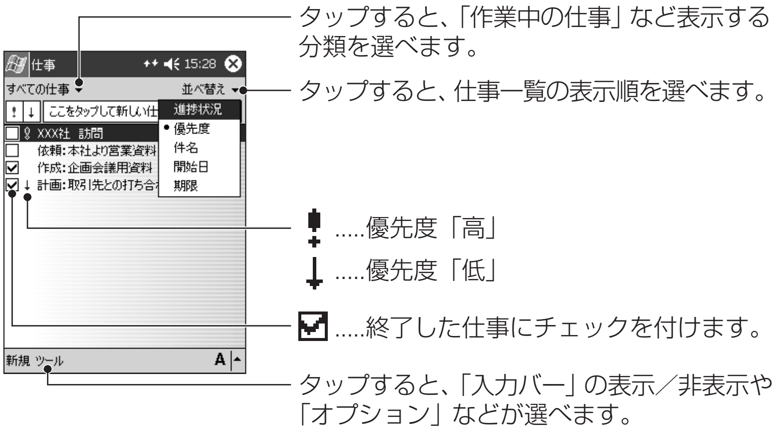
- 「仕事」でアラームを設定しても、アラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。
- 「仕事」の一覧画面で、「ツール」→「入力バー」にチェックを付けると、一覧画面で新規に仕事を入力できます。

仕事の一覧を表示する

1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

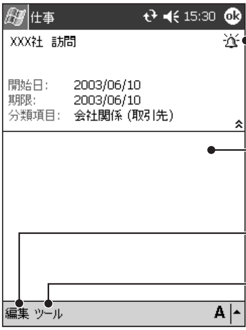
- 期限を過ぎた仕事は赤色で表示されます。



入力済みの仕事を変更する

1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

仕事の概要画面が表示されます。



アラームが表示されます。

メモが入力されているときは、ここに内容が表示されます。

タップすると、仕事を変更できます。

タップすると、仕事の削除などができます。

2 「編集」をタップする

- 項目を変更します。
- メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
  メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

4.「メモ」の作成と使いかた

文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

メモを入力する

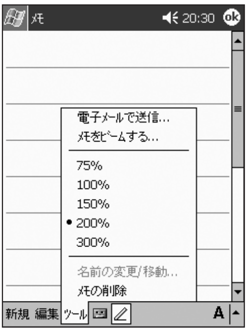
1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。



- 画面下の「ツール」をタップすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。
- 画面下の をタップすると「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。
- 「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます。

3 入力する

手書き（フリーハンド）入力モードのときはスタイラスで画面に直接入力します。文字入力モードのときはキーボードを使って入力します。
- 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切り取り／コピー／貼り付けなどの編集ができます。
- 罫線を３本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。



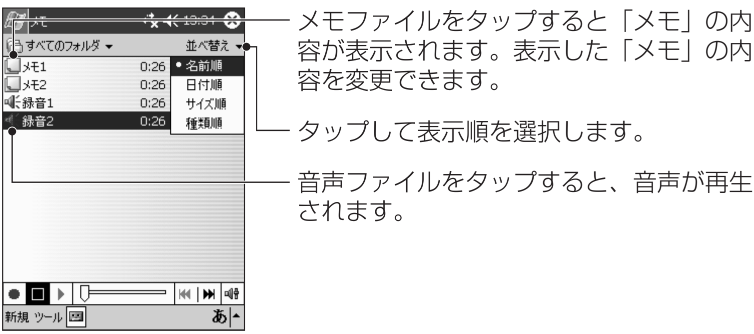
4 ok をタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
手書き入力モードで入力したメモのファイル名は「メモ１」、「メモ２」…と自動的に付けられます。

メモの一覧を表示する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。



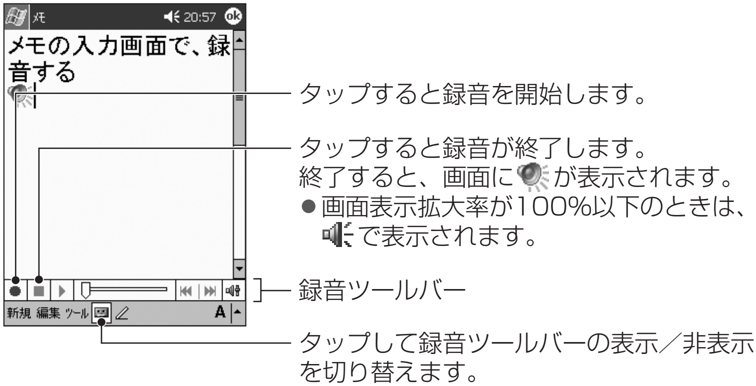
お知らせ

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても （メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声は のアイコンで表示されます。

メモファイル上に録音する

1 「メモ」の入力画面で をタップする

「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。



2 ok をタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。
ファイル名は、音声しかファイル上になくても、「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お知らせ

- 「メモ」の一覧画面で録音すると、ファイルのアイコンは で、ファイル名は「録音 1」、「録音 2」…と自動的に付けられます。
- マイクの位置は「各部のなまえと機能」（参照 2ページ）をご覧ください。録音するときは、マイクを音源に近づけてください。

ファイル名を変更／ファイルを削除する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

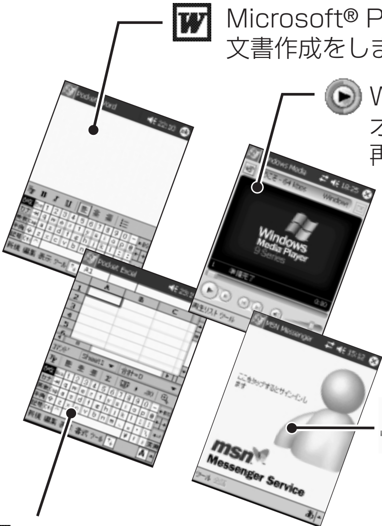


●ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
●削除するときは、メニューから削除をタップします。

それぞれ画面に従って操作してください。

第5章 アプリケーションプログラム

ビジネスからエンターテイメントまで、豊富なアプリケーションプログラムを用意しています。

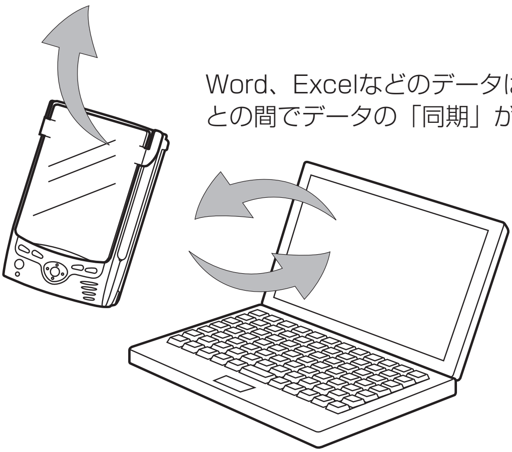


Microsoft® Pocket Word
文書作成をします。

Windows Media™ Player
オーディオデータやビデオデータを再生します。

MSN™ Messenger
チャットができます。

Microsoft® Pocket Excel
表計算をします。



Word、Excelなどのデータは、パソコンとの間でデータの「同期」が行えます。

1. Microsoft Pocket Word

Pocket Word を使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などを、一つのファイルで保存できます。また ActiveSync を使って本体の Pocket Word ファイルをパソコンの Word で開いたり、パソコンの Word ファイルやテキストファイルを本体の Pocket Word で開くことができます。

お知らせ

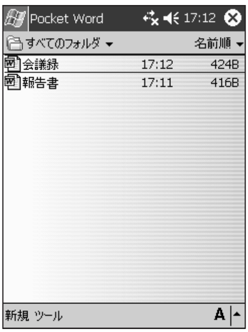
- ActiveSync を使ってデータを送受信するときは、ActiveSync の設定が必要です。ActiveSync については、（参照 52ページ）をご覧ください。
- 本章では、Pocket Word の基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

文書を作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする

「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。

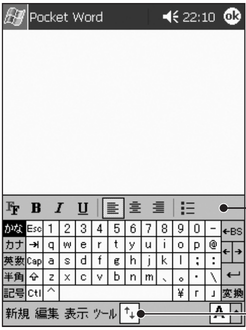
- 文書ファイルが一つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。



2 コマンドバーの「新規」をタップする

文書の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する



●入力モードは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の中から選べます。
(参照 173ページ)
左の画面は、「入力」を選んだ場合の画面です。

ツールバー
●文字や行の書式が選べます。

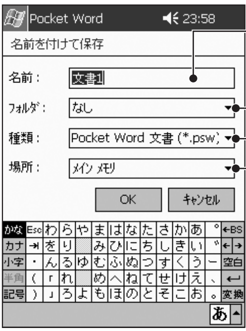
入力パネル

[↑↓]をタップするとツールバーの表示／非表示を切り替えられます。

4 保存する場合は、「ツール」→「文書に名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する



新規のときは入力した先頭の文字列が表示されます。

保存するフォルダを選びます。

ファイルの形式を選びます。

保存する場所を選びます。

6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 操作４、操作５をしないで、「OK」をタップすると、開いたファイルと同じフォルダにPocket Word形式で保存されます。
- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式（.psw）で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。

● 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

… Pocket Word形式（.psw）、リッチテキスト形式（.rtf）、Word97/98J/2000/2002 形式（.doc）、Word6.0/95 形式（.doc）

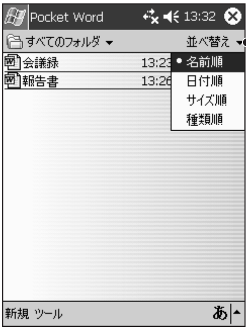
… テキスト形式（.txt）

… Word97/98J/2000/2002 テンプレート形式（.dot）、Word6.0/95 テンプレート形式（.dot）

● メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「」がついた状態で表示されます。

文書を変更する

1 **文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする**



タップすると、ファイルの表示順を並び替えることができます。

● ファイルをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、ファイルのコピーや削除など様々な操作が行えます。

2 **開いたファイルの内容を変更する**

3 **ok をタップする**

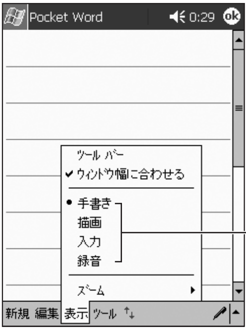
同じファイル名に上書き保存されます。

● ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」→「文書に名前を付けて保存」を選びます。

文書の作成・編集の入力モードについて

Pocket Wordでは､｢手書き｣､｢描画｣､｢入力｣､｢録音｣の4つのモードを使って入力できます。個別にファイルが作成できるだけではなく、１つのファイル内で４つのモードを切り替えて入力できます。

● 文書の入力画面で､「表示」メニューをタップして、入力モードを選びます。



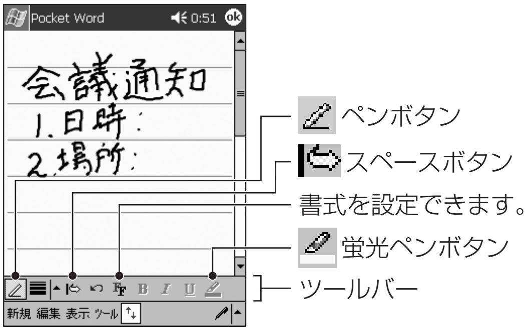
手書きモードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

2 手書き入力をする

をタップすると、ツールバーが表示されます。



- ツールバーの「ペンボタン」をタップすると、「ペンボタン」の枠あり／枠なしを切り替えられます。

  （枠あり）･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線３列以上にまたがって手書きしたものは、図形として認識されます。図形は描画モードで編集できます（参照 175ページ）。

  （枠なし）･･･手書きした文字をドラッグして選択（反転表示）できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更できます。

- スペースボタンを使う

  画面上をドラッグして、手書きした文字と文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、そのままドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きの方向にドラッグします。

- 蛍光ペンボタンを使う

  手書きした文字をドラッグして選択し、蛍光ペンボタンをタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

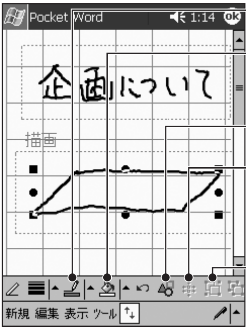
描画モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「描画」をタップする

描画モード画面に切り替わり、画面上にガイドとしてグリッド線が表示されます。

2 図形を描く

をタップすると、ツールバーが表示されます。



- 描画の線の色を選択できます。
- 描いた図形の中を、お好みの色で塗りつぶせます。
- 書式を設定できます。
- 2つ以上の図形を選択している場合、「左揃え」や「上詰め」など、配置を揃えたり変更できます。
- 2つ以上の図形を選択して、タップすると1つのグループにできます。

ツールバーのペンボタンをタップすると、描画モードが切り替わります。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）･･･ タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。選択した状態で図形の内側をドラッグすると、移動します。

入力モードを使う

1 **文書の入力画面で、「表示」→「入力」をタップする**

入力画面が表示されます。



入力パネル切り替えボタン

2 **入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する**

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の４つがあります。

3 **文字を入力する**

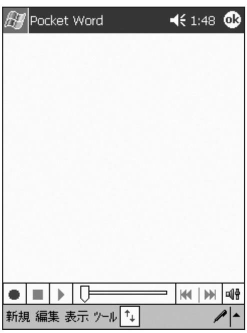
お知らせ

- 文字入力の詳細については、「文字入力のしかた」（参照 41 ページ）をご覧ください。

録音モードを使う

1 **文書の入力画面で、「表示」→「録音」をタップする**

録音入力画面が表示されます。



録音ツールバー

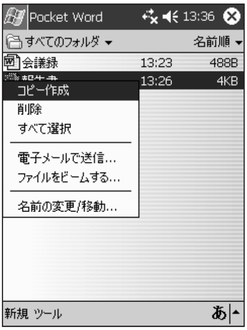
2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に が表示されます。
- をタップすると、録音した音声が再生されます。

文書ファイルを電子メールで送信する

1 文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

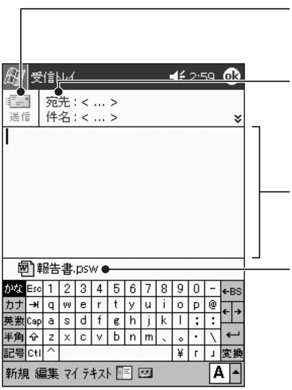
ポップアップメニューが表示されます。



2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、メッセージを入力する



タップすると、作成したメッセージを送信します。

タップすると、電子メールアドレスを登録してある人の一覧が表示されます。

メッセージを入力します。

添付する文書ファイルの名前と形式が表示されます。

4 「送信」をタップする

「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 140ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
● 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。
（参照 128ページ）
● ファイルを開いている状態で「ツール」→「電子メールで送信」を選んでも送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

● 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word形式（.psw）からWord形式（.doc）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
● パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式（.doc）からPocket Word形式（.psw）に自動的に変換されます。
・ ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
・ 文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
・ 文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

お知らせ

● 本体とパソコンの接続のしかたは（参照 52ページ）をご覧ください。
● 本体とパソコンとの間でのファイル交換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Wordのヘルプをご覧ください。

2. Microsoft Pocket Excel

Pocket Excelでは簡単な計算から関数計算まで様々な計算や表組機能が使えます。Pocket Excelのファイルはブックと呼ばれ、パソコンのExcelとファイルの交換もできます。

ファイルを作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。

● ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。



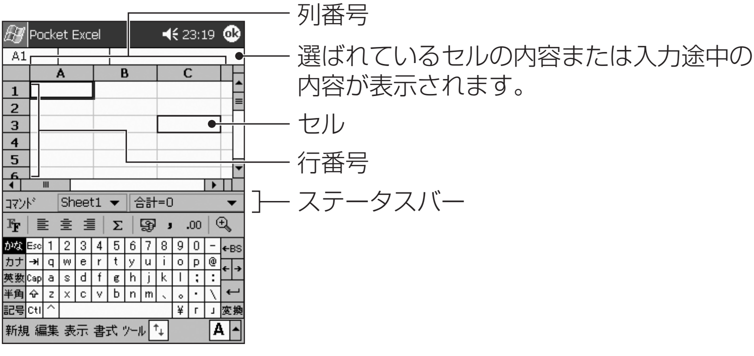
2 「新規」をタップする

入力画面が表示されます。

3 入力する

入力したいセルを選び、入力します。

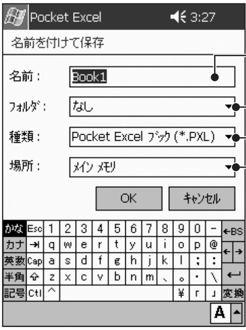
● 入力するには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。



4 保存する場合は、「ツール」→「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する



新規のときは「Book・」が表示されます。
保存するフォルダを選びます。
ファイルの形式を選びます。
保存する場所を選びます。

6 「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、入力画面に戻ります。

お知らせ

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式（.pxl）で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

  …Pocket Excel形式（.pxl）、Excel 97/2000/2002形式（.xls）、Excel5.0/95形式（.xls）

  …Pocket Excelテンプレート形式（.pxt）、Excel97/2000/2002テンプレート形式（.xlt）、Excel5.0/95テンプレート形式（.xlt）
- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「 」がついた状態で表示されます。

ファイルを変更する

1　ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

選んだファイルが開きます。

2　内容を変更する

3　画面右上の(ok)をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは「ツール」→「ブックに名前を付けて保存」をタップして変更します。

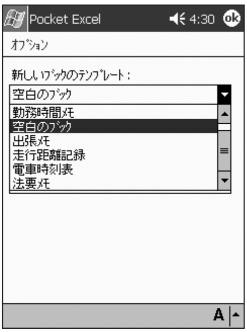
テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、「家計簿」や「出張メモ」などのあらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

1　ファイルの一覧画面で「ツール」→「オプション」をタップする

「オプション」の画面が表示されます。

2　「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする



3　(ok)をタップする

ファイルの一覧画面に戻ります。

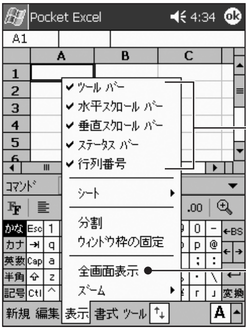
- これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。
- テンプレートを使用して保存しても、元のテンプレートには上書きされません。

画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示／非表示などを設定できます。

1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。画面表示／非表示したい項目をタップしてください。



タップするごとに表示/非表示が切り替わります。
- ✓チェックが付いている項目が表示されます。

タップすると、ツールバーやスクロールバーなどがすべて消えて広く使えます。全画面表示を終了するにはもう1度タップするか「元に戻す」をタップします。

パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルに、パスワードを設定できます。

1 入力画面で「編集」→「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。
- 現在、作成・編集中のファイルに「パスワード」を設定します。
- パスワードが設定されているファイルは、パスワードを入力しないと、ファイルを開けません。

2 パスワードを設定し、ok をタップする

お願い

- **パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**
- 設定したパスワードを解除するときは、入力画面で「編集」→「パスワード」を選び、設定されているパスワードを削除します。

ファイルを電子メールで送信する

1　ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする

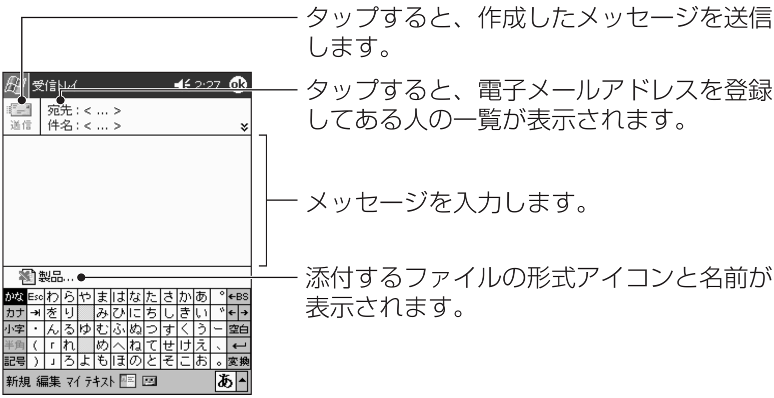
ポップアップメニューが表示されます。



2　ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択したファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3　宛先、件名、メッセージを入力する



4　「送信」をタップする

「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 140ページ）をご覧ください。

…お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です（参照 128ページ）。
- ファイルを開いている状態で「ツール」メニューから「電子メールで送信」を選んでも、送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に自動的に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン、描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

…お知らせ

- 本体とパソコンの接続のしかたは（参照 52ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル変換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Excelのヘルプをご覧ください。
- パスワードが設定されているファイルは、交換の途中でパスワードの確認（入力）が必要になります。

3. Windows Media Player

Windows Media Player では、ＭＰ３形式または「Windows Media Audio (WMA)」形式のオーディオファイル（曲）や「Windows Media Video（WMＶ）」形式のビデオファイル（動画）を再生できます。(再生できるファイルは、拡張子が asf、wma、wmv および mp3 のファイルです。)
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンでWindows Media Player 7 以降を使ってパソコンから本体メモリやメモリカードに転送します。本体メモリへの転送先は My Documents フォルダです。

Windows Media Player を起動する

1「スタート」から「Windows Media」をタップする

Windows Media Playerのプレーヤー画面が表示されます。



お知らせ

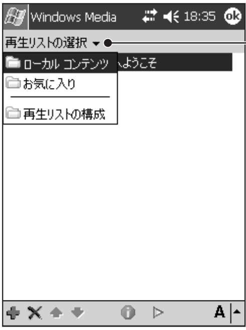
- 音楽配信サービスなどで利用される SD メモリカードの暗号化（CPRM）には対応していません。
- 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。

再生リストを作成する

再生したいファイルを準備します。例えば、パソコンのWindows Media Playerを使って音楽CDの楽曲をWMA形式に変換してパソコンに取り込み、本体とパソコンを接続してパソコンから本体に転送する方法などがあります。詳しくは、パソコンの Windows Media Player のヘルプを参照してください。
再生したいファイルを集めて再生リストを作ると、再生リスト内のファイルを続けて再生できます。

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

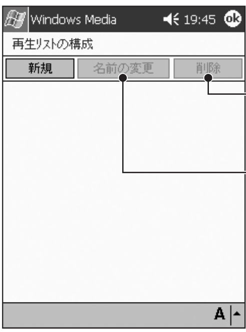


タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

- ローカルコンテンツには、本体やメモリカードにあるすべてのオーディオファイルやビデオファイルが含まれます。

2 「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

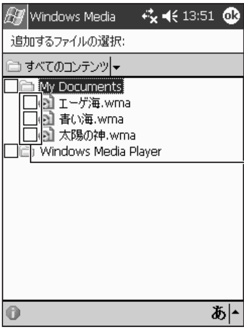


タップすると、選んだ再生リストを削除します。

タップすると、作成済みの再生リストの名前を変更します。

3 **「新規」をタップし、作成する再生リストの名前を入力して、ok をタップする**

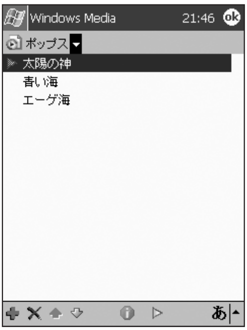
再生できるファイルの一覧画面が表示されます。



チェックしたファイルが再生リストに入ります。

4 **再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ok をタップする**

再生リストの画面が表示されます。



⬆ ⬇：選んだファイルを上または下に移動します。通常、上から順に再生します。

✕：選んだファイルをリストから削除します。

✚：ファイルを追加します。

- 再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。

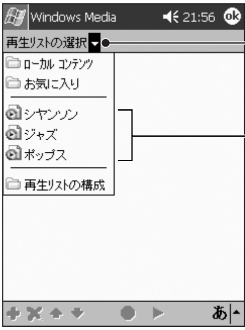
5 **ok をタップする**

プレーヤー画面に戻ります。

再生リストを使って再生する

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

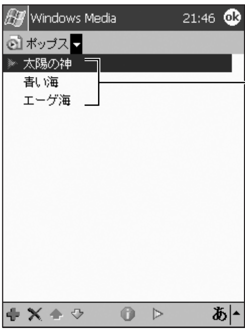
再生リストの選択画面が表示されます。



タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

作成した再生リストが表示されます。（作成していないときは表示されません）

2 再生したい再生リストをタップする



再生リストに含まれるファイルの一覧が表示されます。

3 ⓞⓚをタップする

プレーヤー画面に戻ります。

4 プレーヤー画面で▶をタップする

選んだ再生リスト内の一番上のファイルから再生が始まります。

- このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。再生を継続したくない場合は、「ツール」メニューの「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、「別のプログラムを使用中」を「再生を一時停止する」にします。

お知らせ

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PC ではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft 社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Media エンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください（2003 年６月現在）。
  Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社にお問い合わせください。

「ツール」メニューについて

プレーヤー画面から「ツール」メニューが選べます。
- 詳しくはヘルプをご覧ください。



タップして、チェックすると選んだ再生リストのファイルを連続で再生します。

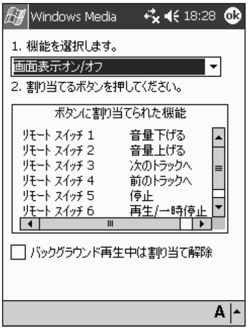
タップして、チェックすると選んだ再生リストのファイルをランダム再生します。

再生中の画面表示を ON ／ OFF する

電池の使用時間を長くするため、再生中は画面表示を OFF にしてください。

1 「ツール」→「設定」から「ボタン」をタップする

2 機能の選択で「画面表示オン / オフ」を選ぶ



プログラムボタン名と機能名
（初期値の状態を示しています。）

3 その機能を割り当てたいプログラムボタンを押す

画面に割り当てたプログラムボタン名と機能名が表示されます。

- リモコン付きイヤホンのボタン（リモートスイッチ１～6）に割り当てることもできます。

4 ⓞⓚをタップする

以上の設定操作をした後、割り当てたプログラムボタンを押すごとに画面表示が ON/OFF します。

お知らせ

- この設定画面では、「画面表示オン / オフ」だけでなく、操作２で別の機能を選んで、ボタンに割り当てることができます。
- リモートスイッチ１～６の機能を変更すると、Windows Media Player だけが変更になります。

4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続設定」（参照 112ページ）をご覧ください。
さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsoft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。Hotmail やMSN アカウントがある場合、Passport はすでに取得されています。

お知らせ

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmail の無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/ で取得できます(2003 年６月現在)。

MSN Messenger をセットアップする

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。



2 「ツール」→「オプション」をタップする

3 「アカウント」タブをタップし、Passport または Exchange のアカウント情報を入力し、ok をタップする



電子メールアドレスとパスワードを入力します。

最初にサインインするアカウントを選びます。
● ok をタップするとサインイン画面に戻ります。

MSN Messenger を使う

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップする



アカウントを設定すると自動的に表示されます。

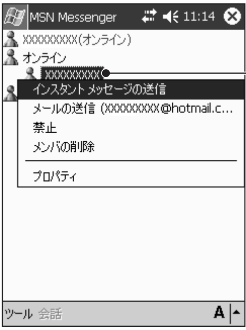
アカウントを設定すると自動的に表示されます。

タップします。

サインインが終わると、MSN Messengerのメイン画面が表示されます。

メンバの操作

MSN Messengerのメイン画面には、すべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。タップアンドホールドしてポップアップメニューから、チャット、電子メールメッセージの送信、メンバの禁止、メンバの削除などを行うことができます。



メンバをタップするとチャットを開始します。タップアンドホールドするとポップアップメニューが表示されます。

お知らせ

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

メンバの追加

1 「ツール」→「メンバの追加」をタップする

2 追加メンバのサインイン名を入力し、「次へ」をタップする



チャットや電子メールメッセージを送りたいメンバの電子メールアドレスを入力します。

タップします。

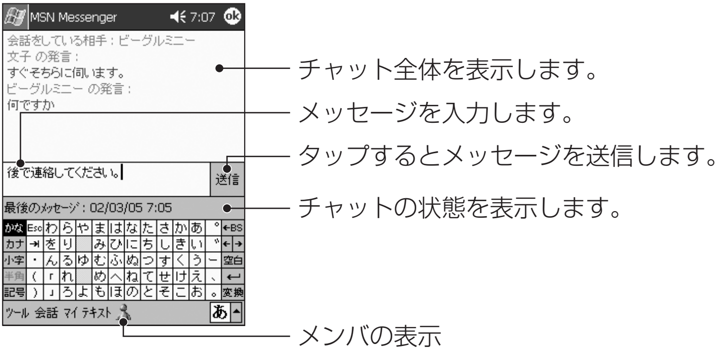
3 画面の指示に従って設定する

メンバとチャットする

1 **MSN Messenger のメイン画面で、チャットをしたいメンバの名前をタップする**

チャット画面が開きます。

2 **テキストボックスにメッセージを入力し、「送信」をタップする**



お知らせ

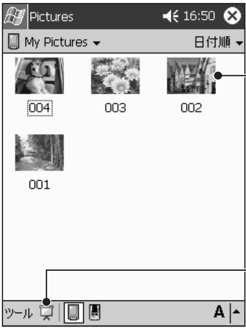
- コマンドバーの「マイテキスト」をタップすると、よく使うメッセージを選んで入力できます。
- チャットを閉じずにメイン画面に戻るには、「メンバの表示」をタップします。チャット画面に戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。
- 進行中のチャットに招待するには、「ツール」メニューで「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。

5. Pictures

本体メモリやメモリカードに保存されている画像ファイル（.jpg）を一覧表示できます。

画像を表示する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pictures」をタップする

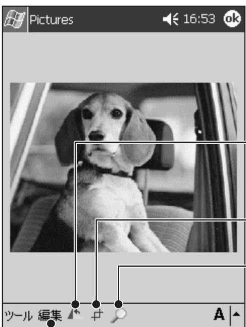


ファイルがサムネイル表示されます。タップするとその画像が画面全体に表示されます。

タップすると、画像ファイルをスライドショー表示します。

画像を編集する

サムネイルをタップすると、画像ファイル（.jpg）を編集することができます。



タップすると、反時計回りに90度ずつ画像を回転します。

ドラッグした部分を切り出して表示します。

ズームパネルを表示して、画像を拡大／縮小表示します。

「編集」メニューの「明るさとコントラスト」をタップすると画像の明るさやコントラストを調節できます。

画像をメールで送る

画像（.jpg）を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。

1 Pictures 画面で、送信したい画像をタップする

2 「ツール」→「電子メールで送信」をタップする

受信トレイが起動して､選択した画像ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作４以降（参照 140ページ）を行ってください。

画像を背景画像に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定することができます。

1 Pictures 画面で、壁紙に設定したい画像をタップする

2 「ツール」→「[Today]の壁紙に設定する」をタップする

背景にする際の透過レベルなども設定することができます。

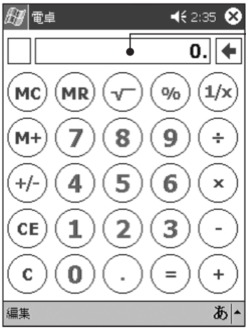
6. 電　卓

９桁の計算ができます。

計算する

1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。



入力ボックス

2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算をクリアするには、「C」をタップします。
- 表示されている数値をクリアするには、「ＣＥ」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側の矢印をタップします。

数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「M＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「ＭＲ」をタップします。
- メモリをクリアするには、「ＭＣ」をタップします。

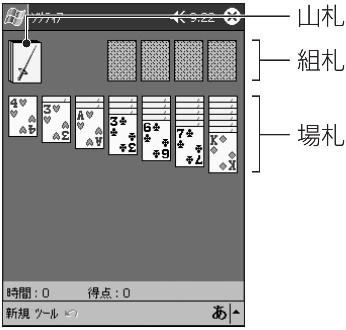
7. ゲーム

ソリティア

カードゲームです。組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

1 **「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする**

「ソリティア」画面が表示されます。



2 **山札をタップして、山札をめくる**

- 画面をタップすると時間がスタートします。

3 **場札にカードをドラッグして移動し、数字が小さくなるように、しかも赤と黒のカードを交互に積み重ねる**

- 例：赤４のカードの上に黒３のカードを重ねられます。

4 **組札にエースを移動し、数字が大きくなるようにキングまで、同種類のカードを積み重ねる**

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 場札の重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、 をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

ゲームの遊びかたを変更する

「ツール」→「オプション」をタップします。

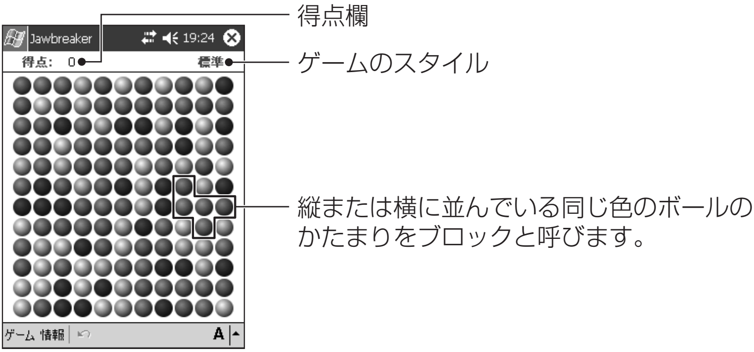
- カード（山札）のめくりかたを「1 枚ずつ」か「3 枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付けかたを「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付けかたは、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。
- カードの模様を選べます。

Jawbreaker

ボールを消すゲームです。1 度にたくさん消すと高得点になります。

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「Jawbreaker」をタップする

「Jawbreaker」画面が表示されます。新しくゲームを始めるには、「ゲーム」メニューから「新しいゲーム」をタップします。



2 消したいボールのブロック内をタップする

消すブロックが線で囲われ、得られる点数が表示されます。

- ブロック内のボールの数が多いほど点数が高くなります。

3 もう 1 度消すブロックをタップする

ブロック内のボールが消え、得点が得点欄に加算されます。

- 直前のプレイを取り消すには、コマンドバーの をタップします。

ゲームの遊びかたを変更する

「ゲーム」→「オプション」をタップします。

- ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「シフト」、「メガシフト」から選べます。
- ボールの色は「カラー」または「グレースケール」が選べます。

8. 付属の CD-ROM について

アプリケーション CD

付属のアプリケーションCDには、いろいろなアプリケーションプログラムが、収められています。本体メモリまたはメモリカードにインストールしてお使いください。

付属アプリケーションプログラムのインストール方法

アプリケーションCDに収められているアプリケーションプログラムを使うためには、次の操作手順でインストールをしてください。
アプリケーションプログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンにMicrosoft® ActiveSync®をインストールし（参照 52ページ）、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。

1 本体とパソコンを接続する

（参照 21、52 ページ）

2 アプリケーションCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

メニュー画面が表示されます。

3 画面左側に表示されたアプリケーションプログラムの分類タブの中の１つを選んで、インストールしたいアプリケーションプログラムの「インストール」をクリックする

画面の指示に従ってインストールをしてください。

コンパニオン CD

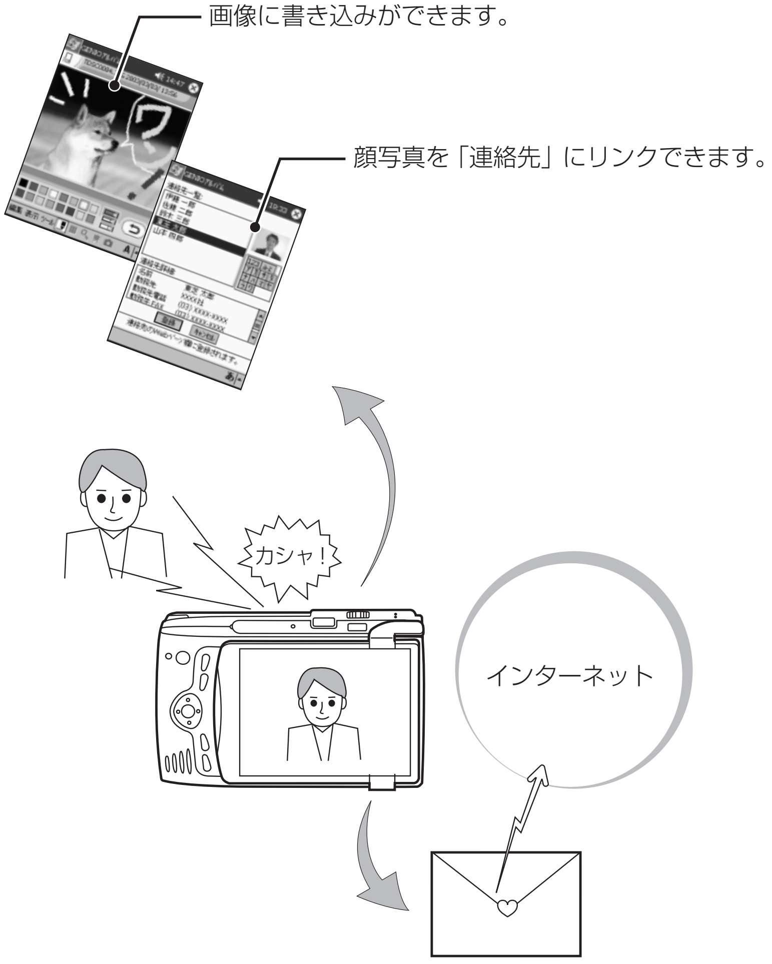
付属のコンパニオンCDには、Microsoft® ActiveSync® 3.7とMicrosoft® Outlook® 2002が収められています。本体と接続するパソコンにインストールしてお使いください。
インストールする際は、パソコンの必要条件 (参照 52ページ) を確認してください。
インストール方法については、クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧ください。

お知らせ

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。このためお使いのInternet Explorerに、Macromedia Flashがプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。
  Flash形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
  Flash形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。この間は、パソコンの操作を行わないでください。

第6章
カメラ

カメラ機能を利用して静止画を撮影することができます。
撮影した画像を加工して、メールに添付して送信したり、顔写真を「連絡先」にリンクさせたりすることができます。



第6章

1. カメラ機能を使う

本体内蔵のカメラで静止画を撮影できます。撮影した画像は、JPEG 形式で、本体メモリ／ SD メモリカード／ CF メモリカードのいずれかに保存できます。

撮影／編集の流れ

撮影は「GENIO ショット」で行い、撮影した画像の表示や編集は「GENIO アルバム」で行います。

「GENIOショット」

撮影する

静止画を撮影できます。
フラッシュやズームなど、撮影の設定ができます。

↓

「GENIOアルバム」

画像を見る

撮影した画像を再生することができます。

↓

画像を編集する

撮影した画像に効果を加えたり、ペン（スタイラス）で書き込んだり、画像をトリミングすることができます。

↓

画像を活用する

撮影した顔写真を「連絡先」にリンクさせることができます。
撮影した画像を、メールや赤外線通信で送信することができます。

主な撮影／編集画面一覧

撮影／編集を行う画面は、タップして切り替えます。各画面について詳しくは、参照先のページをご覧ください。

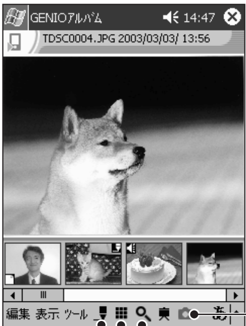
「GENIOショット」画面（参照 210ページ）



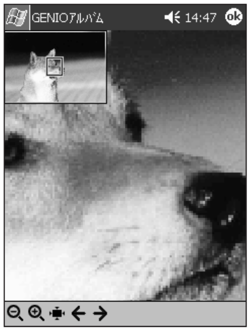
撮影設定画面（参照 212ページ）



「GENIOアルバム」画面
（参照 214ページ）

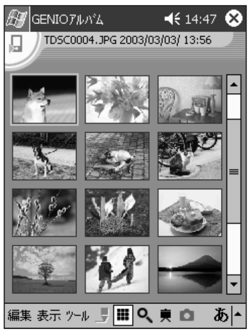


拡大／縮小表示
（参照 217ページ）





ペン書き込みモード
（参照 219ページ）



サムネイル一覧
（参照 218ページ）

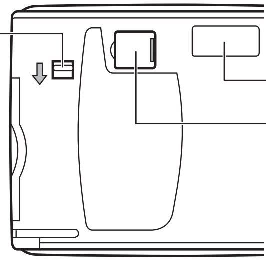
2. 「GENIO ショット」で撮影する

撮影は「GENIOショット」で行います。被写体や撮影する状況に合わせて、撮影の設定をしてください。

撮影のしかた

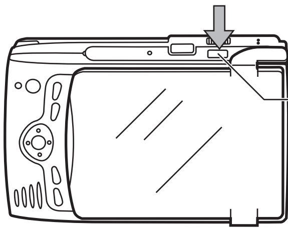
1 レンズカバーオープンボタンをスライドする

レンズカバーが開きます。



2 シャッターボタンを押す

「GENIO ショット」が起動します。



3 撮影の設定をする

（参照 210 ページ）

4 被写体にレンズを向ける

レンズからの画像が「GENIO ショット」画面に表示されますので、撮影する構図を決めてください。

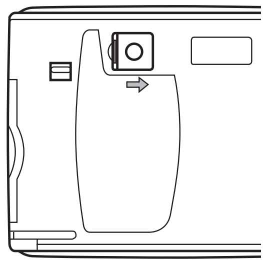
- 暗い場所では、画像表示の更新が遅くなります。

5 シャッターボタンを押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像が保存されます。

撮影をしないときは

撮影をしないときは、下図のようにレンズカバーを閉じてください。



…お知らせ

- 「GENIOショット」の起動は、「スタート」の「プログラム」から「GENIOショット」をタップしても行うことができます。
- 撮影は、「GENIO ショット」画面のシャッターボタンをタップしても行うことができます。
- 撮影画像、保存画像は、JPEG ファイルになります。
- 撮影画像は、TDSCXXXX.JPG（XXXX は 0001 ～ 9999 までの数字）というファイル名で保存されます。

お願い

- レンズ部に直射日光を長時間あてないでください。
  内部のカラーフィルタが変色して画像が変色することがあります。
- カメラは非常に高精度に作られていますが、なかには常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- レンズ部の汚れやホコリは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナーで清掃してください。
- 撮影時にはレンズ部に指などが、かからないようにしてください。
- シャッターを切るとき、手ぶれが起きないように本体をしっかり持って、撮影してください。手ぶれは画像がぶれる原因となります。
- 本体を高温の場所に長時間置いた状態で撮影すると、画質が劣化することがあります。
- フラッシュの発光部を、人の目に近付けて発光させないでください。また、発光を見続けないでください。視力障害の原因となります。

「GENIO ショット」画面について



① バージョン情報 ...... 「GENIO ショット」のバージョン情報が確認できます。
② 電池残量 .... 本体内蔵電池の残量を表示します。
③ 保存先 .... 画像の保存先を表示します。変更は撮影設定画面で行います。
④ 撮影可能枚数 .... 現在の保存サイズ、保存品質、保存先のメモリの残り容量から予測した撮影可能枚数を表示します。
⑤ 画像サイズ .... 画像の保存サイズを表示します。変更は撮影設定画面で行います。
⑥ ホワイトバランス ... ホワイトバランスの設定状態を表示します。設定は撮影設定画面で行います。
⑦ 明るさ .... 明るさの調整を行っている場合にアイコンが表示されます。設定は撮影設定画面で行います。
⑧ ⊗ ボタン .... 「GENIO ショット」画面の表示を消します。
⑨ GENIO アルバムボタン
.... 「GENIO アルバム」を起動します。
⑩ 撮影設定ボタン ...... 撮影設定画面を表示します。
⑪ フラッシュボタン ... フラッシュを設定します。ボタンをタップすると、設定が切り替わります。
自動発光／ 常時発光／ 発光禁止
初期値は自動発光（撮影場所の明るさを判断し、必要な場合発光）に設定されています。

⑫ ズームボタン .... デジタルズームを設定します。ボタンをタップすると、設定が切り替わります。
×1.0 １倍／×2.0 ２倍／×4.0 ４倍

⑬ シャッターボタン ... タップすると撮影を行います。

⑭ 履歴サムネイル ...... 過去4枚の撮影画像を縮小表示します。サムネイルをタップするとその画像を全画面表示します。
全画面表示で、カーソルボタンを左（または上）に操作すると、前の画像を表示します。カーソルボタンを右（または下）に操作すると、次の画像を表示します。
全画面表示から「GENIOショット」画面に戻るには、画面上をタップしてください。

■ 撮影設定の初期値

設定	初期値
画像サイズ	320×240
保存品質	ノーマル
ホワイトバランス	自動
保存先	本体メモリ
明るさ	0
シャッター音	1
フラッシュ	自動発光
ズーム	1倍

お知らせ

- 保存先を本体メモリに設定した場合、撮影可能枚数は、データ記憶用の空き容量を元に算出します。本体メモリの割り当ての自動調節により、撮影を重ねても、撮影可能枚数が増加する場合があります（参照 79ページ）。
- 「GENIOショット」で撮影する前に「GENIOアルバム」が起動していると、撮影後に「GENIOショット」の ⊗ ボタンをタップして画面の表示を消しても、「GENIOアルバム」画面は最新の撮影画像に更新されていません。更新するには、「GENIOショット」画面で ▶ ボタンをタップしてください。
- 「GENIO ショット」のオンラインヘルプを見るには、「GENIO アルバム」画面を表示して、「スタート」から「ヘルプ」をタップしてください。

撮影設定画面について



画像サイズ .... 撮影した画像を保存するサイズを設定します。
320 320 × 240 ピクセル／ 640 640 × 480 ピクセル

保存品質 .... 撮影した画像を保存する品質を設定します。

スーパーファイン：画質を最優先します。画像ファイルのサイズは最も大きくなります。

ファイン：画質を優先します。

ノーマル：標準画質です。画質と撮影可能枚数を両立します。

エコノミー：撮影可能枚数を優先します。画像ファイルのサイズは最も小さくなります。

ホワイトバランス .... 撮影環境の光の色に合わせて色のバランスを調整する機能です。
AUTO 自動／ 蛍光灯／ 白熱灯／ 昼光
初期値では自動で調整するよう設定されています。

保存先 .... 撮影した画像の保存先を設定します。
本体メモリ／ SD メモリカード／ CF メモリカード

明るさ .... 撮影環境の明るさに合わせて撮影画像の明るさを調整する機能です。明るさの調整を行う場合は、-4 ～ +4 までの値で設定できます。
初期値は０（明るさの調整を行いません）です。
明るさの調整を行う設定をすると、「GENIO ショット」画面にアイコンが表示されます。

シャッター音設定 .... シャッター音を３種類の中から設定します。音量の変更や、鳴らなくすることはできません。

撮影時の充電残量について

撮影するときは、本体内蔵電池の充電残量を確認してください。
「GENIOショット」画面に表示されるアイコンで、本体内蔵電池の充電残量を確認できます。

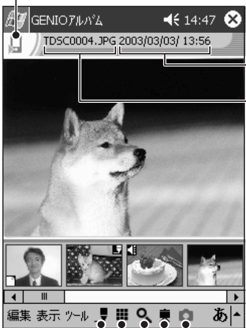
電池残量アイコン	充電残量
	約2/3以上
	約1/3～2/3
	約1/3以下

充電残量が20%以下になると、撮影することはできません。
この場合、電池残量不足のメッセージが表示されます。

3.「GENIO アルバム」で再生、編集する

撮影した画像は、「GENIO アルバム」で再生や編集ができます。
「GENIOショット」画面のGENIOアルバムボタンをタップすると「GENIOアルバム」が起動します。

「GENIO アルバム」基本画面について



参照先
：本体メモリ
：SDメモリカード
：CFメモリカード
：任意のフォルダ

撮影日時

ファイル名

保存されている画像のサムネイルが表示されます。
：音声が添付されています。
：コメントが書き込まれています。
：ペンデータが書き込まれています。

「GENIOショット」画面に切り替わります。

画像を全画面表示します。

拡大／縮小表示（参照 217ページ）に切り替わります。

サムネイル一覧（参照 218ページ）に切り替わります。

ペン書き込みモード（参照 219ページ）に切り替わります。

お知らせ

- 「GENIOアルバム」の起動は、「スタート」の「プログラム」から「GENIOアルバム」をタップしても行うことができます。
- 「GENIOアルバム」が起動している状態で「GENIOショット」で撮影をした後に、ボタンをタップして「GENIOショット」画面の表示を消すと、この時点の「GENIOアルバム」画面は最新の撮影画像に更新されていません。更新するには、「GENIOアルバム」の「表示」メニューから「最新の状態に更新」をタップしてください。

■「編集」メニュー

効果……………………画像に効果を加えることができます。
ペン……………………画像にペンで絵や文字を書き込むことができます。
書き込み　：書き込みモードに切り替わります。
削除　　　：ペンデータを削除します。
音声……………………画像に音声ファイル（WAVE形式）を添付することができます。
音声ファイルは１つ添付できます。再録音を行うと新しい音声ファイルに上書きされます。
別名で保存……………表示されている画像を、新しいファイル名を付けて保存します。
保存サイズ：最大640×480ピクセルまでサイズを選択できます。
640×480ピクセルより大きい画像は、最大640×480ピクセルになります。
回転　　　：元画像を回転した状態で保存できます。
ペンデータ：元画像のペンデータを画像に合成して保存できます。
トリミング保存………画像の一部分を切り出して、別のファイル名で保存します。
ペンデータのマージ…ペンデータを画像に合成します。
削除……………………画像を削除します。
選択……………………サムネイル一覧で、サムネイルを複数選択するか、全選択するかを設定します。

■「表示」メニュー

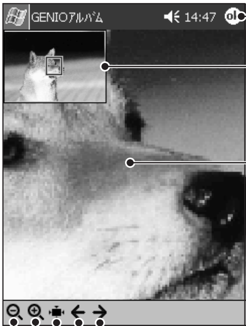
全画面表示……………画像を全画面で表示します。
拡大縮小表示…………拡大縮小表示に切り替わります。
基本画面………………基本画面に切り替わります。
サムネイル一覧………サムネイル一覧に切り替わります。
画像の回転……………画像を回転表示します。
画像情報／コメント…画像情報が確認できます。また、コメントの表示／編集を行うことができます。
最新の状態に更新……参照先の画像をすべて読み直し、最新の状態に更新します。

■「ツール」メニュー

参照先 .... 表示する画像の参照先を選択します。
撮影画面へ .... 「GENIO ショット」画面に切り替わります。
電子メールで送信 .... 画像をメールに添付して送ることができます。
画像をビームする .... 画像を赤外線通信で送ることができます。
連絡先へ貼り付け .... 画像を「連絡先」にリンクさせることができます。
ホーム背景画像として保存
.... 「ホーム」画面の背景用画像として保存できます（参照 97 ページ）。
オプション .... 「GENIOアルバム」のオプション設定を行います。
.JPG ファイルの関連付けを行う：
選択すると、拡張子が「.JPG」のJPEGファイルをファイルエクスプローラでタップしたときに、「GENIO アルバム」が起動するように関連付けることができます。
サムネイルにペンの軌跡を表示する：
選択すると、ペン書き込みデータが存在する場合に、サムネイルにペンの軌跡が表示されます。
バージョン情報 .... 「GENIO アルバム」のバージョン情報が確認できます。

拡大／縮小表示について

画像を拡大／縮小して表示します。



タップすると元の画面に戻ります。

画像が画面サイズを超えて表示されている場合、画像の全体が縮小表示されます。

画像が画面サイズを超えて表示されている場合、スタイラスで画面上をドラッグすると画像がスクロールします。

次の画像を表示します。

前の画像を表示します。

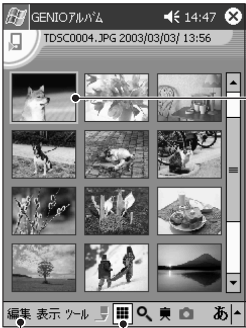
最初の表示状態に戻ります。

拡大表示します。

縮小表示します。

サムネイル一覧について

画像を縮小して一覧表示します。



タップするとサムネイルを選択します。
タップアンドホールドするとメニューが表示され、選択した画像を削除することができます。

基本画面に戻ります。

「編集」メニューの「選択」でサムネイルの選択方法を設定できます。
複数選択……サムネイルを複数選択できます。
全選択………すべてのサムネイルを選択状態にします。
サムネイルを選択した状態で「編集」メニューの「削除」をタップすると、選択したサムネイルをすべて削除することができます。

ペン書き込みモードについて

画像に手書きのイラストや文字を書き込むことができます。



■保存するには

ペンで書き込んだ内容は、ペンデータとして画像ファイルとは別のファイルで保存されます。
「GENIO アルバム」上は、これらを重ね合わせて表示しています。
ペンデータと画像を合成して１つのファイルにするには、もう１度「ペン書き込みモード」ボタンをタップして基本画面に戻り、「編集」メニューから「別名で保存」または「ペンデータのマージ」をタップします。
「別名で保存」画面では、「ペンデータ」の「合成する」を選択して、ファイル名を付けて保存してください。

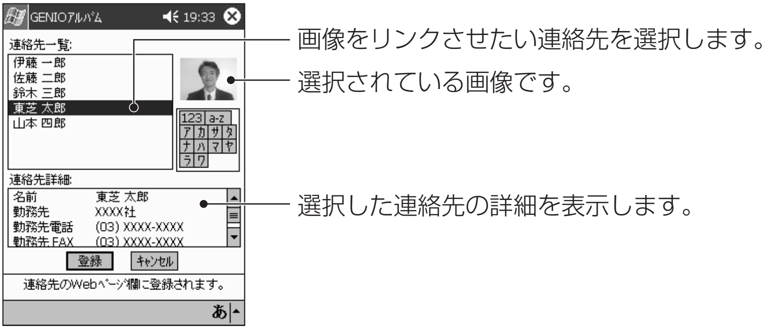
顔写真を「連絡先」にリンクさせる

「連絡先」の「Webページ」欄に、画像をリンクさせることができます。

1 リンクさせたい画像を選択する

2 「ツール」→「連絡先へ貼り付け」をタップする

3 画像をリンクさせたい連絡先を選択する



4 「登録」をタップする

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは登録されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータは登録されません。ペンデータもあわせて登録したいときは、あらかじめ「編集」メニューの「別名で保存」または「ペンデータのマージ」を選択し、保存してください。

画像を送信する

メールや赤外線通信を使用して、画像を送信することができます。

メールで送る

1 送りたい画像を選択する

2 「ツール」→「電子メールで送信」をタップする

3 「送信画像設定」画面で、画像のサイズを設定する



送信する画像サイズを設定します。
送信する画像は、元画像をコピーしたファイルになります。
送信画像のサイズを変更しても、元画像ファイルのサイズは変更されません。

4 「送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した画像を添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。
「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作４以降（参照 140ページ）を行ってください。

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは送信されません。
- 画像に「表示」→「画像情報／コメント」でコメントが登録されている場合、コメントデータは送信されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータを画像に合成した状態で送信されます。
- メールを送信するには、「受信トレイ」の設定が必要です（参照 128ページ）。

ビームで送る

本体から赤外線ポートを備えたPocket PCへ、赤外線通信によるデータ転送を利用して、画像を送ることができます。

1 送りたい画像を選択する

2 本体と他のPocket PCの赤外線ポートの位置を合わせる

3 「ツール」→「画像をビームする」をタップする

4 「送信画像設定」画面で、画像のサイズを設定する

「メールで送る」の操作３を参照して、送信する画像のサイズを設定してください。

5 「送信」をタップする

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 画像に音声データが添付されている場合、音声データは送信されません。
- 画像に「表示」メニューの「画像情報／コメント」でコメントが登録されている場合、コメントデータは送信されません。
- 画像にペン書き込みが行われている場合、ペンデータを画像に合成した状態で送信されます。

第7章
困ったときは

1. Q&A

電源

1. 電源ボタンを押しても電源が入らない？

- 内蔵電池が消耗しきっています。充電を行ってください。
- バッテリスイッチが「停止」になっています。「供給」側に移動してください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 246 ページ）。

2. 急に電源が切れた？

- 内蔵電池が消耗しきりました。充電を行ってください。
- オートパワーオフ（自動サスペンド）が働きました。電源が切れるまでの時間を変えるときは、「スタート」→「設定」→「システム」タブから、「パワーマネージメント」→「コントロール」タブをタップし、設定してください。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時で、それぞれ設定できます。

3. 充電しても使用時間が著しく短いのですが？

- 持ち運び時にプログラムボタンなどが押されて、電源が入ってしまった可能性があります。持ち運び時には、プログラムボタンなどが押されないように気をつけてください。
  プログラムボタンを押したときに、電源が入らないように設定することもできます（参照 76 ページ）。
- 内蔵電池の寿命などが考えられます。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝 PC 集中修理センタにご依頼ください。

4. 使用しながら充電できますか？

ACアダプタを接続していれば、使用しながら充電できます。

5. 本体内にバックアップ用の予備電池などが入っていますか？

入っておりません。ただし、内蔵電池の充電残量がわずかになり電源がONできなくなった時点から、約75時間はメモリを保持します。メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

6. 予備用に内蔵電池（バッテリ）を購入できますか？

内蔵電池（バッテリ）は、お客様自身で交換できないようになっていますので、 販売しておりません。

画面、フロントライト

1.画面(ディスプレイ)の一部に、非点灯・常時点灯などの点があるのですが？

ディスプレイの一部に非点灯・常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。
ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていて、非点灯・常時点灯などの点を少量に抑えるように管理していますが、現在の技術水準でも完全になくすことは困難ですので、ご了承ください。

2.画面が暗い？

- フロントライトが OFF になっています。電源ボタンを長く押して ON にしてください。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなっています。「フロントライト」で充電残量が70%以下のときは、フロントライトを電池残量に応じて暗くし、電池の消耗を抑えるよう設定されています。充電を行ってください。また、設定を無効にするには、「バッテリ残量に応じて、明るさを調節する」のチェックをはずしてください。

3.画面が暗くなった？

- 設定した未使用時間を超えたため、フロントライトが消灯しました。再び使用すると、フロントライトは ON になります。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなりました。充電残量が5%以下になるとフロントライトを消灯し、電池の消耗を抑えます。充電を行ってください。

4.フロントライトのON／OFFを任意に切り替えることはできますか？

フロントライトは、電源ボタンを長押しすることでON／OFF を手軽に切り替えることができます。また「スタート」→「設定」→「システム」タブをタップし、「フロントライト」で明るさのレベルを「省電力」側(左端)に設定すればOFFすることができます。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時でそれぞれ設定してください。

5.画面を見やすい明るさにしたい？

「スタート」→「設定」→「システム」タブから「フロントライト」をタップし、明るさのレベル「9段階＋省電力(消灯)」の中から、見やすい明るさを選択してください。

6. 画面をタップしても正しく応答しない？

- タッチスクリーンの設定が正しく調整されていません。「スタート」→「設定」→「システム」タブから「画面」をタップし、タッチスクリーンの補正を行ってください。
- 静電気などの影響で、タッチスクリーンの誤作動が起きている可能性があります。本体をリセットしてください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 246ページ）。

7. 画面をタップした時の反応が極端に遅い。動作がおかしい？

- メモリ容量が不足していると思われます。使用していないプログラムの終了処理を行って、メモリ容量を確保してください。
  プログラムの終了は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」の「実行中のプログラム」で行います。または「ホーム」の実行中タブでも行うことができます。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 246ページ）。

8. 画面がロックして動かないのですが？

何らかの異常が発生した可能性があります。本体をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 246ページ）。

9. 画面（液晶パネル）のサイズはどのくらいですか？

液晶パネルのサイズは、4.0型です。

メモリカード

1. 本体メモリを拡張することはできますか？

本体メモリを拡張することはできませんが、SDメモリカードやCFメモリカードなどを、データ保存用のメモリとしてご利用できます。

2. メモリカードを増設したのですが、本体メモリ容量が変わらないのですが？

メモリカードを増設しても、本体メモリ容量は変化しません。メモリカードは、プログラムのインストール先、データ保存先としてご利用ください。

3. SDメモリカードまたはCFメモリカードに、アプリケーションをインストールすることはできますか？

アプリケーションによっては、メモリカードに保存して、そこから起動することもできます。これはアプリケーションに依存しますので、ソフトメーカにご確認ください。

4. SDカードスロット、CFカードスロットのそれぞれにメモリカードをセットした状態で使えますか？

使えます。CFメモリカードは「CF Card」と、SDメモリカードは「SD Card」と表示されます。

5. メモリカードの残り容量はどのように調べたらよいですか？

メモリカードの使用状況は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」をタップし、「メモリカード」で調べることができます。

6. SDカードスロットはMMCカードに対応していますか?

GENIO eで動作確認をしているMMCカードがありますので、MMCカードの製造元または販売元にご確認ください。ただし、当社にて動作保証をするものではありませんので、ご了承ください。

7. メモリカードを使用中に本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードに本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

8. メモリカードを使用してファイルのコピーをしているとき、間違って本体の電源を切ってしまったのですが？

コピーをやり直してください。電源を入れた後、メモリカードのフォルダが表示されなくなったときは、カードをいったん本体から取り出し、もう1度取り付けてみてください。

操作全般

1. プログラムが起動しない？

内蔵電池の充電量が不足しています。充電を行ってください。

2. 操作の反応が遅い？

- メモリ容量が不足しています。使っていないアプリケーションを終了させて、メモリ容量を確保してください。
- 「プロセッサ設定」で動作速度が遅い速度に設定されています。速い動作速度に設定してください（参照 78ページ）。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 246ページ）。

3. 起動時にパスワードを設定することはできますか？

パスワードは、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「パスワード」で設定することができます。4桁の数字、または7桁以上の英数字のパスワードで設定することができます（参照 68ページ）。

4. スタートメニューに表示される項目を編集することはできますか？

スタートメニューに表示される項目は、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「メニュー」の「スタート メニュー」タブで編集することができます。

5. 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下他のPocket PCと呼ぶ）でバックアップを取ったデータを、この本体にリストアすることはできますか？

できません。リストア操作を実行しても、正常にデータが戻りません。(当社では、このような操作を行った場合に発生するいかなる問題にも責任は負いませんので、あらかじめご了承ください。)

他のPocket PCのデータを、この本体に取り込む場合には、まずActive Syncを使用して他のPocket PCとパソコンで同期を取ってください。（同期を取る項目は、事前にパソコンのActiveSync側で設定しておいてください。）次に、この本体とパソコンで同期を取り、必要なデータをこの本体に取り込んでください。

6. 本体の時間を設定しても、すぐにずれてしまうのですが？

初期値では、パソコンのActiveSyncにおいて「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」項目にチェックが付いています。 このため本体とパソコンの同期を取ると、パソコンの日時に自動的に変更されます。この機能を無効にするか、パソコンの時間を正しく設定してください。

【無効にするには】

パソコンのActiveSyncの「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」のチェックをはずします。

7. マイクロドライブ™やメモリカードなどを使用しているときに、本体の電源を切っても大丈夫ですか？

マイクロドライブ™やメモリカードなどを使用中で、本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。ドライブやカードが破損する場合があります。

文字入力

1. 手書き文字入力をする際の変換を速くできませんか？

次の操作で速くすることができます。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「個人用」タブの「入力」アイコンをタップする
3 「入力方法」の「▼」をタップし、「手書き入力」を選択する
4 「オプション」ボタンをタップする
5 「タイムアウト値」を「1」に設定する
   - 初期値では「2」に設定されています。
6 「OK」をタップする
7 もう1度「OK」をタップする
8 本体をリセットする

Today

1. 作成した覚えのない未送信メッセージが数通登録されているのですが？

予定表で新規に予定を作成する時に会議出席者を選択しておくと、会議出席者のメールアドレスにメールが送信されます。 また、会議の予定を変更/削除した場合に「この会議の変更内容を出席者に連絡しますか？」というメッセージが表示されますが、この問いに対して「はい」と回答すると、「更新」/「キャンセル」のメールが会議出席者に送信されます。 このメールが受信トレイの「送信トレイ」に保存されています。
本体の初期値では、受信トレイの「表示」メニューから「ActiveSync」を選択して「送信トレイ」を開くと、このとき作成され、未送信のメールを確認することができます。

同期(ActiveSync)

1. パソコンにUSBドライバをインストールしているのに、パソコンとUSB接続できないのですが？

次の確認をしてください。

1 本体の「スタート」→「ActiveSync」をタップする
2 「ツール」→「オプション」をタップする
3 「PC」タブの「オプション」をタップする
4 「次の転送速度でPCとの同期を有効にする」がチェックされていて、「USB」が選択されていることを確認する

2. ActiveSyncのセットアップはできましたが、同期が取れないのですが？

次の操作、確認をしてください。

- 「パソコンとの接続」(参照 21ページ) をご覧いただき、パソコンに本体が正しく接続されているかどうかを確認してください。
- パソコンの ActiveSync を起動し、「ファイル」→「接続の設定」をクリックしてください。
  「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」、あるいは「USB接続をこのPCで有効にする」にチェックが付いていることを確認してください。
- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください（参照 240 ページ）。また、1 度本体をリセットしてから操作してください。
- パソコンを再起動してください。

【USB接続の場合】

- USBハブを経由して本体のクレードルを接続する場合は、電源の付いたUSB ハブを利用してください。電源なしのUSB ハブをご使用の場合は、パソコンに直接 USB クレードルを接続してください。
- USB ポートが複数存在するパソコンをご使用の場合は、別の USB ポートに接続してみてください。

3. ActiveSyncで接続すると「同期完了」と表示されずに「要確認」と表示されてしまうのですが？

次の操作をしてください。

- パソコンの ActiveSync を起動して、「ツール」→「オプション」をクリックし、「規則」タブをクリックしてください。「競合の解決」の選択項目を変更してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接 USB クレードルを接続してください。
- LANで同期を取っている場合には、USBクレードルを使用して同期を取ってみてください。
- パソコンの ActiveSync を起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

4. 同期がうまく取れなくなってしまったのですが？

次の操作をしてください。

- SD Audio Playerが起動している場合は、ActiveSyncが使用できません。SD Audio Player を終了してから操作してください。
- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了してから操作してください（参照 240 ページ）。

- 同期中にケーブルを抜いたり、本体をクレードルからはずしたり、また、接続／切断を何度も繰り返すと、パソコンと接続できなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、本体をリセットし、パソコンを再起動して、もう１度接続をしてください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

5. Outlook97/98のデータは同期できますか？

ActiveSync3.7では、Outlook98と同期できます。Outlook97はサポート対象外です。

6. ActiveSync3.7でサポートしているOutlookは何ですか？

ActiveSync3.7では、Outlook98/2000/2002をサポートしています。

7. Outlook Expressと同期を取ることはできますか？

Outlook Expressとは、同期を取ることができません。

8. ネットワークカードを使用して同期が取れないのですが？

次の操作で設定すれば、同期が取れるようになります。ネットワークを利用して同期を取る前に、1度USB環境などで標準パートナーシップを構築しておく必要があります。

1. ネットワークケーブルを接続したネットワークカードを挿入する
2. ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップし、ポップアップメニューから「設定」をタップする
3. 「設定」タブで「プロキシサーバーの設定」をタップし、「プロキシの設定」タブでプロキシサーバーの設定をする
4. 「OK」をタップする
5. 「詳細設定」タブで「ネットワークカード」をタップする
6. 「ネットワークカードの接続先」を「既定の社内ネットワーク設定」にする
7. 「OK」をタップする
8. 「OK」をタップする
9. 「スタート」→「ActiveSync」をタップする
10. 「ツール」→「オプション」をタップする
11. 「次のPCを使用する」で同期するパソコンを選択する
12. 「OK」をタップする
13. 「同期」をタップする

また、初期値では、同期完了後切断されるよう設定されています。継続する場合は、次の操作で設定を変更してください。

1 本体の「スタート」→「ActiveSync」をタップする
2 「ツール」→「オプション」をタップする
3 「PC」タブの「手動での同期中にこのPCと同期する」をチェックする
4 「PC」タブの「オプション」をタップする
5 「リモート同期を実行するとき」の「接続を維持する」を選択する
6 「OK」をタップする
7 「OK」をタップする

9. 赤外線を利用して同期が取れないのですが？

パソコンの出荷時状態では、赤外線の設定が有効になっていないものがあります。まず、パソコンの赤外線が利用できるように、次の操作で設定してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 本体を接続しない状態で、パソコンのActiveSyncを起動する
2 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする
3 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける
4 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート(IR)」を選択する
   - 「赤外線ポート(IR)」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。もう1度パソコンの赤外線設定をご確認ください。
5 「OK」ボタンをクリックする
6 本体とパソコンの赤外線ポートを向き合わせたら、本体より「スタート」→「ActiveSync」をタップする
7 「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

10. Macintoshと同期を取ることはできますか？

本体は、Macintoshと同期を取ることはできません。

11. 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？

次の操作をしてください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブで同期する情報の種類を変更し、「OK」ボタンをクリックする
3 ActiveSyncの同期ボタンをクリックする

12. 仕事の同期時、終了設定がパソコンに設定されると同時に、その仕事の項目が削除されてしまうのですが？

パソコンのActiveSyncの仕事の同期設定を「すべての仕事を同期する」に設定してください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブで「仕事」を選択し、「設定」ボタンをクリックする
3 「すべての仕事を同期する」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
4 「OK」ボタンをクリックする

13. 本体にPHSカードをセットした状態で同期を取っていたら、インターネットへの接続（ダイヤルアップ接続）が開始されてしまった？

同期の接続に失敗したか、途中でクレードルから本体をはずしたのが原因です。インターネットへの接続を切断してください。ナビゲーションバーの「通信接続」アイコンをタップし、「切断」または「キャンセル」をタップします。

インターネット接続、メール

1. インターネットに接続できない(ダイヤルできない)？

- 通信機器が正しくセットされているか、ご確認ください。
- 指定の携帯電話接続ケーブルを使って正しく接続されているか、確認してください。
- 通信機器の電波状態が良好かどうか、ご確認ください。
- ダイヤルアップ接続先のユーザーID/パスワードが半角の英数字で正しく入力されているか、ご確認ください。
- ActiveSyncなどで、本体とパソコンを接続した状態になっている場合は、パソコンとの接続を終了してください。
- 本体とパソコンなどが赤外線通信中になっている場合は、赤外線通信を終了してください。

2. ダイヤルはできるのですが接続できない？

使用するPHSカードや携帯電話を接続し、ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップして、ポップアップメニューから次の項目をご確認ください。

●ダイヤル時に使用する接続名
●電話番号
●0 発信、市外局番、パルスまたはトーン

それぞれ、次の操作で確認、設定をしてください。

- ダイヤル時に使用する接続名が違っていた場合

1 ポップアップメニューの「設定」をタップする
2 「インターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
3 ご利用になる接続名をタップアンドホールドする
4 「接続」をタップする

●電話番号が違っていた場合

1. ポップアップメニューの「設定」をタップする
2. 「インターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
3. ご利用になる接続名を選択して、「編集」をタップする
4. 「次へ」をタップして、アクセスポイントの電話番号を入力し、「次へ」をタップする
5. 「完了」をタップする
6. 「OK」をタップする
7. 「OK」をタップする

● 0 発信、市外局番、パルスまたはトーンの設定が違っていた場合

1. ポップアップメニューの「設定」をタップする
2. 「詳細設定」タブをタップする
3. 「発信元の選択」をタップする
4. 「ダイヤル情報を使用する」にチェックを付ける
5. 「発信元の選択」で、発信元を選択して「編集」をタップする
   新しく発信元を登録したい場合は「追加」をタップしてください。
6. 「市外局番」、「パルス」または「トーン」を確認、設定する
7. 「ダイヤルパターン」をタップする
8. 「市内通話」、「市外通話」を確認、設定する
   0発信しない場合は、「市内通話」を「G」、「市外通話」を「FG」と設定してください。
   0発信する場合は、「市内通話」を「0,G」、「市外通話」を「0,FG」と設定してください。
9. 「OK」をタップする
10. 「OK」をタップする
11. 「OK」をタップする

3. ホームページは見ることができるのですが、メールの送受信ができません？

Pocket Internet Explorerでホームページが閲覧できているということは、インターネット接続は正しく設定されています。
この場合には、メール接続設定が正しくない可能性があります。プロバイダから提供されている、下記のメール接続設定のデータをもう1度ご確認ください(参照 128ページ)。

- ユーザー名 / ユーザー ID
- パスワード
- POP3/IMAP4 サーバー名
- SMTP サーバー名

4. メールを受信しても、メールが途中で切れているのですが？

初期値では、2KBを取得する設定になっています。受信トレイを起動したら、次の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 「アカウント」タブをタップする
3 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「 電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

4 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5 「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップする
   - 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択している場合には、何KBまでメールを取得するか数字を指定してください。初期値では、2KBに設定されています。
   - メールの全文を取得する場合には、「▼」をタップして、「メッセージの全文を取得する」を選択してください。
6 「完了」をタップする
7 「OK」をタップする

5. 添付ファイルは取得できますか？

受信トレイを起動したら、次の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 「アカウント」タブをタップする
3 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

4 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5 「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップし、「メッセージヘッダーのみ取得する」または「メッセージの全文を取得する」のいずれかを選択する
   - 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合には、何KBまで受け取るか容量を設定します。
   - 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合には、すべての添付ファイルを受信します。
6 「完了」をタップする
7 「OK」をタップする

6. 受信したメールをメモリカード、Flash ROM Diskに保存することはできますか？

メールをメモリカード、Flash ROM Diskに保存することはできません。しかし、添付ファイルをFlash ROM Diskに保存することは可能です。受信トレイを起動したら、「ツール」→「オプション」→「保存場所」タブをタップして「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックを付けてください。

Pocket Internet Explorer

1. インターネットに接続できるのですが、ホームページの表示ができません？

DNSの設定が間違っている可能性があります。次の操作でDNSの設定を確認、修正してください。

1 ナビゲーションバーの通信接続アイコンをタップし、ポップアップメニューの「設定」をタップする
2 「インターネット設定」の「既存の接続を管理」をタップする
3 ご利用になる接続名を選択して、「編集」をタップする
4 「次へ」→「次へ」をタップする
5 「詳細設定」をタップする
   - 「TCP/IP」タブおよび「サーバー」タブの設定をもう1度ご確認になり、必要があれば修正してください。
6 「OK」をタップする
7 「完了」をタップする
8 「OK」をタップする
9 「OK」をタップする

2. ネットワークカードを使用して社内(イントラネット)のホームページは見ることができるのですが、社外(インターネット)のホームページを見ることができません？

プロキシの設定をご確認ください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「接続」タブをタップする
3 「接続」をタップする
4 「社内ネットワーク設定」の「プロキシサーバーの設定」をタップする
5 「プロキシの設定」タブの「このネットワークをインターネットへ接続する」と「プロキシサーバーを使用してインターネットへ接続する」にチェックが付いていることを確認する
6 「詳細設定」をタップする
   - サーバーのアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。
   - アドレスやポート番号が分からない場合は、ご利用になっているネットワークの管理者にご相談ください。

3. パソコン上で見たホームページを、本体でオフラインで閲覧するにはどうすればよいですか？

次の方法で閲覧することができます。

1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」、「OK」で、モバイルのお気に入りを作成する
   - この操作は最初の１回だけ必要です。
2 Internet Explorerで本体に転送したいページを表示させる

3 「お気に入り」→「お気に入りに追加」で、「モバイルのお気に入り」のフォルダを選択する
4 「オフラインで使用する」をチェックして、「OK」を選択する
5 「お気に入り」→「モバイルのお気に入り」に、本体に転送したいページが追加されているのを確認する
6 本体とパソコンをActiveSyncで接続する

Pocket Internet ExplorerとInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」が同期されます。

7 本体でPocket Internet Explorerを起動して、「お気に入り」のアイコンをタップする。同期したページが追加されているので、そのページ名をタップする

パソコンで取り込んだページが本体に表示されます。

4. Pocket Internet Explorerで表示している画像データを保存することはできますか？

Pocket Internet Explorerで表示している画像を、ファイルとして保存することはできません。

5. フレームのあるWebページに対応していますか？

対応しています。

6. SSLに対応していますか。対応しているとすれば、また何ビットまで対応していますか？

SSL（128 ビット）に対応しています。

予定表

1. 予定の通知にアラームを鳴らすことはできますか？

予定の通知にアラームを鳴らすには、次の操作でアラームを有効に設定してください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「個人用」タブの「音と通知」アイコンをタップする
3 「音量」タブで「プログラム」と「通知」にチェックを付ける
4 「通知」タブの「音を鳴らす場面」で「アラーム」を選択する
5 「音を鳴らす」にチェックを付ける
6 「OK」をタップする

2. 予定表の表示で、希望する日へジャンプするにはどうすればよいですか？

左端の日付をタップすると、小さな月のカレンダーが表示され、希望する日へジャンプすることができます。

3. 祝日を登録するにはどうすればよいですか？

本体にはあらかじめ祝日が登録されていませんが、パソコンのOutlookと同期を取ることにより、祝日データを取り込むことができます。次の操作をしてください。

1. パソコン側でOutlookを起動する
2. 「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表オプション」ボタンをクリックする
3. 「祝日の追加」ボタンをクリックする
4. 「予定表に祝日を追加」画面が表示されたら、「日本」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
5. 「OK」ボタンをクリックする
6. 「予定表のオプション」画面、「オプション」画面を「OK」ボタンをクリックして閉じる
7. パソコンのActiveSyncより「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表」にチェックを付ける
8. 「予定表」を選択した状態で、「設定」ボタンをクリックする
9. 「すべての予定を同期する」を選択する、または「次の中から選択した分類項目に含まれる予定だけを同期する」を選択して分類項目の「祝日」にチェックを付ける
10. 「OK」ボタンをクリックし、「予定表の同期設定」画面、「オプション」画面を閉じる
11. 同期を取る

    祝日データが本体に登録されます。

4. 予定を作成した際に送信されるメールを、ActiveSync以外から送信するにはどうするのですか？

予定表から送信するメールは、ActiveSync以外の通常のメールボックスからも送信を行うことができます。
予定表を起動したら、「ツール」→「オプション」をタップしてください。「会議出席依頼の送信方法」に表示されている「ActiveSync」の右側「▼」をタップして、会議通知を送付するためのメールボックスを選択してください。

- このとき表示されるメールボックス一覧は、「受信トレイ」で既に作成してあるメールボックスです。

5. 本体に登録しておいた古い予定が消えてしまったのですが？

ActiveSyncで同期を取ると、本体に登録されている予定表のデータは、2週間以前のものが削除されてしまいます。 これはメモリを有効に使用するために、古いデータを本体に残さないようにするためです。（パソコン側の予定表はデータが残ります）
以前の予定表データを本体に残しておきたい場合には、パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」より「予定表」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。

初期値では「2週間前」の予定から同期を取るようになっていますので、この数値を変更するか、「すべての予定を同期する」にチェックを付けてください。ただし、たくさんのデータを本体に残すとその分メモリを使用します。必要な期間のデータを同期するようにしてください。

Windows Media Player

1. Windows Media Player で再生できるファイルにはどのようなものがありますか？

インターネットなどで配信されているMP3形式、またはWindowsMedia形式（音声はWMA、動画はWMV、ASF）に対応しています。QuickTime形式には対応していません。

2. 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）に対応していますか？

対応しておりません。

3. 音楽CDからWMA形式のファイルを作成しましたが、本体で再生をすると止まってしまうのですが？

次の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1. 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2. パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→の「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
3. 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4. 「デバイス上の項目」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5. 「転送」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
   - また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
   - うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1. パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2. 「CDオーディオ」の「コピーの設定」項目で「個人用の著作権管理を有効にする」チェックボックスのチェックをはずす
3. 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、もう1度音楽CDからWMAファイルを作成する

4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
- 通常のコピー操作です。

4. 本体でWMA形式のファイルを再生しようとしたら、「著作権…」のメッセージが表示され、再生できないのですが？

次の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
3 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の項目」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「転送」ボタンをクリックする
- ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
- また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
- うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「CDオーディオ」の「コピーの設定」項目で「個人用の著作権管理を有効にする」チェックボックスのチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、もう1度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
- 通常のコピー操作です。

アプリケーション

1. アプリケーションを終了させるには、どうすればよいですか？

次のどちらかの方法で、終了操作をしてください。

【メモリ設定より終了】

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「システム」タブの「メモリ」をタップする
3 「実行中のプログラム」タブをタップする
- 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。

4 終了したいアプリケーションを選択し、「終了」ボタンをタップする。 または「すべて終了」ボタンをタップする

【ホームより終了】

1 ホーム画面を表示する

2 タブ選択ボックスをタップして、「実行中」を選ぶ。タブ表示形式の場合は「実行中」タブをタップする

● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。

3 終了したいアプリケーションをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「終了」をタップする。 または、画面上の何もない場所でタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「すべて終了」をタップする

2. 購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできますか？

購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできません。

3. アプリケーションなどのショートカットを作成することはできますか？

ファイルエクスプローラで作成することができます。ファイルエクスプローラで該当ファイルをコピーし、コピー先のフォルダで、ショートカットの貼り付けを行います。

4. メモリカード中の任意のソフトを「ホーム」に登録するにはどうすればよいですか？

次の操作で登録することができます。メモリカードを本体にセットしてください。

1 メインメモリの「¥Windows」中にそのソフトの実行ファイルのショートカットを作成する

2 ホーム画面を表示する

3 登録したいタブの画面上でタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューから「追加」を選択する

4 「アプリケーション」の下の「参照」ボタンをタップする

5 「参照ダイアログ」で「フォルダ」が「Windows」になっていることを確認し、「種類」を「すべてのファイル」に切り替える

6 表示されたファイル名リストの中で、1.で作成したショートカットをタップする

自動的に「アプリケーション追加」画面 に戻ります。

7 「アプリケーション名」にわかりやすい名前を入力し、「OK」ボタンをタップする

● メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

5. EXEファイルをプログラムに登録するにはどうすればよいですか？

ファイルエクスプローラでそのEXEファイルをコピーし、メインメモリの「¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダで、ショートカットの貼り付けをすると、「スタート」の「プログラム」に登録することができます。

カメラ

1. 撮影ができないのですが、どうすればよいですか？

- バッテリの充電残量を確認してください。20%以下のときは撮影できません。充電を行ってください。
- レンズカバーを開けているか確認してください。
  レンズカバーがきちんと開いているか（半開きになっていないか）確認してください。
- SDメモリカード／CFメモリカードを保存先に設定している場合、設定したメディアが本体に挿入されているか確認してください。
- 保存先に設定している本体メモリ／SDメモリカード／CFメモリカードに空き容量が残っていないことが考えられます。「GENIOショット」画面で撮影可能枚数を確認してください。
- 拡張ユニット（別売品）を取り付けていると、レンズが覆われてしまい撮影できません。拡張ユニットを取りはずしてください。

2. フラッシュ撮影ができないのですが、どうすればよいですか？

「GENIOショット」でフラッシュが発光禁止に設定されている場合、フラッシュは発光しません。フラッシュボタンをタップして設定を変更してください。

海外での使用

1. 海外で利用できますか？

本製品の仕様は、日本国内向けとなっています。海外での使用は考慮しておりません。

2. 海外で修理できますか？

本製品は、日本国内向け商品となっています。海外での修理はできません。

その他

1. スタイラスをなくしてしまったのですが、どこで買えますか？

本製品をお買い上げの販売店で、別売りのスタイラスをご購入ください。

2. 本体は、防水・防滴機能はついていますか？

本体には防水、防滴機能はありません。

2. 警告メッセージ

メッセージ	原因/対処
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。	電池が消耗しています。すみやかに電池を充電してください(参照 10ページ)。満充電をしてもこのメッセージがすぐに出るようでしたら内蔵電池の寿命が考えられます。内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
電池残量不足 電池残量が少ないため、USB機器は使用できません。	USB機器に必要な電力(参照 27ページ)を供給できない場合に、このメッセージを表示します。 本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、USB機器を接続しなおしてください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。
USB過電流検出 USB機器は使用できません。USB機器をはずしてリセットしてください。	USBポートに供給できる電流(参照 27ページ)を超過したため、電源供給を停止しました。 このメッセージが表示された場合は、リセットを行うまで、USBポートの使用ができなくなります。USB機器を取りはずしてリセットを行ってください。 この後、本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、もう1度USB機器を接続してください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器の製造元または販売元へご相談ください。

3. リセットと初期化の方法

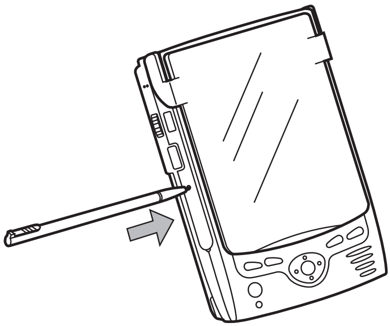
リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

お願い

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

1 電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す



「Today」画面が表示されます。

お知らせ

リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

お願い

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラム、Flash ROM Diskに保存したデータは消去されません。
- 初期化する前に、本体内メモリに保存したデータは、控えをとっておいてください。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。メモリカード内の記憶データが消去される可能性があります。

1 本体の電源をOFFにする

2 リセットスイッチをスタイラスで押したまま、電源ボタンを指で押して離す

3 画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す

- 初期化が終了すると、「Pocket PC」の画面が表示されます。「初期セットアップ」(参照 15ページ)したときと同じように、画面に従ってセットアップを行ってください。

4. アフターサービスについて

ご使用中に異常が発生したときは、「Q&A」や「警告メッセージ」をお読みになり、もう 1 度お調べください。
それでも異常が解決できないときは、「東芝PC集中修理センタ」に修理をご依頼ください。

□ 本製品の修理サービスは

東芝 PC 集中修理センタ

0120-86-9192（ハロー クイックニ）

※受付時間／ 9:00 ～ 17:30（祝祭日・当社特別休日を除く）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、TEL 043-278-8122 で受け付けております。

修理形態

■無料修理（保証修理）

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。
ご注意：消耗品（内蔵電池、タッチスクリーン、スタイラス等）の交換は有料修理です。

■有料修理

保証書に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

部品について

■部品の交換

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

■保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から６年６ヶ月です。

□本製品についての技術的なご質問、お問い合わせは

東芝 PC ダイヤル

TEL 0570-00-3100（ナビダイヤル：全国共通電話番号）

受付時間／ 9:00 ～ 19:00（年中無休）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、TEL 043-298-8780で受け付けております。

5. 消耗品について

本製品に使用している下記の部品は、機器のご利用と共に消耗します。

- 内蔵電池
- タッチスクリーン
- スタイラス

これらの部品の消耗による交換は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

付録

ローマ字入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN N の次に子音、続けて母音 (例) SANKOU→さんこう				

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA XA	LI XI LYI	LU XU	LE XE LYE	LO XO
っ				
LTU XTU 子音を重ねて母音 (例) KAKKO→かっこ				
ゃ		ゅ		ょ
LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ゎ				
LWA XWA				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

くぁ				くぉ
KWA				QWO QO
くゃ	くぃ	くゅ	くぇ	くょ
QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI FYI		FE FYE	FO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

パームサイズ PC のデータを本体に転送する

パームサイズPCをお使いの場合、そのデータを本体に転送することができます。操作は次のように行います。

1 **お使いのパソコンに Microsoft ActiveSync 3.7 をインストールする**

2 **パームサイズ PC とパソコンの同期をとり、パソコンの情報を最新のものにする**

3 **ActiveSync エクスプローラを使用してファイルをパソコンにコピーする**

- パームサイズ PC 上の「手書きメモ」や「録音」のファイルを転送するときは、ファイルがデバイスフォーマットを維持するように、Active Sync のオプションのファイル変換をオフにしてください。
- 操作方法の詳細は、ActiveSyncのオンラインヘルプを参照してください。

4 **本体とパソコンの同期をとる**

本体がパソコンの最新データ（操作 2）で更新されます。

5 **パームサイズ PC にインストールしていたプログラムを、本体にインストールする**

インストール前に、そのプログラムが Pocket PC 用に最適化された新バージョンであるか、確認してください。

6 **ActiveSync エクスプローラを使用して、操作３でパソコンにコピーしたファイルを本体にコピーする**

- コピーが終わったら ActiveSync のオプションのファイル変換をオンに戻してください。

7 **本体に設定および接続情報を入力する**

索引

付録

イ

オ

カ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ヨ

リ

付録

レ

ロ

主な仕様

本製品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

品　名	GENIO e550CT
外形寸法	縦125×横76.5 × 厚さ17.5mm（突起部を除く）
周辺環境条件	動作時　温度0～40℃、湿度30～80%RH ・充電可能温度　約5～35℃（動作状態によっては、 35℃以下でも充電を停止することがあります。）
内蔵電池 種類 メモリ保持時間	 アドバンストリチウムイオン充電池 約75時間 電源がONできなくなってから、周囲温度25℃で放置した場合 注：使用時間、メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。
プロセッサ	インテル® XScaleテクノロジ PXA255アプリケーションプロセッサ 動作クロック最大400MHz
メモリ容量	128MB、Flash ROM Disk 16MB
ディスプレイ	低温ポリシリコン反射型カラーTFT 240×320ピクセル、65,536色
CFカードスロット SDカードスロット	CFメモリカードまたはCF＋カードが挿入可 TypeⅠ／TypeⅡの3.3Vのみ対応 SDメモリカードまたはSDIOカードが挿入可
赤外線ポート	IrDA Ver.1.2準拠、データ転送速度　最大115kbps
外部機器接続端子	ステレオヘッドホン&マイクジャック クレードル接続ポート ACアダプタジャック
ACアダプタ	入力電源条件　AC100V、50／60Hz、33VA 定格出力　　　DC5V、3A
カメラ 有効画素数 撮影素子 F値 焦点距離 シャッター速度 撮影可能距離 フラッシュ	 約31万画素（総画素数35万画素） 1/5型CCDセンサー F2.8 f=2.6mm、固定焦点 自動 約35cm以遠 適正距離　約50cm

お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書に乱丁、落丁があればお取り替えいたします。

本書は再生紙を使用しております。

2003年7月　第1版発行

発行　株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

MPW1221A
PM0011262040